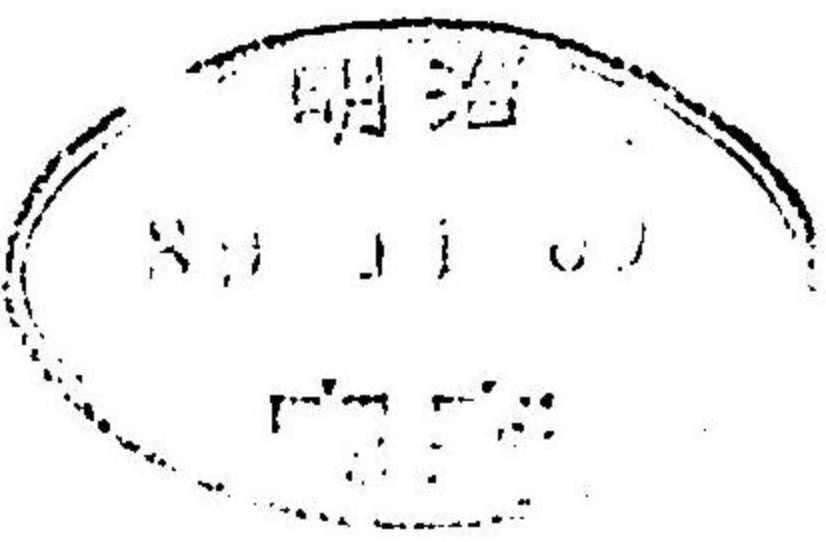


25-361

日本
小説
表

全



緒言

我國古來小説に關する書目の類少からず。此内自から二種の區別の存するを見る。一は廣義的書目にして。本朝書籍目録を初め。寛文。天和。貞享。元祿。寶永。正徳の各年間刊行の書目等。此種類に屬し。一は狹義的書目にして。古物語目録。好色本目録。吉原書籍目録。神史年表。青木年表。戯作外題鑑(以上三種は。共に青木昆陽氏に於て。題目の) 黄表紙外題鑑。合卷外題集。合卷虎の巻。合卷名目集。(以上三種。異なれるは題目のみ。)等此種類に屬す。前者は範圍廣く。小説以外の書籍をも記載せる特點あれども。たゞ雜然と分類し。書名及冊數を記せるのみ。刊行年代はもとより作者畫工すら記さざる極めて不完全のものなり。後者は専門的に蒐集編纂せしものなれば。頗る詳細を極めたれども。從來悉く寫本にて傳はりしを以て傳寫の誤謬極めて多く。且つ脱漏も亦少からず。殊に此種の書目は。小説中僅に好色本。青木(黄表紙)。合卷等三種の書目あるのみにして。他は未だ編纂せしものあらず。

此等の缺點を補はんとして。小説年表編纂に志せしは五年以前なりき。當時は寧ろ日本小説史を著さんとの準備として。古來の書目を漏さず蒐集し。原本によりて訂正増補せしものなりしが。此度更に力の及ぶ限り原本閱覽の上。増補分類し。殆ど遺漏なきを期したり。されば此年表の好色本。青木(黄表紙)。合卷の部は。從來の書目の増補訂正に過

ぎざれども。古代小説。假名草紙。浮世草紙(好色本の) 讀ミ本。軍記實錄。滑稽本。洒落本。人情本。安永四年以前の草雙紙(行成表紙本。赤小本。赤本。黒本。青本。)等の部門は。予の蔵書を基礎とし。帝國及大學圖書館を初め。各蔵書家の秘庫をあさり新に編纂せしものなり

讀ミ本といひ。滑稽本といひ。洒落本といひ。此等分類の方法は。從來人々により一定せず。或は外形より推して讀本とすれば。或は内容より推して滑稽本なりとするの類多し。且從來滑稽本と稱し來りし中に。合話體なるもの。寓意的なるもの。繪畫を主とせるもの。一部の趣向なき戯文等の區別あり。洒落本亦其例を等しくす。此等の區別を明瞭ならしめんが爲に。予の閱覽せしものは。悉く其解題を書目の傍に附し。且各部門の初に。其變遷と原本の雜形とを添へ。又卷末には作者詳傳を載せ。年表としても。神史解題としても。又一部の小説史としても。見れば見らるべき共通の新式年表を編纂せり。これ實に此年表の初原稿たりしなり

稿なりしは。去年十一月の初旬にして。知己。朋友に依頼し。或は直接書店に譲ぜしも。かゝる大冊は資本固定の弊あればとて。謝絶せられし折柄。幸田氏監督の下に小説書目編纂の舉ありと聞き。心ならず終に意を決して書を覽り。衣を飛ばして。茲に自費出版の計畫を立てたり。されど千頁以上の大冊。いかで力の及ばんや。是非なくも變遷。傳記及解題の多きを省略せし。なほ得し金子にては。百部の出版も覺

東なく。幾度か断念せんと欲しては心残り。往時日を送る中。知己某氏の紹介にて。文淵堂金尾氏と會談し。其結果三百頁の冊子となし。共同出版する事となれり。たとへ省略せる年表なりとはいへ。漸く世に出つるを得たるは。偏に金尾氏の厚意による所なり

事情かくの如きを以て。缺點を知りつゝ。忍ばざるべからざる苦境に立てり。かくしてあらんも心ならずれば新に計畫を立て。先に省略せるものを。一々別冊子として。刊行せんとす。即總叙及各題目の變遷を。更に詳述批評せる『江戸小説史』。小説家の傳記に加ふるに淨瑠璃作者。狂言作者。狂歌師。歌謡の作者に至る傳記を蒐集せる『戯作者傳集成』。小説の板式。繪巻。體裁の變遷と多くの難形を添へたる『神史備考』。一部趣向のある小説を解題せる『神史解題』等を續きて刊行し。此年表と連絡あらしめ。庶幾は完全の域に達せしめん事を期す。されどこれ前途遑遠の業なり。若し幸にして此年表再版の僥倖に遭遇せんか。以上四部の書中を拔萃せるものを加へ以て諸彦の厚意に酬ふべし。年表所載の年代は。原版のものに記せしは勿論なれども。元祿前後より古版を再刻改題し。新序を加へ。新年月を入木して。新版と偽るゝと流行し。一小説にして數題目を有するものすらあり。されば年表にも改題と悟らずして原題目と誤り。再刻年月を以て。原年月と誤りしものあるべし。傳本稀にして善く見るを得ざるの今日。實に止を得ざるなり

草體紙中。合巻を除きし外は。總て外部の張外題に題目を記すにとどまり。卷中一も之を記さず。若し張外題逸失せんか。僅に書中の柱に略題目を記せるものを想像して。搜索するより外なし。ざるを柱の略名を以て書名と思推し。書名索引になきを以て。年表の龍淵を實め給はざらん事を祈る。

近世小説は。其種類頗る多く。蒐集上遺漏なきを期したれども。淺學寡聞。誤記脱漏多かるべし。識者の斧正を俟つ

紀元二千五百六十六年三月十五日

朝倉無聲識

附記

本年表を活版所に廻送せしは。三月十七日なり。五月には遅くも發梓せらるべしと思惟し。四月に廣告を出せしも。金尾氏の病氣と活版所と予との行違により。延び／＼して終に今日に至れり。早く廣告により豫約せられし方少からず。伏して寛恕を請ふ

尙追記すべき事は。近刊雜誌「高潮」に。新群書類從の書目録中。續青本年表は五車書樓主人編輯青本年表を原本とし。増補せるよし記せり。この五車書樓主人とは予の戲談にして。續青本年表は五年前編纂せるものなりしが。小説年表編纂の際。不用に屬せしを以て。淺倉屋の懇望のまゝ譲りしものなり。而してこの續青本年表とは。從來の青本年表が文化三年に終り。其後は悉く合巻と

なりたるを以て餘は合巻の目錄に「續」と記し。文化三年以後に。まゝ出てたる黄表紙を。合巻目錄中に混同せるを慨し。見聞のまゝ拾集。分類し。且合巻中の趣向にして黄表紙めけるものをも併録し。假にかく名付け。序にも其意を記し置きし様に見ゆれども。實は記さざりしにや。類從書目の編者。誤りて悉く青本なりとし。更に増補せらるゝに至りては。予の罪も亦輕からず。由來文化三年以後に於ける黄表紙(五車書樓)は僅少のものなるに。續青本年表には頗る多きはこれが故なり。類從の書目を見し人にして。此年表を見て。其少きに疑を抱かれん事を恐れ。いさゝか其頭末を記して。罪を江湖の諸彦に謝す

丙午九月晦日

無聲又識

日本小説年表目次

○古代小説……………一

○平安朝時代小説……………一

○鎌倉時代小説……………九

○室町時代小説……………一〇

附録

○舞の本目録……………一四

○散逸物語目録……………一六

○近世小説……………一五

○假名草紙(過渡時代小説)……………一五

○浮世草紙(四色本。好色本。八文字屋本等)……………一三

○讀本……………一五

附

○寫本軍記實錄目録……………一五

○滑稽本……………一八

○洒落本(一名藁本。木又小木)……………一三

○人情本(一名中本。又稱書本)……………一〇五

○草雙紙……………一三

○行成表紙本(一名からか。み表紙本)……………一三

○赤小本……………一三

○赤本……………一三

○黒本……………一四

○青本……………一六

○黄表紙……………一九

○合卷……………一七

○書名索引

○作者及著述索引

日本小說年表

朝倉無聲撰

○平安朝時代

○竹取物語 一卷

註釋書類

○竹取物語抄 二卷 小山

○竹取物語補註抄 三卷 仲鷗同

○竹取物語解 六卷 田中大秀 天保二年

○竹取物語俚言解 一卷 佐々木弘綱 安政四年

○竹取物語補註 三卷 入江昌喜

○竹取翁長歌考 一卷 賀茂真淵

○竹取翁歌解 一卷 荒木田久老

○伊勢物語 二卷

一名 在五中將物語

註釋書類

○伊勢物語髓腦 一卷 傳云在原滋春

○伊勢物語知顯抄 三卷 傳云源 經信

○伊勢物語愚見抄 五卷 藤原 兼良

○伊勢物語惟清抄 二卷 清原 宣賢

○伊勢物語宵聞抄 二卷 牡丹花宵拍

○伊勢物語抄 二卷 釋 宗祇

○伊勢物語闕疑抄 五卷 細川 幽齋 慶長二年再撰
文八年再撰

○伊勢物語難義註 一卷

○伊勢物語註 二卷

○伊勢物語抄 二卷 里村 紹巴

○伊勢物語抄 四卷 松永 貞德

○伊勢物語抄 十卷

○伊勢物語勅講抄 二卷 後水 尾帝

- 伊勢物語集註十三卷一華堂切臨 承應二年
- 伊勢物語抄一卷加藤 盤齋
- 伊勢物語初冠五卷同 撰
- 伊勢物語拾穗抄四卷北村 季吟 延寶八年
- 大和詩經解一卷
- 伊勢物語言餘抄 山岡 元隣
- 勢語 應 斷五卷釋 契 冲 享和三年
- 伊勢物語章甫抄八卷岨山 春幸 寶曆三年
- 勢語 通二卷五井 純禎
- 伊勢物語重子問十三卷荷田 春滿
- 同 修刪二卷度會 末雅
- 伊勢物語傍註二卷賀茂 真淵 安永五年
- 伊勢物語古意六卷同 撰 寛政九年
- 附よしやあしや一卷上田 秋成 同
- 勢語 五考一卷賀茂 真淵
- 伊勢物語考異一卷建部 綾足
- 伊勢物語註解二卷加藤 美樹

- 伊勢物語秘訣四卷高田 宗賢
- 伊勢物語新釋六卷藤井 高尙 文化元年
- 伊勢物語殘考三卷 同 五年
- 伊勢物語參解十卷
- 勢語應斷別勘一卷伊勢 貞丈
- 伊勢物語大全十卷村田 春野
- 伊勢物語參考二卷屋代 詮賢
- 伊勢物語昨非抄三卷釋 立綱
- 伊勢物語傍註二卷山本 季鷹
- 伊勢物語梓弓三卷平田 篤胤
- 伊勢物語鄙言 尾崎 雅嘉
- 在五中將日記復古解四卷野々口 隆正
- 添伊勢物語便言解二卷佐々木 弘綱
- 宇津保物語三十卷
- 註釋書類
- 宇津保物語考一卷安藤 爲章
- 宇津保物語不拂塵七卷本多 忠憲

- 宇津保物語玉琴二卷細井 貞雄 文化三年
- 宇津保物語年立二卷殿村 常久
- 宇津保物語階梯三卷小山田 與清
- 宇津保物語類語 同 撰
- 宇津保物語別十卷橘 守部
- 宇津保物語考一卷桑原 刀自
- 宇津保物語頭字部類三卷足代 弘訓
- 落久保物語 六卷
- 註釋書類
- 落久保物語頭書四卷賀茂 真淵
- 落久保物語註釋一卷加藤 千春 隆海
- 落久保物語註釋二卷源 道別
- 落久保物語解六卷田中 大秀
- 落久保物語目錄 小山田 與清
- 源氏物語 平四卷紫 式部
- 註釋書類
- 源氏物語與入注追加三卷世尊寺 伊家 行

- 源氏官名和歌一卷藤原 爲家
- 水 源 抄平四卷源 光行
- 紫 明 抄平四卷釋 素寂
- 紫明拾遺抄一卷
- 源氏論義二卷源 具顯
- 源中最秘抄一卷釋 行阿
- 仙 源 抄一卷藤原 長親
- 源氏小鑑三卷同 撰
- 河 海 抄二卷四辻 善成
- 源語雅言解二卷菅原 種文
- 花鳥餘情二十卷藤原 兼良
- 源氏和字抄六卷同 撰
- 源氏秘訣一卷同 撰
- 源氏物語和秘抄一卷同 撰
- 源氏物語年立考二卷同 撰
- 帚木別註一卷
- 源氏物語千鳥抄二卷

- 水滴色葉類聚一卷
- 源氏目安七卷
一名類字源語抄
- 三賢一覽十卷富小路俊通
- 至德記三十卷
- 不審抄出一卷釋 宗祇
- 種品篇次抄五卷猪苗代兼載
- 源氏物語鈔五卷同 撰
- 咲花抄七卷壯丹花宵拍
- 一葉抄十五卷同 撰
- 細流抄二十卷藤原公條
- 薄紫二十卷釋 宗長
- 宗碩抄六卷月村宗碩
- 花屋抄四卷
- 休聞抄五卷里村昌休
- 源氏物語抄二十卷里村紹巴
- 林逸抄五卷林 宗二

- 明星抄五卷藤原實隆
- 源氏物語系圖一卷同 撰
- 箋(岷江楚入收載)一卷同 撰
- 源氏物語願文一卷
- 源氏物語表白一卷釋 聖覺
- 孟津抄五卷九條植通
- 源氏物語竟宴記一卷同 撰
- 岷江入楚五卷中院通勝
- 同別記一卷同 撰
- 賦源氏物語詩一卷
- 萬水一露二卷能登永閑 寛文三年
- 源氏引歌一卷
- 源海集一卷
- 源氏物語註五卷細川幽齋
- 源氏物語辨同 撰
- 源氏物語伏屋座一卷後水尾帝
- 源氏卷次第文字續一卷同

- 源氏物語辨引鈔二十卷一華堂切臨
- 源氏四河入海三十卷釋 興隆
- 源氏秘傳錄三卷同 撰
- 昌伯源氏註一卷
- 源氏物語先入御抄一卷
- 源氏綱目九卷一華堂切臨
- 源氏目錄五卷
- 源氏物語歌一卷
- 光源氏一部歌詞一卷
- 源氏一部連歌可用詞一卷
- 源氏解一卷
- 源氏抄二卷
- 源氏語古抄一卷
- 源氏大槩抄一卷
- 源氏肝要一卷
- 源氏物語提要一卷
- 源氏三ヶ大事一卷

- 源氏詞知一卷
- 源氏要解二卷
- 紫語素註一卷
- 源氏物語校書三卷
- 光源氏物語大意一卷
- 源氏狹衣歌合一卷
- 伊勢源氏十二番女合一卷
- 源氏人々の心くらへ一卷
- 源氏物語綱目十卷
- 源氏物語淺聞抄二卷
- 源氏參註十五卷
- 源氏大繩一卷
- 桐壺記一卷
- 源氏木芙蓉二卷
- 源氏供養一卷
- 源氏物語諸抄年月考一卷林 羅山
- 源氏鬢鏡一卷小島 宗賢 萬治三年

- 首書源氏物語 季夫卷釋 子真校 延寶元年
- 源氏物語湖月抄 六十卷 北村 季吟 同
- 源氏雲隱抄 九卷 淺井 了意 同 五年
- 源氏雲隱附
- 源語 雨夜抄 季夫卷 石出 常軒
- 源氏家傳抄 三卷 山岡 元隣
- 源氏掌故 四卷 有賀 長伯
- 源語 鈷 四卷 五井 純禎
- 源氏男女裝束抄 一卷 月村 宗頌 壺井 義知 補 元祿元年
- 同 後附 一卷 渡邊 康映 文政八年
- 源氏大和詞 三卷 元祿九年
- 源氏物語大意抄 一卷 元文元年
- 源註 拾遺 八卷 釋 契沖 天保五年
- 源氏物語新釋 三卷 賀茂 真淵
- 源氏ひとりごち 一卷 伊勢 貞丈
- 紫女七論 一卷 安藤 爲章
- 源氏物語外傳 五卷 熊澤 蕃山

- 源語 梯 三卷 市岡 猛彦 天明四年
- 雨夜のだみことば 二卷 藤原 宇萬伎
- 手 枕 一卷 本居 宣長 寛政四年
- 紫文消息 一卷 橋本 稻彦 文化四年
- すみれ 草 三卷 北村 久備 同十二年
- 源氏物語玉の小櫛 九卷 本居 宣長
- 原名 鈴の音色
- 玉の小櫛補遺 二卷 鈴 木朗 文化三年
- 源氏年紀考 一卷 本居 宣長
- 源註 餘滴 三卷 石川 雅望
- 同 拾遺 五卷 同 撰
- 紫文製 錦 八卷 橋本 稻彦 文化五年
- 源氏榮事 六卷 畑中 盛雄
- 源氏榮言 同 撰
- 源氏事類 三卷
- 續源氏類字 一卷
- 源語 斷錦 八卷 川上 靜庵

- 源氏物語不拂塵 四卷 本多 忠憲
- 源語類聚抄 八卷 小山田 與清
- 源氏物語目次 三卷 同 撰
- 清石問答 一卷 清水 雅望 石川 雅望
- 源氏物語名寄圖考 一卷 清水 濱臣
- 少女卷註 一卷 鈴木 朗 文政三年
- 源註 餘意 林 國雄
- 源氏難語抄 十卷 齋藤 彦麿
- 源氏物語逸文考 山岡 俊明
- 源氏演說抄 一卷 石野 廣道
- 補訂源氏物語系圖 一枚 森 嘉基 文政三年
- 源氏物語大意 二卷 釋 祖能 同
- 源氏帚木卷 荒木田 久守
- 源氏忍草 四卷 北村 湖春 天保五年
- 源氏物語類語 八卷 足代 弘訓
- 源語 圖抄 一卷 山本 正臣
- 源氏物語麻袋 五十卷 榎並 隆雄

- 源氏物語年立考 一卷 本居 内遠
- 源氏物語考 岡本 保孝
- 源氏物語評釋 十三卷 萩原 廣道 嘉永七年
- 源氏空蟬卷 千葉 葛野
- 源氏物語大全 五卷 村田 春野
- 源氏桐壺大概 天野 信之
- 源氏物語評註 其卷 荒木田 守訓
- 源氏物語評註 野々口 隆正
- 源語 奧旨 一卷 近藤 芳樹
- 源氏物語解 二卷 萩原 宗固
- 源氏物語折衷 一卷 日野 直麿
- 源氏物語俚言解 佐々木 弘綱
- 源語 童喻 同 撰
- 狹衣物語 八卷 大貳 三位
- 註釋書類
- 狹衣下紐 四卷
- 狹衣系圖 一卷 三條 西實隆

○狭衣物語入紐 一卷 河村 秀根

○狭衣物語類語集 小山田與清
○大和物語 二卷
註釋書類

○大和物語首書 一卷 和田 以悅

○大和物語抄 六卷 北村 季吟

○大和物語直解 三卷 賀茂 直淵

○大和物語抄補翼 伴 嵩 蹊

○冠註大和物語 三卷 井上 文雄

○大和物語新註 五卷 同 撰

○濱松中納言物語 八卷

註釋書類

○濱松中納言物語類字

小山田與清

○堤中納言物語 二卷

この物語に二種あり、一は堤中納言兼輔の事を書けるものにして今傳はらず、他は廣く世に行なるものにして、書中兼も堤中納言に關する事なき全く別種の物語なり、蓋し後人この物語の眞名稱を失し前者と誤りて、かく名付けしものなるべし

○夜半寐覺物語 殘缺

一名 寢覺物語、夜寢覺物語、又小夜寢覺物語といふ

○鎌倉時代

○松浦宮物語 一卷

この物語は、室町時代に至り盛に行はれし本地物の濫觴なり

○住吉物語 一卷

この物語の名稱は古く源氏物語及枕草紙に見えたと早く散逸しけるを此時代に新たに作りなせしものなり

註釋書類

○住吉物語松風抄 二卷 萩原 廣道

○とりかへばや物語 四卷

この物語にも二種あり、一は拾遺百番歌合に見えたるものにして、他は無名草子に見ゆるものこれなり、今世に傳はるものは、この二者混同したるものなり、即初部は古とりかへばやにして、他の殘部は新とりかへばやなり

註釋書類

○取かへばや詞寄 一卷 小山田與清

○新とりかへばや考證 四卷 岸本 弓弦

○鳴門中將物語 一卷

註釋書類

○鳴門中將物語考證 一卷 岸本 弓弦

○石清水物語 一卷

この物語を世に正三位物語といふものあれども誤なる事論なし

○風につれなき物語 殘缺

○唐物語 一卷

この物語は游仙窟及白氏文集の中より翻譯せしものにして小説的物語といひ避けれど、かゝる物語中最初の翻譯なるが故に特に茲にのす

○苔の衣 五卷

○山路の露 一卷 傳云世尊寺伊行

○地獄草紙 一卷 春日光長畫

これ後に行はるゝ草紙類の濫觴にして佛説もの祖なり

○繪草紙 一卷

○繪師草紙 一卷 藤原 信實

○曾我物語

これ歴史小説の濫觴にして實録物の祖なり

○室町時代

- 御伽草子 廿三部
- 文章草子二
- 鉢かづき二
- 小野小町二
一名 小町の草子
- 御曹司島渡り二
- 唐糸草子二
- 木幡さつね二
- 七草草子一
- 猿源氏草子二
- 物草太郎二
一名 あたぎの本地
- さゞれ石一
- 蛤の草子二
- 子敦盛一

- 二十四孝二
- 梵天國三
- のせざる草子一
- 濱出草子一
- 和泉式部一
- 一寸法師一
- さかさ一
- 浦島太郎二
- 横笛草子一
- 酒頭童子二
- 猫の草子二

右の中猫の草子の文中に慶長七年の年號あり、是等を御伽草子と名付けしは何時頃よりなりけん、版行本には出版年月を記さざれば明かならずと雖も、貞享、元祿、正徳の書目録に右の草子を記載しつゝ、御伽草子てふ書目なき事より思へば享保以後に附せし名稱なるべし。

- 女郎花物語一卷
- 忍音物語三卷

ふら

- 櫻中將物語一卷
- 若草物語三卷

此物語の名稱は月詣和歌集に見え、極めて古きものなれども現存せるものは此時代の偽作にして新忍音とも名付くべきものなり

●以上の三趣向いづれも相似たり、共に古忍音の筋によりて撰せしもの歟

- 秋月物語一卷
- 班女物語一卷
- 橋姫物語一卷

此物語の名稱古く顯注窓助に見ゆれど現存せらば此時代末の偽作なり

- 岩屋草紙二卷

一名 岩屋物語といふ、風葉集に見えしものと異なり此時代の作にかゝる

- 落窪草紙一卷

一名 小おちくぼ

- さごろも二卷

右二書は平安朝の落久保、袂衣を模倣せる作なり

- 音無草子一卷
- 轉寐草子一卷

風葉集に轉寐物語の名あれど此草紙とは別種なり

- 鶴の草子二卷
- 胡蝶一卷

●以上十四種は男女の戀愛に關するもの

- 秋夜長物語一卷

叡山の贈西法師三井寺の兒童梅若と契る物語にして後世所謂男色もの、濫觴なり、以下の三書もこれに倣ひたる男色ものなり

- 鳥部山物語一卷
- 松浦帆物語一卷
- 嗟蛾物語一卷
- 土蜘蛛草子一卷
- 大江山繪詞三卷
- 伊吹山繪詞三卷

右の二書は御伽草紙中の酒頭童子と大體に於て同じ趣向なれども、たゞ其筋を酒頭童子は日本國內にとゞめ、大江山繪詞は支

那にも及ぼしたり、又伊吹山繪詞は童子の住處を伊吹山千町が
獄とせるを異なれる點とす

- 日高川繪詞一卷
- 浦島草子一卷

御伽草子の浦島太郎とは全く異なるものなり

- 中書王物語一卷藤原兼良
- 立烏帽子一卷
- 乳母草子一卷
- 長谷雄草子一卷
- 玉もの前二卷
- 男衾三郎物語下一卷
- 義經記十二卷
- 西行一生涯草紙六卷
- 西行物語と同じ物歟
- 木曾物語三卷
- 淨瑠璃十二段草子一卷

徳川時代に至り隆盛を極めたる淨瑠璃の祖なり
●以上十五種は傳説實録に關するものなり

- 福富草子二卷
- さしやき竹草子一卷
- 酒色論一卷

一名三論

- 破鏡物語一卷
- 十二類合戦繪詞三卷
- 付喪神繪詞二卷
- 鴉鷲物語三卷傳云一條禪閣
- 精進魚類物語二卷
- 一名魚鳥平家
- 泉の草子一卷
- 一名鼻法師
- 化物草子一卷
- 玉蟲草子一卷
- 狐草子一卷
- 一名狂僧草子、又氣違草子ともいふ
- 猿草子一卷
- 鼠草子一卷

- こころぎの草子一卷
- 調度歌合一卷
- 蟲十五番歌合一卷
- 烏十五番歌合一卷
- 藤袋草子一卷
- 柿本系圖一卷
- かざしの姫君一卷
- 花鳥風月一卷
- 一名葉室中納言物語
- 賀陽良藤物語一卷

●以上廿三種は滑稽にして怪異なるもの後世の滑稽本はこの流
れを汲みしものなり

- びしゃ門の本地三
- 貴船の本地三
- 熊野の本地三
- 月日の本地二
- 釋迦の本地三

- 七夕の本地二
- 善光寺の本地三
- 賀茂の本地三
- 八幡の本地三
- 天神の本地二
- 清水の本地二
- 祇園の本地三
- 庚申の本地二
- 弘法の本地三
- 嚴島の本地三

以上の本地中びしゃ門、貴船の二本地を除くの外は貞享、元禄
の書目録によりて加ふ、傳本極めて稀なれば見る事を得ざれど
も概して此時代の遺作にして過渡時代に出でしものと思はるゝ
が故に茲に附記す、書名の下に二或は三としるせるは冊数なり

- 須田彌兵衛妻出家繪詞一卷
- 幻夢草子一卷
- 今宵の少將三卷
- 一名雨やどり

附録

○舞の本目録

舞の本は中古の舞の譜本なれども其譜既に滅び、今は御伽草子と同じく單行の小説として世に行はるゝが故に茲に載せて附録とす

- 濱 い て 一
- 硫 黄 が 鳥 一
- 常 盤 問 答 一
- い る か 一
- 夢 あ は せ 二
- 新 曲 一
- 那 須 の 興 一 一
- こ し ご え 一
- 四 國 落 一
- 元 服 會 我 一
- 小 袖 會 我 二
- 和 田 酒 盛 二

- 天 狗 草 紙 一 卷
- 常 盤 の 姫 一 卷
- 三 人 法 師 二 卷
- 佛 鬼 軍 一 卷 傳云一休和尚 元祿十一年 文政再刻
- 魔 佛 一 如 一 卷
- 雀 の 發 心 一 卷

●以上廿四種は佛說本地類にして近世の佛教的文學の濫觴なり

- 十 番 の 物 争 一 卷
- 四 十 二 の 物 争 一 卷
- 天 稚 彦 草 子 二 卷
- 海 人 の 苅 藻 一 卷

こは拾遺百番歌合、色葉集等に見えたるものと異なり此時代の作にかゝる

- と が し 二
- 清 ま げ 一
- 未 來 記 一
- 木 曾 願 書 一
- か げ 清 二
- 馬 ぞ ろ へ 一
- 笛 の ま さ 一
- い ぶ さ 一
- 十 番 切 二
- 大 職 冠 二
- 伏 見 と き は 二
- 堀 川 夜 討 一
- あ つ も り 二
- ま ん ぢ ろ 二
- 高 だ ち 二
- 夜 討 會 我 二
- 百 合 若 大 臣 二

- 文 覺 二
- 笈 さ が し 一
- 志 田 二
- 築 島 二
- 鳥 朝 子 折 二
- 八 鳥 二
- か ま だ 二
- い づ み が 城 二

群書一覽には右廿六番を舞の本とすれど貞享、元祿の書目には右の中夢合、劍蹤喚を除き左の二部を加へて廿六番とせり

○散逸物語目録

これ等の物語類は、たゞ名目のみ古書に存して世に傳はらざるものなり、いま古物語字類鈔をもととし五十音順に別つ、下欄に擧げたるものは、其名目を載せし書目なり

○あ部

- あさうづ物語 更科日記
- あしびたくや物語 狭衣物語集
- あさくら物語 拾遺百番歌合、色葉集、明月記、風葉集
- 海人刈藻 拾遺百番歌合、色葉集、明月記、無名草紙
- 海人子物語 寶物集
- 秋かぜながし物語 色葉集
- あはれのわかさみ物語 同
- あふにしかへば物語 同
- 逢の中將物語 同

字類鈔に逢の中將の誤寫にあらずやといへり

- あめのした物語 色葉集
- あしすだれ物語 同集、風葉集
- あじろ物語 同
- あふさか物語 同
- あま物語 色葉集、八雲御抄、風葉集
- ありま王子物語 海人子物語と同じ物歟
- あさぢが原内侍のかみ物語 八雲御抄
- ありあけの別れ物語 無名草紙
- あさくら山物語 風葉集
- 秋の夜長しとわぶる物語 同
- あさぢが露物語 同
- あさ露物語 同
- あづま物語 同
- あふぎながし物語 同

- あふまかへる物語 風葉集
- あふにかふる物語 同
- あしたづ物語 同
- あしのやへぶき物語 同
- あだなみ物語 同
- あたりさらぬ物語 同
- あひずみくるしき物語 同
- あまのもしほび物語 同
- あまやどり物語 同
- あらばあふよ物語 同
- あれまく物語 同
- 秋津鳥物語 本朝書籍目録
- 秋の夜かたる少將物語 古物語目録
- あはび貝物語 同

○い部

- いまめさの中將物語 勘女往生義
- 岩垣沼物語 後拾遺和歌集

- 岩うつ物語 色葉集
- いせを物語 風葉集
- いちひひろひ物語 同
- いはてしのぶ物語 同
- 梅壺の少將物語 枕草紙
- 埋木物語 枕草紙
- 内の女御物語 風葉集
- うさなみ物語 無名草紙
- 宇治の川なみ物語 無名草紙
- うさ雲物語 風葉集
- うたね物語 同
- うつせみしらぬ物語 同
- 梅めづる物語 同
- うらみしらぬ所物語 同
- うらもり物語 古物語目録

字類鈔云からもりの誤寫なるべしと

○をくらひ物語	古今序註
○大津の王子物語	狭衣物語
○おほむ物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○老人のかたみ物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○おのれけふたき物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○思ふにくるしき物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○をんなのひかけ物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○をだえの沼物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○おとし文物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○おやこの中物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○おもかげこふる物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○をぐるま物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○をぐら山たづぬる物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○女のすくせしらす物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○女すゝみ物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○をのへ物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○忌部物語	古物語目録
○かたの少將物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かゝらもり	源氏物語、枕草子、風葉集
○かばね帯ぬる宮物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かくれみの物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かはほり物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○からくに物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かいばみ物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かつらの宮物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○川がり物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かさぬる夢物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かすみへだつる物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かつら中納言物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かひ物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かほよき舞姫物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○かやが下をれ物語	源氏物語、枕草子、風葉集

○京太郎物語	道の幸
○國ゆづり物語	枕草紙
○くさのゝ岩物語	色葉集
○くまのゝ物語	同
○孔雀御子物語	八雲御抄
○雲井の月物語	風葉集
○けぶりにむせぶ物語	風葉集
○けぶりのしるべ物語	同
○現玄物語	古物語目録
○こ	部
○狛野物語	源氏物語、枕草子、風葉集
○心高き物語	拾遺言、番色葉集、明月記、風葉集、無名草紙
○こふむかへ物語	無名草紙
○こ	部
○紅梅物語	風葉集
○こさうしき物語	同
○戀に身かふる物語	同
○こゆみ物語	同
○こゝろやり物語	同
○ことうらの煙物語	同
○こまむかへ物語	同
○こゝろとまり物語	同
○こゝろのしるべ物語	古物語目録
○こ	部
○さりわけしあまの大将物語	風色葉集
○さだめなき世物語	同
○さまかる物語	同
○左右袖ぬらす物語	明月記
○さとのしるべ物語	風葉集
○し	部

○正三位物語	源氏物語
○しらゝ物語	更科日記、八雲御抄、十訓抄、古今著聞集
○しらく物語	色葉集
○しぐれ物語	風色葉集
○しみづにぬるゝ物語	同
○したうづかさ物語	色葉集
○しちのまろね物語	同
○四季物語	風葉集
○しづくににこる物語	同
○しづのをだまさ物語	同
○しのぶ物語	同
○しのぶくさ物語	同
○しのぶもぢずり物語	同
○朱の盤	花鳥餘情
○白猿物語	長頭丸隨筆
○下萌草紙	古畫目錄
○す	部
○末葉露物語	玉海、拾遺百番、色葉集、明月記、無名草紙
○すさぎみ物語	同
○すとりわり物語	同
○すぬえむ物語	色葉集
○すゞめの物語	風葉集
○すまひ物語	同
○せ	部
○せり川物語	源氏物語
○せりつみし物語	更科日記
○せれら物語	風葉集
○そ	部
○袖ぬらす物語	狭衣物語、拾遺百番、色葉集、風葉集
○道心すゝむる物語	風色葉集
○たまのを物語	狭衣物語

○たてじとみ物語	色葉集
○たふのみねのかす物語	同
○たまがしは物語	風色葉集
○たまも物語	無名草紙、八雲御抄
○たまもにあそぶ物語	風八雲御抄
○たまくら物語	同
○たゆみなき物語	同
○ち	部
○ちごまつ物語	色葉集
○ちくまの川物語	風葉集
○ちびにくだくる物語	同
○つ	部
○月待女物語	枕草紙、紀伊草紙
○露のやどり物語	拾遺百番、歌合、色葉集、風葉集、無名草紙
○ついなし物語	色葉集
○月になぐさむ物語	同
○つゝらこ物語	風葉集
○つまこひかぬる物語	風葉集
○露わけわぶる物語	同
○つるのしるべ物語	同
○つかのしるべ物語	古物語目錄
○と	部
○殿うつり物語	枕草紙
○とをさみ物語	更科日記
○とうの中將物語	色葉集
○ともつみつけ物語	同
○とばりあげ物語	風色葉集
○とこ中物語	風色葉集
○としあらそひ物語	風鳥餘情
○鳥の音うらむる物語	同
○な	部
○長井の侍従物語	勸女往生義
○なかじま物語	色葉集
○なきなの姫君物語	同

○なでしこ物語 風色葉集
 ○なると物語 同
 ○なみぢの姫君物語 無名草紙
 ○長月の別れ物語 風葉集
 ○流れて早きあす川物語 同
 ○なげきたえせぬ物語 同
 ○なみのしめゆふ物語 同
 ○なれてくやしき物語 同
 ○難波物語 本朝書籍目録
 ○奈良の葉物語 古物語目録
 ○新妻物語 古物語目録
 ○ぬれぎぬ物語 月詣和歌集
 ○ぬりごめ物語 風色葉集
 ○ぬるへの中將物語 色葉集

○のじま物語 風葉集
 ○のちくゆる物語 同
 ○はこやのとし物語 源氏物語
 ○花櫻物語 赤染衛門集
 ○はなふち物語 色葉集
 ○濱松が枝物語 同
 ○はまゆふ物語 風色葉集
 ○初雪物語 無名草紙
 ○はがため物語 風葉集
 ○萩に宿かる物語 同
 ○はこや物語 同
 ○はしたか物語 同
 ○初音物語 同
 ○はな宰相物語 同
 ○はなざかり物語 同
 ○はなのしるべ物語 同

○はすゑの露 古物語目録
末葉露の誤なるべし

○ひとめ物語 枕草紙
 ○ひこかしづく物語 風色葉集
 ○ひぢぬいしま物語 風葉集
 ○人たがへ物語 同
 ○人にかはれる物語 同
 ○ひとりこと物語 同
 ○一口物語 看聞御記
 ○ひなぶり物語 古物語目録
 ○ふ 部
 ○伏見の翁物語 瀬女往生義
 ○ふせご物語 狭衣物語
 ○ふりや物語 色葉集
 ○故郷物語 同
 ○ふくら雀物語 風色葉集

○吹こす風物語 風葉集
 ○ふくろかけ物語 同
 ○ふせや物語 同
 ○二子の宮物語 同
 ○ふたばの松物語 同
 ○ふたよのとも物語 同
 ○ふもと物語 同
 ○ふるさと尋ぬる物語 同
 ○ま 部
 ○松が枝物語 風枕草紙
 ○まとう琴の音物語 風葉集
 ○松殿物語 本朝書籍目録
 ○み 部
 ○みづからくゆる物語 狭衣物語、色葉集
 ○みかはにさける物語 風葉集
 ○みがきがはら物語 拾遺百番歌合、明月記、風葉集、無名草紙
 ○みこがへ物語 同

○みたらし川物語	風葉集
○水あさみ物語	同
○みつのしらなみ物語	同
○みなせ川物語	同
○みふね物語	同
○みやまかくれ物語	同
○みれどもあかぬ物語	同
○三國物語	本朝書籍目録
○むぐらのやど物語	風葉集
○めもあはぬ物語	風葉集
○もちつき物語	色葉集
○ものうちやみ物語	同
○ものしづく物語	風葉集
○藻に住む蟲物語	同

○ものねたみ物語	風葉集
○山蔭中納言物語	八雲御抄
○やせがは物語	風葉集
○山ぶき物語	同
○やみのうつし物語	同
○ゆくへしらぬ物語	風色葉集
○ゆめがたり物語	無名草紙
○雪のうち物語	風葉集
○夕霧物語	同
○夢路にまどふ物語	同
○夢のかよひぢ物語	同
○夢ゆる物思ふ物語	同
○ゆるさぬ中物語	同
○よしの山物語	色葉集

○よそのおもひ物語	風葉集
○よつあし物語	同
○蓬が原物語	同
○世をうち川物語	同
○若草物語	色葉集
○わたらぬ中物語	風色葉集
○わが身にたどる物語	風葉集
○われから物語	同
○われはづかしき物語	同
○わくらはの物語	古物語目録

○假名草紙

○伊曾保物語三 慶長活字本
鎌倉時代に出てし唐物語は翻譯なれど遊仙窟及白氏文集の中を譯せしものなれば、純粹の翻譯小説と云ひ難し、この物語は西歐のイソップの翻譯にして、しかも近世小説の巻頭に出てたるは奇とすべく、我國翻譯小説の濫觴といふべし、此書いたく世にてもはやされ元和に至り再摺し、萬治二年には更に繪畫を加へて新版再刻せり、

○さのふはけふの物語二 同
豊臣時代の小話を集めたるものにして後世所謂話し木の濫觴なり、寛永に至り再刻せり

○信長記三 元和八年

○太閤記二 小瀬甫庵 寛永二年
この二書は後山の軍記實録の濫觴にして近世讀本の祖なり、此種のもの他に淨心が北條五代記、大阪物語等頗る多けれども、戯作といふにあらざればこゝにはぶく

○屑藻物語一 同

○薄雪物語二 寛文九年
寛文九年再摺、元禄に至り鱗形屋より中本一冊として再版享保

200 200 131 131 142 142
793 78 103 174
千ハセ 千ハセ

237
326

○當世尤の草紙五
寛永廿二年
103 此時代に古物語草紙を滑稽に引なほしたるもの多し仁勢物語大
193 つれく等此種に屬す、この草紙は枕草紙に擬したるものにし
て此種のものうち先頭に出てしものなり

○七人比丘尼二
同十二年
一名 きんげ物語といふ此時代佛説もの、始めなり

○清水物語二
同十五年

○そとろ物語一 三浦淨心 同十六年

○あだ物語一 平 爲春 同十七年

○可笑記五 如 龜子 同十九年
近世戯作の祖と稱せらるゝもの萬治二年に繪巻を加へ再刻せり
つけていふ原版は大本再版は半紙本なり

○若道物語二
同二十年
一名 心友龍

○寛永鼠物語一
同

○大佛物語一
同

○竹齋物語二 傳云光廣作 同年代不詳

○仁勢物語二 傳云光廣作 同年代未詳
貞享三年再版

○田夫物語一
同

○祇園物語二
同

○續清水物語二
同
この書南藏書目に小説部に收められと未だ見れば知らず
草三 正保四年

○不可徳物語二
慶安元年

○中將姫の本地一
同 四年

○新辨慶物語二
同
貞享三年再版

○棠陰比事物語五
同
支那の棠陰比事の翻譯にして西鶴の櫻陰比事、無名氏の藤陰比
事はこれにもとづけるなり

○犬つれく二
承應二年

○つるぎのまさ三
同

○いつくしまの本地三
明暦二年

○阿彌陀はだか物語一
同

197 2 2 2 139 237
174.13 3 2 295 112 9 114 10 29 43 326

184

○恨のすけ二
明暦二年
原版年號不詳、寛文四年三版書中慶長十四年に作りし跡あり

○催情記一
同 二年

○誰が身の上六 山岡元隣 同

○横笛瀧口の草紙一
萬治元年
御伽草子の横笛草子のなほし

○御伽物語五
同 二年

○百物語語二
同

○天くのたいり三
同
原版は大本再版は給入中本なり

○松風村雨三
同

○辨才天の本地二
同 三年
一名 おもかけ物語

○堪忍記八 淺井了意 同

○可笑記評判三 瓢 水子 同

○一本菊二
同

○孝行物語六 淺井了意 同

○小 扨六 山岡元隣 同年代不詳

○東海道名所記六 淺井了意 同
こは竹齋物語にならひたる道中記にして小説とはいひ難けれど
一九の膝栗毛の粉本ともいふべき名作なればこゝに載す、この
種のもの同作者に江戸名所記あり

○本朝女鑑三 淺井了意 寛文元年

○因果物語三 鈴木正三 同
この書片假名と平假名との二種あり平假名のは偽書と稱せ
らる、同作者に續因果物語あれど寫本なり

○浮雲物語三
同

○水鳥記三 地黄坊檜次 同 二年
再版は松會開板本なれども年代不詳、寶曆十四年に半紙形とし
酒殿談と改題して三版を出せり

○爲愚痴物語八 曾我休自 同

○法華妙正物語一
同

○繪入ねごと草二
同

○吉原伊勢物語二
同

○揚貴妃物語一
同 三年

○すみ染櫻二
同

146 171 109 35 34 191 42 112 184
147 201 147 44 83 132 112 61 157

- 戒殺物語一 寛文四年
- 二人比丘尼二 鈴木正三 同
- 須田彌兵衛妻出家繪詞によりて作りしもの、世に行はれしにや
松會開板本を始め三版あれどいづれも年代詳ならず
- よだれかけ六 同 五年
- 慶安二年に五の巻まで稿なりしを承應元年若衆歌舞法度の事
實を加へて寛文五年に印行す
- 花のえん物語二 器の子 同 六年
- 鳥邊山物語を女色に引直したるものなり
- 御伽婢子三 瓢水子松雲 同
- 剪燈新話中を翻案せしもの也、其怪談的物語いたく行はれて寶
永享保に至るまで撰本の作十餘種あり、文政九年正月補刻して
半紙本とせり
- 寶満長者一 同
- 繪入法妙童子三 同
- 原版本後鱗形屋より中本一冊物として再刻せり
- あくた物語三 同
- 釋迦八相物語十 同
- 支那の翻譯、三版あれども年代いづれとも不明なり
- 海上物語二 釋 惠中 寛文六年
- 青葉の笛一 同 七年
- 堀江物語三 同 七年
- 理屈物語六 經山子序 同
- 寶永八年再撰、享保二十年三摺
- 身のかゞみ三 同 八年
- 若衆物語一 同
- 一名 若衆短歌
- 勸學院物語一 同 九年
- 繪入判官都話五 同 十年
- をさな源氏五 野々口立甫 同
- 源氏物語の翻譯なり此種類多し
- しぐれの宴二 同
- 十二人姫一 同
- 繪入錦木五 淺井了意 同年代未詳
- 會呂利狂歌話三 同 作 同
- 十帖源氏十 野々口立甫 同

143
14

- 讀あときばうこ十 同
- 新雨夜の友三 延寶四年
- 元隣作小扨の中をけつり改題再刻せるもの
- たきつけ上 同 五年
- もえくぬ中一 同
- けしずみ下一 同
- この冊子毎冊外題を異にす即ち三本を合して一部なり
- あふぎながし三 同 七年
- 六日飛脚二 同

この書を西鶴作といひ傳本ありと云ふ人あり果して然らば西鶴
の初作なれども未だ見れば知らず

- もとのもくあみ二 同 八年
- 浪花 鉦六 酉水 庵 同
- 再刻には西鶴作と入木あり一名賭分店蔵
- 杉揚 枝六 里木 予一 同
- 都風俗 鑑四 同 九年
- 一名 都色欲大全
- 明石物語二 同

- 浮世物語六 淺井了意 同年代未詳
- 一名 女五經

○年代不詳部

○強盗鬼神二

ゑどり本

ゑどり本とは墨摺の挿絵に三色或は五色の色筆を以て彩とれるものにして明暦頃に行はれたり

○愛宕地蔵の物語三

同

○大和二十四孝三 浅井了意

後世二十四孝二十不孝其他何々二十四孝と稱するもの、濫勝なり

○あめわか草紙二

一名 あめわかみこ戀物語といふ後一冊の中木に再刻鱗形屋よりいたり

○三井寺物語一 浅井了意

○めざまし物語五

○おぐり物語二

○新聚樂物語二

○秀郷物語二

○法華安心糺物語一

○武田物語一

○御伽ひくに五

●以下百餘種寛文、貞享及元禄の目錄によりて載す、足利時代の遺作もあれど概して過渡時代の作と思はるゝが故に茲に附記す

○切兼會我二

○ひやうし木一

○しづか二

○せはしな草五

○相摸川二

○千代の友鶴三

○朝顔の露二

○嵯峨紅葉四

○富士の人穴草紙二

○犬方丈記二

○よし氏一

○入相の鐘二

○花づくし一

○伊勢みやげ一

○あかし二

○にぎはひ草五

○いそぎ二

○にほひ袋二

○あひしやう文一

○蘇鐵發心二

○自身房一

○なざけくらべ五

○老のすさひ一

○あひそめ川二

○茶たばこ一

○夢のちぎり二

○花葉言一

○嶮太平記二

○かくれ里二

○魚太平記二

○まんしゆの前二

○草木太平記二

○七夕草紙一

○あかしとこ一

○六代草紙二

○戀のみなかみ一

一名 六代御前

○東物語二

○火桶草紙一

○しみづ物語二

○扇草紙一

○北野通夜物語二

○田村草紙二

○三浦物語四

○もみぢの前二

○鳥羽の戀塚物語二

○すみだ川三

○寶鏡物語四

○ゆめつげ草一

○自己物語三

○夫婦宗論二

○おんげん物語二

○ひいな文章草紙二

○伊呂物語二

○美人くらべ二

○一休品物語四

○雪おんな二

○放生物語三

○酒茶論一

○山城四季物語五

○戀の舟はし三

○住吉相生物語五

○花子ものぐるひ三

○堅田物語一

○蓬萊山二

○山來物語五

○小町歌あらそひ二

○嵐無常物語二

○りんき講三

○田畑難題物語二

○かくれみの二

○名月物語二

○遊屋物語二

○重寶物語二

○ゑんま物語三

○狂言物語三

○うす雲戀物語二

○辨才天通夜物語一

○衆道物語二

○するすみ物語三

○うさ京物語二

○百萬物語二

○見ぬ京物語三

○釣さほ青道心五

○河海物語二

○今業平物語五

○建武物語二

○柏木右衛門櫻物語一

○薬師道夜物語一

○面影物語二

○上野物語二

○おやこ物語四

○結城物語二

○草木物語二

- 夢物語 語二
- 七草物語 一
- あさみち物語 一
- 鶴飼寺物語 一
- 南蠻寺物語 一
- むらまつ物語 一
- もろかど物語 一
- 諸國百物語 五
- 十二帖源氏 三
- けんもつさうし 一
- 竹齋療治物語 二
- えんや物語 二
- 櫻木物語 一
- 三國物語 七

○浮世草紙

- 好色一代男 八 井原西鶴 天和二年
原版は大本にして天和二壬戌年陽月中旬大坂忠案橋荒砥屋孫兵衛可心板再摺し大本大坂住大野木市兵衛板、拾はいつれも詩給師源三郎筆、江戸刻本は半紙本にして貞享四丁卯年九月中旬日本橋背物町大津屋四郎兵衛板拾は和給師葵川吉兵衛師宣筆
- やまと繪の根元 二
- 日ふうぞく繪 二
この二書は一代男の繪を大きくし文章をつめて頭書したるものいづれも江戸版にして葵川師宣筆なり
- 風流戀慕水鏡 五 山 八 同
- 新御伽婢子 六 同
- 小夜衣五茅屋子 同 三年
元禄に至り再摺し卷末に葵川師宣と入木せり
- 吉原の草紙 一道 之 同
- 下り竹齋 三 同
- 花の名残 五 貞享元年

- 好色二代男 八 井原西鶴 貞享元年
一名 諸國大鑑
- 好色訓蒙圖彙 三 吉田半兵衛 同 二年
文化頃に再板し半紙本とせり原版は小木
- 宗祇諸國物語 五 同
- 貧人太平紀 三 同
- 枕久一世物語 二 同
- 諸國はなし 三 井原西鶴 同
- 一名 天下馬
- 近代艶隠者 五 同 三年
- 本朝二十不孝 五 井原西鶴 同
- 一名 新因果物語
- 古今百物語評判 五 同

- 淺草拾遺物語 四 同
- 源氏明石物語 一 同
- 好色三代男 五 井原西鶴 同

- 好色一代女 六 井原西鶴 貞享三年
- 好色五人女 五 同 作 同
- 好色諸國心中女 五 同 作 同
後貞女白無垢と改題
- 好色旅日記 五 同 作 同 四年
後貞女白無垢と改題
- 男色大鑑 八 同 作 同
- 武家義理物語 六 同 作 同
- 武道傳來記 八 同 作 同
- 男色の染衣 四 同 作 同
元禄五年再摺 松月堂不角 鳥居彦兵衛
- 好色破邪顯正 三 白眼居士 同
- 好色訓蒙 好色貝合 二 吉田半兵衛 同
- 男色十寸鏡 二 好善居士序 同
- 懷 硯 五 同
- 吉原五十四君 一 東國太 同 四年
師 宣 齋

東國太郎とは俳人其角の匿名なり

○新 竹 齋五 貞享四年

○梅のかほり五 夢遊 軒序 同

○好色しなの梅四 同年代不詳

○好色四季はなし四 同

元禄十一年好色勘忍記と改題、正徳三年花鳥風月と改題

○好色三鳥曆三 同

元禄に至り好色年八卦四本、又傾城文反古と改題

○色里三所世帯三 井原 西鶴 元禄元年

○日本永代藏六 同 作 同

○新可笑記五 同 作 同

○好色盛衰記五 同

後西鶴榮花話と改題

○好色注能毒三 同

○好色通變占三 同

○好色文傳授五 山之軒政房 同

一名 風流文評元禄十二年再摺

○衣更着物語二 元禄元年

足利時代の四十二の物語を翻刻改題せるもの元禄六年再刻

○本朝櫻陰比事五 井原 西鶴 同 二年

○塵塚物語六 同

○好色床講義六 同

これは文字屋談義もの、祖といふべき歟

○好色法のともしな五 同 二年

○新吉原常々草二 同 二年

○死靈解脫物語二 同 三年

正徳二年再摺

○北條時頼記十 岡本一抱子 同 四年

○善光寺如來縁起五 同 五年

○好色錦木五 同

○世間陶算用五 井原 西鶴 同

○狗 張子七 淺井了意 同

○諸國新百物語五 俳 林子 同

○化野物語二 同

○當流 風體男 色子鑑五 九思軒鱗長 元禄元年

延享三年和國小性氣質と改題新板とす

○西鶴置土産五 同

○浮世榮花一代男四 同

この書西鶴作とあれど偽書なり

○給二月物語二 同

○好色傳授三 同

○好色萬金丹五 同 七年

○風流鎌倉土産五 木 目 長 同

○西鶴織留六 西鶴 遺稿 同

前二冊町人鑑後四冊世の人心

○好色慰草五 同 七年

一名 好色手打笑、又好色名物揃ともいふ

○好色罌粟鹿子五 水月庵序 同

この書全く會話體なり、洒落本の祖ともいふべし

○香のかほり三九 思 軒 同 八年

○俗つれく五 井原 西鶴 同

○好色わすれ花五 如 醉 元禄九年

○好色小柴垣五 醉 狂 庵 同

○好色さんげ咄五 同

○萬の文反古五 井原 西鶴 同

西鶴作にあらず偽書なりといふ人あり、正徳二年再摺

○玉 箒 木六 林 義 瑞 同

寶永三年再摺

○賭國武 士 鑑五 難波 一雪 同

○好色酒吞童子五 同 十年

改題好色榮花女

○賢女明野の夢二 沈 水 同

○西鶴冥途物語五 泡 影 同

○好色大福帳七 唯 樂 軒 同

○好色堪忍記四 同 十一年

貞享版好色四季咄の改題再刻

○好色飛鳥川五 同

○ぞくむらさき五 石川 流宣 同

○新色五卷書五 西澤よし 元祿十年

○小夜嵐物語十

○籠 耳五

○好色井戸車五

改題新版かきみ

○色道 小鑑五

延寶の箕山作色道大鑑に擬したるもの、大鑑は寫本にして、戯作にあらざればこの年表に載せず

○西鶴名残の友五 團水 序 同

○風御前義經記八 西澤よし 同十三年

寶永に至り再摺せり

○稻荷大明神利現記三

○好色河念佛五

○好色百物語五

○傾城色三味線五

八文字 自

八文字屋本の祖たると共に所謂三味線もの、濫觴なり此以前八

○風流今平家六 西澤よし 元祿六年

一名町人身の子鑑

○好色敗毒散五

○風流源氏物語六 都の錦 同

○風流夢の浮橋六 雨滴庵松林 同

○立身大福帳五 唯樂軒 同

好色大福帳の改題か

○傾城百人一首

○太閤 記三

出版後直に絶板を命ぜらる鱗形屋出版

○拾遺御伽婢子七 柳絲堂 寶永元年

○風流連三味線五 風音堂 同

○誰袖の海六 由之軒政房 同

○好色夕顔利生草五 同

○島原合戦記三 同

後絶板を命ぜらる

○心中大鑑五 書方軒 同

文字屋は役者評判記、淨るり本を梓行せしのみなり

○御前伽婢子六 都の錦 元祿四年

○遊里櫓太鼓六 同

○五ヶ濃津餘情男五 都の花風 同

○清少納言犬枕三 同

○入都女品定三 如水軒 同

○好色智恵袋五 同

○風流大和莊子五 都の錦 同十五年

○元祿太平記八 梅蘭堂 同

都の錦匠名の作なり

○東海道 敵討元祿會我物語六 都の錦 同

○風流好色十二段六 同

○似我蜂物語六 同

○好色大振袖五 好色軒團水 同十六年

○士農 男色木目漬五 團齋 同

○工商 傾城仕送大臣六 同

○棠大門屋敷五 錦文流 寶永二年

○傾城武道櫻五 西澤よし 同

○風流今兼好五 錦文流 同

○寶永千歳記五 田村榮秀 同

○御前獨狂言六 西 爲 同

○好色眞實伊勢物語三 同

○新色三ツ巴六 同

○長者機嫌袋六 福富言粹 同

○世の是沙汰五 西 樂 同三年

○熊谷女編笠 同 錦文流 同

寛政九年再摺

○京縫鎖帷子四 森本東馬 同

○御伽百物語六 白梅園鶯水 同

○宇津山小蝶物語七 森田吟夕 同

○うちかぶと五 舟 月 同

○新武道傳來記五 團水 同

○本朝濱千鳥六 永井正流 同四年

- 晝夜用心記六 團 水 寶永四年
- 達髮五人男五 西澤 よし 同
- 千尋日本袋六 團 粹 同
- 和漢 善悪男色比翼鳥六 奥村政信書 同
- 近代因果物語六 驚 水 同
- 紅白源氏物語六 政 信書 同
- 大茶山 上 夢色道懺悔男六 猿 算 同
- 風流吳竹男五 同 五年
- 關東名殘袂五 政 忍 同
- 本諸士百家記十 錦 文 流 同
- 野傾友三味線五 西澤 よし 同
- 風流三國誌五 同 作 同
- 茶傾ひそり顔四 同 作 同
- 好色手柄咄五 錦 文 流 同
- 美景蒔繪松五 同 同
- 傾城伽羅三味線五 西澤 朝義 同
- 本朝新堪忍記七 驚 水 同

- 大和怪異記七 寶永五年
- 草木軍談賤爪木七 同
- この書以前より行はれしを再版する由序文に見ゆれども原版は未だ見ず
- 今様二十四孝六 月 尋 堂 同 六年
- 當世誰が身の上六 斧 丸 同
- 御前二代會我六 西澤 よし 同
- 日本桃陰比事七 同
- 傾城玉子酒五 八文字 自笑 同
- 八文字屋本この書より自笑作と署名す
- 兄弟善悪車六 月 尋 堂 同
- 風流曲三味線六 八文字 自笑 同 七年
- 寛濶平家物語六 八文字 自笑 寶永七年
- 一名、永代男好色一代男の跡をつぎしものなり
- 野白内證鑑五 同 作 同
- 傾城傳授紙子五 同 作 同
- 御入部伽羅女六 瓶 水序 同

○魂膽色遊懷男五 自

笑 同年代不詳

元禄寶永の間繪畫のみ眞面目なるものを挿入せし房事に關する草子多く出たり、この懷男もその一種なりこれ等は此年表に載せざれどこの懷男の豆右衛門の趣向大に行はれ黄表紙滄精本にこの作を模したるもの多く出でしを以て特にこゝに加へ

- 衆道戀慕櫻三 西澤 よし 同
- 野傾百物語五 同 作 同
- 男傾城文枕五 同 作 同
- 游女懷中洗濯五 同 同
- 傾城禁短氣六 八文字 自 笑 正徳元年
- 好色入子枕五 同 同
- 一夜 船五 團 水 同 二年
- 享保に至り怪談賭國物語と改題再刻
- 頼朝三代鎌倉記五 八文字 自 笑 同
- 文武君が代さしれ石六 石 別 子 同
- 新 武道三國志十 同 同
- 當世智恵鑑五 文 會 堂 同

- 通俗列十二朝軍談五 李下 散人 正徳三年
- 傾城盃軍談五 近 自 松序 笑 同
- 日本新永代藏六 團 水 同
- 本朝智恵鑑五 八文字 自 水 同
- 百姓盛衰記四 八文字 自 笑 同
- 鎌倉武家鑑六 同 同
- 怪談乗合船六 落月庵操庵 同 同
- 花島風月四 同 同
- 貞享版好色四季咄の改題三刻
- 竹齋狂歌物語三 同 同
- 當世信玄記五 落月 堂 同
- 今川一睡記五 八文字 自 笑 同
- 本朝廿四貞四 同 同
- 一名 本朝女二十四孝
- 西海太平記五 八文字 自 笑 同
- 近代長者鑑五 西 吟 同 四年
- 繪風枝の卷二 同 同

○入給 國家諸士鑑 玉雲雨 散人 正徳四年
 ○都ひながた三 同
 ○敷壘百八十壘三 同
 ○世間息子氣質五 其 積同 五年
所謂氣質ものゝ遊廓なり
 ○新 小夜 嵐三 同
八文字
 ○風流 誰平家五 自 笑同
 ○義經 風流鑑五 同 作同
 ○丹波太郎物語三 其 積同
禁相氣
 ○後 野傾旅葛籠五 同 作同
 ○續 小夜 嵐六 同 同年代不詳
 ○契情あやめ草五 同 享保元年
 ○今源氏空船五 西澤 一風 同
 ○西鶴傳授車五 天狗堂轉蓬 同
八文字
 ○曾我鎌倉飛脚五 風 瓢子 同
八文字
 ○分里 馳行脚五 自 笑同
 ○當世名代男五 其 積同

○世間娘氣質五 其 積 享保元年
 ○義貞勳功記 壹馬場 信意 同
川市
 ○正徳進善會我五 同
入給
 ○楠 一代 記 三 落月庵操 厄 同
 ○庭訓染匂車五 松代 柳枝 同
近所門左衛門作
 ○國姓爺御前軍談五 安齊 紫門 同
戯曲の國姓爺其まゝ草紙になほしたるもの
八文字
 ○傾城 野群談五 自 笑同 二年
 ○野傾咲分色仔五 同 作同
 ○野傾髮透油五 同 作同
國姓爺其初太平記六
 ○其 同 積同
 ○忠義太平記大全 吉川 盛信 同
 ○今和藤内唐土船三 閑 樂子 同
 ○怪醜夜光珠五 音 久 同
 ○女敵討高麗茶碗三 同 長 同 三年
 ○猿源氏色芝居六 鱗 同
 ○諸士興廢記八 同 作同

○玉椿輪廻薰物五 江八島文字自笑 享保三年
 ○亂 脛三本 鍵六 西澤 一風 同
八文字
 ○傾城 電昭君五 自 笑同
 ○後室色縮緬五 西澤 一風 同
一名 百人後家
 ○拾 録 倉比事五 月 尋 堂 同
入給
 ○近 代 怪 婦 傳五 斜橋 道人 同
 ○義經 倭軍談六 其 積同 四年
 ○艶 道 通 鑑五 増穂 殘口 同
殘口作七部書の内他の六部は戯作にあられば界す
 ○花 實 義 經 記六 其 積同 五年
其 自
 ○楠 三代 壯士五 其 積同
其 自
 ○風流 宇治頼政五 同 作同
 ○役者色仕組五 同 作同
 ○日本 契情始五 同 作同 六年
 ○通俗 兩國談六 同 作同

○繪入しぐれ物語五 享保六年
 ○俗 解 源 氏 物 語六 梅 翁 同
 ○紫 文 盃 の 囀五 翁 同
 ○雛 鶴 源 氏 六 梅 翁 同
以上三書は源氏物語を俗譯せしものなり
 ○商 人 家 職 訓五 其 積同 七年
 ○手 代 袖 算 盤五 自 笑同
 ○櫻 會 我 女 時 宗五 其 積同 八年
 ○風 流 七 小 町五 同 作同
 ○晴 明 白 狐 玉五 同 作同 十一年
 ○出 世 握 虎 昔 物 語五 同 作同
 ○名 古 屋 吾 妻 日 記五 舞 閑 同
 ○怪 談 諸 國 物 語五 同 同
關水作の一夜船を改題再刻せるもの
 ○女 將 門 七 人 化 粧五 其 積同 十二年
其 自
 ○大 内 裏 大 友 真 鳥五 同 作同
 ○竹 齋 行 脚 袋五 同 作同

○本朝會稽山五其自 破笑 享保三年
 ○北條 咲分二女櫻五同 破笑 同
 ○時頼 傾城盛衰記六松 風 堂 同
 ○曾我 傾城盛衰記六松 風 堂 同
 ○記録會我女黒船五其自 破笑 同
 ○背 紐二同 破笑 同
これは何曾遊といひ、なぞの本なり此種の始め歟
 ○熊坂今物語五西澤 一風 同十四年
 ○風流扇子軍同其自 破笑 同
 ○蛙の物真似四克齋 主人 同
 ○契情御國歌舞妓五其自 破笑 同十五年
 ○善惡身持扇三同 破笑 同
 ○世間手代氣質五其 破笑 同
 ○風流東大全五其自 破笑 同十六年
 ○奥州軍記五同 破笑 同
 ○武家功者物語五同 破笑 同
 ○續一休咄四也 來 同
 ○磯太平記五其自 破笑 同十七年

○傾城歌三味線五其自 破笑 享保七年
 ○楠軍法鎧櫻五同 破笑 同
 ○風流謎軍談五祐 佐 同
 ○太平百物語五同 破笑 同
 ○那智御山手管瀧五其自 破笑 同十八年
 ○高砂大島臺五自 笑 同
 ○鬼一法眼虎の巻七其 破笑 同
 ○商人軍配團五其 破笑 同
文化頃商人軍配と改題再摺せり
 ○傾城友三味線五其自 破笑 同
 ○大蛇解脫物語一同 破笑 同
 ○風俗遊仙窟四克齋 主人 同
 ○三浦大助節分壽五其自 破笑 同十九年
 ○野澤名物燒蛤五同 破笑 同
平かな
 ○給入御伽厚化粧五筆 天 齋 同
 ○都鳥妻戀笛五其自 破笑 同
 ○梅若九一代記五同 破笑 同

天明八年再摺

○略平家都遷六其 破笑 享保廿年
 ○咲分五人媳五同 破笑 同
 ○愛護初冠女筆始五其自 破笑 同
 ○風流西海祝五同 破笑 同
 ○風流連理戀五同 破笑 同
 ○英雄軍談五佚齋 榜山 同
 ○渡世身持談義五其 破笑 元文元年
 ○商人世帯形氣六同 破笑 同
 ○諸譯名女たば粉五華 亭 同
 ○武道近江八景五其 破笑 同
 ○浮世親仁氣質五其自 破笑 同
 ○兼好一代記五同 破笑 二年
 ○風流東海祝五其 破笑 同
 ○渡世傳授車五都 座 同
 ○其破置土産五其 跡 同三年
 ○寛濶大盡氣質五一 洞 同

○善惡両面常盤染五其自 破笑 元文三年
 ○御伽名代紙衣六其 破笑 同
 ○武遊双級巴五自 破笑 同四年
 ○花柳殿柳島五同 破笑 同
 ○丹波除作無間鐘五同 破笑 同
 ○忠盛祇園櫻五其自 破笑 同五年
 ○龍都俵系圖五同 破笑 同
 ○賭國御伽空穂猿五同 破笑 同
 ○逆澤瀉鎧鑑五其自 破笑 寛保元年
 ○善光倭丹前五同 破笑 同
宇治川
 ○藤戸海 魁對盃五同 破笑 同
大乞獅子
 ○刈萱二面鑑五同 破笑 二年
東なまり
 ○名玉女舞鶴五其自 破笑 同
 ○薄雪三日羽瀧五同 破笑 同三年
 ○敵討笈華蔓五偏齋 堂東虹 同
 ○鎌倉諸藝袖日記五其自 破笑 同

浮世草紙
 近世小説史
 享保五年

○女非人綴錦五其自

笑笑 寛保三年

右二書は多田南嶺の作なりといふ

○入雷神不動櫻五同

作同

○面影莊子四同

作同

○弓張月曙櫻五其自

笑笑 延享元年

○傾城太平記五同

作同

○傾城情の手枕五同

作同

野傾旅葛籠(其破作)を改題再刻せるもの

○大系圖蝦夷嘶五其自

笑笑 同

○其跡諸國物語五同

笑笑 同

○阿漕浦三巴五其自

笑笑 同二年

○賢女心化粧五同

笑笑 同

○今昔出世扇五其自

笑笑 同三年

○和國小性氣質六鱗

長同

元祿の男色子猫の改題再刻

○勸進能舞臺櫻五其自

笑笑 同

○御伽夜話四安勝

子同

一名蟲合戦物語

○會根崎情鶴五其自

笑笑 延享元年

○自笑樂日記五同

作同

○勞四狂一自墮落先生同

寓意的小話を集めたるもの滑稽本中寓意もの祖なり

○彩色哥相撲五其自

笑笑 同

○盛かへ側柏葉五同

作 寛延元年

○昔女化粧櫻五同

作同

○小野篁璣釣船五同

作同

○義貞艶軍記五同

作同

○花楓劍本地五同

作同

○頼信戀軍記五同

作同

○略後編優源平歌麩五同

作 寶曆元年

○道成寺岐柳五同

作同

○百合稚錦邊五同

作同

○夕霧有馬松五其自

笑笑 同二年

○世間母親容氣五南圭梅嶺

寶曆二年

○歲德五葉松五其自

笑笑 同三年

○壇浦女見臺五同

作同

○淨世親仁風流川中島五同

作同

○氣賀後編赤染衛門綾猿五一

瓢軒同

○世間旗本形氣五升

瓢軒同

○諸國珍談諺種初庚申五硯田舎記逸

同

○風流燦花形五同

同

○菜花金夢合五其自

笑笑 同五年

○御伽太平記五其自

笑笑 同六年

○地獄樂日記五其自

笑笑 同

○中將姫誓糸遊五其自

笑笑 同

○花色紙製詞五同

作同

○謠曲百萬車五十歩齋一口

同

○八棟大島臺六三先道春

同

○契情蓬萊山五自季

笑秀 同八年

○陽炎日高川五素季玉改自

笑秀 寶曆八年

○今昔九重櫻五自季

笑秀 同十年

○當世行次第五自凌雲

笑堂 同

此年八文字屋斷絶せしが、三升屋彦太郎八文字屋の蔵版一切を
買受しといふ

○珍説花の名殘五玉江山人

同

○哥行脚懷硯四自白

笑露 同十一年

○柿本人麿誕生記五自

笑 同十二年

○叫千里新話五同

同

○風流菊水卷五其樂齋

同十三年

○風流庭訓往來五自

笑 同

○今昔諸國はなし五同

明和元年

○禁短氣二編五同

同二年

○諸世間聞耳猿五和譯太郎

同三年

○世間妾形氣四同

作同

○契情文反古四同

同

○世間學者氣質五無跡散人

同五年

○當世法談出家氣質五 自 笑 明和六年
一名 界縁起出家氣質
○世間化物氣質五 増谷大梁 同 七年
○新近代百物語五 永井堂飛友 同
○風流茶人氣質五 永井堂飛友 同
○孝行娘袖日記五 同 作 同
○倭織錦船幕五 蛙文 同 八年
○世間侍婢氣質五 増谷大梁 同
○當世傾城氣質五 太樂子 同
○傾城戰國策五 永井堂龜友 同
○風流酒吹籬五 同 作 安永元年
○赤烏朝子都氣質五 同 作 同
○福德過報嘶九 同 作 同
○媚魔大王日記蝶五 其 同 同
○敵討會稽錦五 同 作 同
○女武者修行五 萩坊奥路 同
○遣放三番續五 自 笑 同

○武道真砂記五 文會堂 安永元年
○世間用心記五 同 作 同 二年
右二書再版本なり、原書の年號詳ならざるが故にここに載す
○世間姑氣質五 永井堂龜友 同
○三千世界色修行五 同
○榮花世繼男五 同
○小兒養育氣質四 永井堂龜友 同
○小兒養翫氣質五 同 作 同
○本朝墓物語五 黒鶴散人 同 三年
町家 ○繁昌世間旦那氣質五 永井堂龜友 同
○笑談醫者氣質五 同 作 同
○當世銀持氣質五 同 作 同
○珍術器粟散園五 其 同 同 四年
○世間仲人氣質五 永井堂龜友 同 五年
○浮世一分五厘五 自 笑 同
○當世芝居氣質四 金井半陵 同 六年
○立身銀野莖卷五 永井堂龜友 同

○月華通鑑五 其 風 安永七年
○實話東雲鳥五 同 八年
○當世宗匠氣質五 其 風 天明元年
○太平記秘説五 同 作 同 二年
當世 ○諸藝獨自慢五 福 隅 軒 同 三年
風俗 ○諸國武道容氣四 寛政八年

版行年代不詳部

○戀の中宿四 一 慰 軒
一名身細の人和氣
○諸國色里案内三 一 夢 序
○好色伊勢物語四
改題いくさのさうし
○好色年男四
○好色後家話五
○好色産毛五 雲 風 子
○好色夢之助二

○好色仕合揃五
○姥 揃五
○八助飛鳥川二
○好色扶桑鹿子五
○好色十二人男六
○好色今美人五
新 ○伊勢物語ひら百葉二 紀 暫 什
○好色連理松五 俳 隣 堂
○機嫌なをし一
○ひとり笑一
○好色ます鑑五
○好色大鑑
○色道大つゝみ五
○好色日本名所鑑五
○好色覺帳六
○好色重寶記五
○好色京紅四

○住吉高砂對の盃 自 笑

以上八部は自笑樂日記の序に自作として記せし六十部の内年
月、冊數の判明せざるものなり

○互先碁盤忠信五 其 自 碁笑

○傾白ぬり團三 其 碁

○諸分床軍談五 同 作

○忠義太平記六 同 作

一名 武道播磨石

○當世貞女容氣七

○世之助歸朝物語

○傾城風流杉盃五

○廻國一夜宿六

○夫婦氣質五

○世間義理櫻五

○本朝藤陰比事七

○一休諸國物語五

○金玉ねぢふくさ八

○潤色榮花娘五

○怪談御伽櫻五 雲 峰

○觀樂一時勝負三 貫 玉

○傾城手管三味線五

○風流友三味線五

○傾城二挺三味線

○傾城繼三味線

○傾城歌三味線

○色 競 馬

○好色一代會我

○雲州松江の鱧三

○諸國女時色道胸の要六

○世の色道胸算盤五

○西 海 奇 談 五

○最明寺諸國物語五

○天神利生記五

○歎討浮田物語五

○讀 本 附實錄

○寛延年間

○古今英 草 紙五 近路行者 寛延二年

近世讀本の祖と稱せらるゝものなり

○虛實雜談集五 怨 翁 同

○怪談登志男五 靜 觀 坊 同 三年

○寶曆年間

○萬世百物語五 烏 有 庵 寶曆元年

○故 實 世 語五 同 二年

○著聞雜々集五 醉 雅 子 同

○新板桃太郎物語五 布袋室主人 同 三年

○和非人敵討實錄五 多田一芳 同 四年

○西播怪談實記五 岡 靖 軒 同

○古今奇談茅屋夜話五 隱 几 子 同 五年

○化物判取帳五 敬 阿 同

○榮下雜談五 陳 珍 齋 同

○新撰百物語五

○眞實偽虛實五

○此而話別世界五

○名槌古今說五

○名玉天地說五

○俊德丸一代記五

○愛護若一代記五

○繪楠軍物語十

○鐘由來夜啼石 狹夜中山敵討 五

○通俗唐太宗軍談

○俄仙人戲言日記五 秀 信書

○大和風流俳人氣質五 永井堂龜友

○四人比丘尼

一名 花の情

- 諸國怪談帳五 寶曆七年
- 齋諧俗談五大朋東華同八年
- 豐年珍話談五靜觀坊同十年
- 通隋煬帝外史十同
- 俗感實物語四北尾雪坑齋同十二年
- 辨惑
- 明和年間
- 懽戀話錄三麟戲屈主人明和元年
- 怪談實錄五紀常因同二年
- 文政七月再摺
- 古實今物語五清涼井同
- 後英草紙編纂々夜話五近路行者同三年
- 當世操車五蘇來同
- 新說百物語五高古堂主人同四年
- 西山物語三建部綾足同五年
- 中古文體を以て綴りしものにして此種のもの、濫觴なり
- 湘中八雄傳五北富川 益房 遊同
- 兩空譚五雷梭同六年

- 新編近代百物語五鳥飼醉雅明和七年
- 操草紙五淡海子同八年
- 一名 嫩草紙といふ岷江註
- 安永年間
- 怪談記野狐五谷川琴生系安永元年
- 古今實談怪談御伽童五同
- 本朝水滸傳十建部綾足同二年
- 一名 勞野物語といひ、江戸に於いてたる讀本の濫觴といはる、後に流行せし水滸傳もの、始めなり
- 怪談名香富貴玉五琴紫同
- 中世二奇傳二同
- 太平國恩俚譚五加藤在止同三年
- 古今怪談雨月物語五上田秋成同五年
- 奇事煙花清談五葦原守中安永五年
- 日本水滸傳十仇鼎散人同六年
- 享和元年再摺
- 狩野友正繪合六不杉五青江友耕同七年
- 川留魚成

- 坂東忠義傳十三木成久安永七年
- 奇談翁草五椿園主人同
- 古今奇談清誠談四大江文坡同
- 雪窓夜話四金蛇觀主人同八年
- 實話東雲鳥五麗白主人同
- 女教不取敢夫人話四不醉同
- 怪談見聞實記五如環子同九年
- 古朽木五春三 町二同
- 天明年間
- 敵討連理橘一容楊黛天明元年
- 勳化資補隅田川鏡池傳五西白庵春張同
- 古今小説唐錦四伊丹椿園同
- 怪異談叢五同作同
- 臥遊奇談五一夕散人同二年
- 奇傳新話六蟬蟬子同
- 忠孝人龍傳五秋里湘夕同
- 奇談深山草五椿園主人同

- 孝子善之丞感得錄二天明二年
- 女水滸傳四伊丹椿園同三年
- 近古奇談唐土の吉野五同
- 奇談閑栢劇話五東隨舍同
- 近代見聞善惡業報因緣集五一叢軒露宿同六年
- 昭代著聞集四寧儉堂主人同七年
- 鬼面靈驗壬生謝天傳五江文坡同八年
- 諸國怪談實記五同
- 英草紙秀句三冊五同年代未詳
- 寛政年間
- 通俗大聖傳五北山 東京 尾重 政盛寛政元年
- 再版の時孔子一代記と改題す、京傳讀本の初作なり、この書讀本とはいへど外形のみにして内容は孔子の一代記を堅くろしく譯せしなれば小説とはいひ難きものなり
- 泉信田白狐傳五釋誓譽同二年
- 怪前席夜話五文榮堂同
- 通俗醒世恒言五宿屋主人譯同
- 坂田金平太平記八同三年

○怪談 旅 硯五 紅葉園主人 寛政三年
 ○通俗 白狐通四 同
 ○考 菟道園五 桑楊庵光 同 四年
 ○風俗 遊仙窟四 淺井由易 同
 ○抄 草がらし双紙五 阿 同
 ○見聞 靈魂得脱物語二 傳 同
 ○新編 星兜鎌倉山六 同
 ○古今 紫草紙五 白座洞主人 同 五年
 ○古今 垣根草五 草官散人 同
 ○四方 義草五 其窓子 同 五年
 ○いろは 水滸傳一 振 鷲亭 同
 ○蝨 董五 源 温故 同 七年
 ○覺世 洛の藻屑四 一彫道人 同
 ○高尾 千字文五 曲亭馬琴 同
 ○寒温 一 二草五 振 鷲亭 同
 ○通者 茶話太郎五 鐵 格子 同 八年

○怪談 旅の曙四 波天奈志小浮扇 寛政八年
 ○袈裟 物語五 同 九年
 ○近遊 物語五 天步子 同
 ○繪本 太閤記全四 石田尙友 同
 ○諸國 北遊記四 勢州山人 同
 ○怪夜 半鐘四 耳學齋 同
 ○怪談 傾草紙五 源 温故 同
 ○怪談 東雲草紙五 東山仙人 同
 ○忠臣 水滸傳十 山東京傳 同 十年
 ○夜話 淺茅草三 安勝子 同
 ○棧橋 物語五 雲府館天步 同
 ○月下 清讀五 森羅子 同
 ○奇越 路の雪五 魚麻呂 同
 ○漫遊 記五 建部綾足 同
 ○繪本 大江山物語五 山田得翁 同 十一年

長安書にて馬琴讀本の初作なれども中形本なり

○古今 警世通語五 鈴木敬道 寛政十一年
 ○繪本 宇多源氏三 竹馬比頼 同
 ○確波 樹々の美登利五 流霞窓主人 同
 ○新編 秋雨物語四 北尾重政 同 十二年
 ○繪本 武王軍談五 楠齋主人 同
 ○繪本 膽太郎夢物語五 羅子 同
 ○艶廓 通覽五 挑溪山人 同
 ○怪談 辨妄錄五 流霞窓主人 同
 ○百草 破几帳五 同
 ○繪本 忠臣藏三 同
 ○古今 旅行集話五 享和元年
 ○怪談 藻鹽草五 速水春曉齋 同
 ○諸國 東遊奇談五 同
 ○繪本 漢楚軍談十 曲亭馬琴 同
 ○保元平治開會十 秋里舜福 同
 ○遠山 奇談四 花誘散人 同

○繪本 楠公記三 山田得翁 享和元年
 ○燈下 玉の枝五 森羅子 同 二年
 ○奇談 小野小町一代記六 堀田里席 同
 ○中古 双葉草五 東一 同
 ○繪本 伊賀越孝勇傳七 同
 ○通俗 平妖傳三 本維 芳譯 同
 ○深窓 奇談五 十返舎一九 同
 ○繪本 龜山譚十 同
 ○小説 比翼文二 北齊馬琴 同 三年
 ○曲亭 傳奇花鏡兒二 同
 ○後野 月水奇縁五 同
 ○奇環 雙紙五 成三樓主人 同
 ○怪物 輿論五 自返舎一九 同
 ○復野 安積沼五 山東京傳 同
 ○奇談 安積沼五 北尾重政 同

一名 小幡小平次死靈物語	○古今 蛭 捨草六	山人廣住	享和三年
○怪談 雨夜鐘六十返舎一九	○繪本 信長記三	同	同
○繪本 山烈女傳五	川關樓惟光	同	同
○繪本 箱根山靈應傳六	同	同	同
○繪本 彦山靈驗記十	同	同	同
○繪本 宮本武勇傳十	一名 二島英雄記	同	同
○繪本 曾我物語十	同	同	同
○文化年間			
○繪本 三國妖婦傳五	高井蘭山	文化元年	
○繪本 敵討待山話六	談州樓馬馬	同	
○優曇華物語七	山東京傳	同	
○奇實今物語五	喜多武清	同	
○國姓爺忠義傳三	石田玉山	同	
○復讐 一閑人四生々瑞馬	文化元年		
○東海道松の白浪十	春水亭元	同	
○繪本 合邦辻十	同	同	
○櫻姫全傳曙草紙五	山東京傳	同	二年
○復讐 稚枝鳩五	曲馬學	同	
○四天王刺盜異録十	同	同	
○小夜中山石言遣書	葛飾北齋	同	
○後學 繪本東嶽錦五	小枝繁	同	
○古今 繪本東嶽錦五	同	同	
○古今 聞書雨夜友五	東隨舎	同	
○今古 奇談五	煙波山人	同	
○競 奇遣聞五	梅翁	同	
○繪本 義勇傳十	速水春曉齋	同	
○繪本 雪鏡談三	同	同	
○梅花 氷裂三	山東京傳	同	三年
○復讐 天橋立五	十返舎一	同	
○奇談 天橋立五	歌川豊國	同	

前編二册、後編二册、續編一册、文化五年完結す	○昔語 稻妻表紙六	山東京傳	文化三年
○椿説弓張月前編六	葛飾北齋	同	
○富士 三國一夜物語六	歌川豊國	同	
○新編 水滸書傳六	葛飾北齋	同	
○盆石皿山の記四	歌川豊國	同	
○敵討 誰也行燈二	歌川豊國	同	
○勸善 常世物語五	同	同	
○墨田川梅柳新書六	同	同	
○敵討 枕石夜話三	同	同	
○敵討 裏見葛葉五	同	同	
○泉親 衝物語五	福内鬼外	同	
○繪本 孝婦傳五	合川珉和	同	
○復讐 小説月華惟孝六	烟水散人	文化三年	
○奇談 古志路の章三	谷本丸	同	
○春夏秋冬 四季物語卷の巻四	歌川豊國	同	
○繪本 沈香亭十	三宅國	同	
○坂東 濡衣草紙五	葛飾北齋	同	
○繪本 放家僧談四	葛飾北齋	同	
○細義 經磐石傳六	葛飾北齋	同	
○周遊 奇談五	昌東舎東風	同	
○西遊 全記四	口木山人	同	
○石堂 九刈萱物語五	曲馬學	同	
○報仇 自來也説話三	葛飾北齋	同	
○國字 鶴物語五	葛飾北齋	同	四年
○繪本 誠忠傳十	同	同	
○繪本 金花談五	速水春曉齋	同	

○擊冠 勿來關五	長和亭 鬼武	文化四年
○善知鳥安方忠義傳六	山東京 國傳	同
○椿説弓張月後編六	葛曲 北馬 齋	同
○雲妙間雨夜月五	歌同 川 豐 齋	同
○頼家阿闍梨鼠傳十	葛同 飾 北 齋	同
○括頭巾縮緬紙衣三	歌同 川 豐 齋	同
○三七金傳南柯夢六	葛同 飾 北 齋	同
○新累解脫物語五	同	同
○標註園の雪五	同	同
○松浦佐川媛石魂錄十	作同	同

初名唐蓮大和言葉といひしを出版の際改めしなり後編七巻は文化十一年梓行す

○敵討紀念長船二	曲亭 馬琴	同
○遊君操連理餅花	同	同
○松山柳巷話説五	葛柳 飾 北 齋	同
○阿波の鳴門五	葛柳 飾 北 齋	同
○奴の小萬物語四	桃同 川 齋	同

○江戸紫三人兄弟八	桃柳 亭 種 川 齋	文化四年
○怪談霜夜星五	葛同 飾 北 齋	同
○倭遊 繪本浪花男五	竹原 春泉 齋	同
○風聲 翁丸物語二	葛同 飾 北 齋	同
○咄蟹 猿奇談五	葛同 飾 北 齋	同
○給敵討孝列傳三	手塚 兎月	同
○復怪 完義武逸談三	盛田 小鹽	同
○小説 東都紫六	中川 昌房	同
○八百屋 繪本胡蝶夢五	手塚 兎月	同
○因縁 柳かみ三	千 世 蔭	同
○倭琴 高誌五	盛田 小鹽	同
○新編 陽炎巻五	栗林 亭 陶	同
○千代 義姫七變化物語五	北 齋	同
○崇禎寺 繪本會稽松露七	洋小 齋	同
○復久智野石文五	雪千 齋	同

初編より四編に至る文化八年完結す天保十四年再版原本は中形本再版は半紙形本なり

○淺草靈驗記六	手塚 兎月	文化四年
○敵討朝妻舟三	文 亭 齋	同
○繪本 安達原六	葛同 飾 北 齋	同
○驛路春鈴菜物語二	宗 亭 齋	同
○高水 龍孫憂玉二	自 屈 齋	同
○小栗判官 熊野利生龍五	柳陽 舍 齋	同
○照天 姫野利生龍五	同	同
○伯父高田 雙仇討五	同	同
○稻妻表紙 三編本朝醉菩提十	山 東 齋	五年
○椿説弓張月續編六	葛同 飾 北 齋	同
○俊寛鳥物語十	歌同 川 豐 齋	同
○句殿實々紀六	同	同
○情史 秋の七草六	同	同
○悲談 坡隄庵三	同	同
○淺間嶽面影草紙三	葛柳 飾 北 齋	同
○紙治 異本楮生譚五	春月 花 齋	同
○復怪 信夫摺在原草紙五	中川 昌房	同
○近江縣物語五	北尾 重 齋	同

○天 羽衣二	六樹 間 齋	文化五年
○石井 物語五	合 齋	同
○繪本 孝感傳十	速水 春曉 齋	同
○春寄 繪本壁落穂十	小 枝 齋	同
○新編 蜻蛉巻五	栗林 亭 齋	同
○繪本 甲賀三郎喉嚨話五	歌同 川 豐 齋	同
○孝子 嫩物語五	葛同 飾 北 齋	同
○假名 後日の文章五	立 齋	同
○巨勢 名枝傳六	合 齋	同
○入 雙名傳五	小 齋	同
○赤穂 佐野の雪五	源 齋	同
○小説 聚義雜法談六	歌同 川 豐 齋	同
○山縣 獨搖新話五	長 齋	同
○古賀 後若菜榮と改題	同	同
○復車 僧轍物語五	葛柳 飾 北 齋	同
○楠物 語仙家花二	歌同 川 豐 齋	同
○百合 若野居鷹五	葛同 飾 北 齋	同

○敵同志石與木枕二 曲亭馬琴 文化七年

○阿古義物語三 式亭三馬 同

○繪本夜船譚五 速水春曉齋 同

○歌賦妹背山六 葛飾北齋 同

○歌賦白絲冊子五 葛飾北齋 同

○繪本長會我部物語六 玉塚 同

○歌賦農吹雪五 三熊野文丸 同

○赤ほし草紙三 秋里湘夕 同

○繪本顯勇錄十 速水春曉齋 同

○繪本催馬樂奇談六 歌麿陳人 同

○復忠孝二見浦六 楠里亨其樂 同

○占夢南柯後記八 葛飾北齋 同

○青砥藤綱摸稜案五 曲亭馬琴 同

○加之久 香籠草六 梅里谷 同

○繪本松蟲墳六 桂雨 文化八年

○繪本夕霧傳記五 歌川豊秀齋 同

○繪本甲越軍記五 狂 同

○朝顔日記十 柳浪 同

○初夢富士見會我三 春州樓馬 同

○青砥藤綱摸稜案後編五 曲亭馬琴 同

○絲櫻春蝶奇縁十 同 同

○草紙後編影執着譚三 柳川重信齋 同

○緞手摺昔木偶五 同 同

○阿也可之譚十 石田玉 同

○報應在原草紙六 感和亭鬼武 同

○金屋金五郎全傳五 玉太樓主 同

○櫻木物語五 玉東 同

○螢狩宇治奇聞六 五島清通 文化十年

○通俗巫山夢五 十返舎一九 同

○復讐初瀬物語六 北條亨鬼 同

○伊達和漢の染分五 五島清通 同

○南總里見八犬傳初輯五 柳川重信齋 同

○朝夷巡島記初輯五 山亨馬琴 同

○繪本草紙六 玉泉堂 同

○力大後日文章五 狂蝶亭文 同

○奇談復讐手引糸七 高井關山 同

○全談駿河舞六 濱松 同

○北野二葉の梅六 馬林亭鬼 同

○新話花標因縁車五 萬壽亭正 同

○身延山利生記五 十返舎一九 同

○河内木綿團七島五 栗杖亭鬼卯 同

○假粧水中貫槽寛六 芦松 同

十二冊の中後編拾遺五冊は文政中爲永春水の補作なり

○矢口權話 忠孝貞婦傳六 濱松 同

○新田神靈 同 同

- 日本廻國勸懲記五 濱松歌國 文化三年
- 菅浦 摺五月雨三 昇亭岐山 同
- 風月松風村雨物語十 文東陳直 同
- 奇談上人 橋供養五 小枝峰山 同
- 發心記 清外傳壹 同
- 南總里見八犬傳三輯五 柳川重信 同十三年
- 朝夷巡島記二輯五 同
- 再榮花川譚三 同
- 賣油郎五 芝屋芝史 同
- 天津羽衣譚六 谷川源一 同
- 一休譚 紫五 谷川源一 同
- 後編薄 紫五 谷川源一 同
- 鎗權三累 紫六 谷川源一 同
- 夕霧書替文章五 東林亭 同
- 報竹の伏見六 佐藤長秀丸 同十四年
- 丹州鬼娘傳五 北堂屋山 同
- 無雙相鬘語五 淺山青國畫 同
- 徳兵衛初窓螢餘談六 和畫人 同

- 小野篁八十鳥かけ十 富士谷御杖序 文化十四年
- おはらん染掛桂川水五 栗林亭 同
- 繪入玉藻譚五 白石田玉 同
- 文政年間
- 南總里見八犬傳三輯五 柳川重信 文政元年
- 朝夷巡島記三輯五 同
- 復讐 幸物語六 北林亭 同
- 奇談 四季物語夏の巻五 同
- 昔打出の濱五 南里亭 同
- 謠曲春榮物語五 栗杖亭 同
- 新編女水滸傳六 好花堂野亭 同
- 今昔二枝繪草紙六 濱松 同二年
- 薄雪傳奇廓物語五 狐廓亭主人 同
- 高麗若 逆橋松六 南里亭 同
- 繪本輪廻物語五 島山保躬 同
- 繪本泉實記三 同
- 福聚 玉照物語五 醒々堂鳥有 同

- 斯波遠説七長臣六 梅暮里谷峨 文政三年
- 南總里見八犬傳四輯五 柳川重信 同
- 朝夷巡島記四輯五 同
- 小櫻姫風月後記六 眠和 同
- 復美 鳥林六 南里亭 同
- 昔語 茨の露六 好花堂野亭 同
- 太田道灌雄飛録六 木村忠貞 同
- 朝夷巡島記五輯五 同
- 奇談 園の梅五 梅園主人 同
- 刀筆青砥石文六 歌川直 同
- 繪本道成寺鐘覽記六 小枝峰山 同
- 南總里見八犬傳五輯五 同
- 頓々表紙三 曉鐘成畫作 同
- 木曾 鼎臣録三 同
- 源平外記染分草五 同

- 復風山故郷錦五 春山 文政五年
- 以呂波草紙五 曉鐘成畫作 同六年
- 書本室の八鳥六 玉里亭 同
- 夢の白壁草紙六 春里亭 同
- 奇情の二筋道四 英古堂主人 同
- 日向 寄生本草紙十 曉鐘成 同
- 梅精 繪本魁草紙六 式亭三馬 同七年
- 不動 現過思廻欄五 柳園種春 同
- 繪像名月夜話五 山保躬 同
- 砂宛 根篠雪六 文亭箕山 同
- 梅園 雜話五 梅臈館主人 同
- 梅家 彌生櫻六 一溪翁野人 同
- 繪本重編應仁記壹 高井關山 同
- 殺生石後日怪談十 豊國安等 同

初編豊國、國貞畫、二編英泉畫、三、四編英泉畫、五編國安畫にて天保四年完結す、こは三馬の大靈舞席始と同じく讀本と合巻とを折衷したる新形讀本なり

二編は安政四年出版完結

- 柳家 木石餘譚六 齋藤湖南 嘉永六年
- 勸善夜話二 大藏龜嶽 同
- 繪本吳越軍談三 東離亭主人 同
- 白井權八一代業那志五 杉亭金升 同
- 義經蝦夷勳功記三 永樂舎一水 同
- 安政年間
- 英智計雜談三 笠亭仙果 安政元年
- 朝鮮征伐記四 同
- 入宗 釋迦實錄五 鈴亭谷峨譯 同
- 起原 仙蛙奇錄壹 重為永春信水 同
- 天竺 大川仁政錄三 松川芳梅 同
- 近世 武勇傳壹 貞棟亭主秀齋 同
- 南朝 松見神傳十 松風亭琴調 同
- 新篁 千葉軍記五 國為永春安齋 同
- 星月 千葉軍記五 國為永春安齋 同
- 光輝 本朝錦繪圖會五 東離亭 同
- 一代記 萬延年間

七十

- 觀音守護實錄五 柳亭種彦 萬延年
- 文久年間
- 新野 鹿傳五 松岡主貞齋 文久元年
- 佐野報義錄共 知足館松旭 同
- 新説二熊傳九 松岡主貞齋 同
- 元治年間
- 清正一代記三 芳為永春水 元治元年
- 年代不明の部
- 全交通鑑五芝全交
- 春雨物語十 同上田秋成
- おらく物語一 明誠堂喜三
- 漱討女夫似我蜂三 山東京山
- 身延 甲州妖澤報難五 十返舎一九
- 近世説大川美談五 山東貞齋

- 再咲高臺梅六 栗杖亭鬼卯
- 小栗外傳六 北小秋齋
- 繪本報仇安達原六 文亭主華齋
- おさん 大經師宗像傳六 馬芽亭平魚
- 給玉すだれ七 同
- 復仇武藏鏡五 浦石川一船齋
- 宮城野敵討白石話六 同
- 百二十石四山岡恭安
- 古今 深雪草四壺董子
- 繪本日吉九十貞 秀齋作
- 貧福奇妙譚五 同
- 見聞西遊雜記五 同
- 川童一代斬五後穿窟序
- 夕霧一代記三振驚亭
- 山樹太 今調錄六 梅暮里谷峨
- 夫後編 繪本荒川仁勇傳十 二世楚滿人序
- 和漢 宿直譚四 三宅嘯山

- 百福奇談五
- 中山夢物語五
- 繪本松井實記五
- 繪本堀川請談十
- 譽通筋七
- 蝶の夢花の曙六
- 三山草紙五
- 女熊坂朧夜草紙五
- 二個 源内誓筋摺五
- 繪本奇縁傳十
- 平井 權八妹背語五
- 旭立帶五
- 繪本賢女鑑五
- しかまのから染五
- 繪本菅原實記十
- 本朝 錦傳五
- 小夜あらし五

- 北越奇談六
- 繪本平八一代記五
- 繪本金刀仇討十
- 東雄操物語五
- 三島女那飛麓の花五
- 新編熊坂物語五
- 自鳥奇縁六
- 筒井清水六
- 金鱗化粧櫻六
- 會稽三浦譽六
- 梅の山兵衛一代記六
- 秋津島十
- 薄衣草紙五
- 繪本萬力奇談五
- 繪本祐天記五
- 和歌葉の跡五
- 繪本霜の花五

- 蛭少女玉取草紙七
- 浦島一代記五
- 日本廿四孝子傳五
- 繪本俊徳丸五
- 伊勢新九郎大志傳壹 爲永春水
- 繪本伊賀越七
- 花若丸一代記四
- 繪本月景物語十
- 繪本芳野の雪六
- 教訓御伽草紙一 松亭金水
- 大伴金道十
- 世繼會我十
- 世話麒麟談四 鳥 醉
- 仙家明月清譚五 東離亭菊人
- 奇縁復讐北條美談八 並木五 秀瓶
- 中古雜話雉鼎會談五
- 繪本漢楚軍談十 北鶴 貞 齋高

- 豪傑勳功錄十
- 前太平記圖會六
- 保元平治圖會十
- 源平盛衰記圖會六
- 義經勳功圖會十
- 義仲勳功圖會十
- 楠正行戰功圖會十
- 太平記圖會八
- 扶桑皇統記圖會十 好華堂野亭
- 北條時頼記圖會十 池田東離亭 石川半山齋
- 繪本豊臣勳功記十 八功舎徳水
- 源頼光勳功記六 養拙散人
- 時頼勳功記十
- 鎌倉太平記十
- 陰徳太平記十
- 北國太平記十
- 北條九代記十

- 南北太平記六
- 東國太平記五
- 武田三代記三
- 頼朝三代軍記四
- 繪本和田軍記三
- 繪本甲越軍記共
- 繪本菊池軍記十
- 南總里見軍記十
- 朝鮮軍記三
- 三韓退治五
- 楠三代實録三
- 本朝武家評林五
- 武將威狀記三
- 甲陽軍鑑十
- 楠二代軍物語五
- 周武王軍談五
- 十二朝軍談十

- 吳越軍談大
- 東西漢記事廿
- 續三國史廿
- 續後三國史廿
- 續後々三國史廿
- 南北朝軍記五
- 北魏南梁軍談五
- 唐太宗軍談五
- 玄宗軍談五
- 宗史軍談廿
- 兩國志五
- 元明軍談廿
- 臺灣軍談五
- 五代史軍談五
- 通俗明皇後宮傳五
- 聖德太子傳圖會六
- 圓光大師御傳記六

- 弘法大師御傳記五
 - 親鸞上人繪詞傳三
 - ^{日蓮上人}御一代記圖會五
 - 釋迦八相記五
 - 釋尊御一代圖會六
 - 西行法師一代記六
 - 日蓮上人御傳記五
 - 廿四輩順圖會十五
- 雪書
齋書
山書

附錄

○寫本軍記實錄類目錄

これ等の軍記、實錄類は徳川時代の末葉、所謂貸本屋物として、我等の祖先に愛讀せられしものにして、悉く寫本なり、維新以來活版本出てより、これ等の寫本は世に顧みられず、現今これを有する貸本屋は東京市中僅に二軒をとむるのみ、しかも日々紙魚をこやし漸次湮滅に歸しつつあり、この目錄は右二店の維新の際調査せし貸本目錄により後日の參考にもとて寫し置けるを、こゝに附録とせらるなり、

- 眞書太閤記三〇
- 源平盛衰記一〇
- 鎌倉見聞誌二〇
- 箕笠解義傳一〇
- 本邦統々史記五
- 天明水滸傳五
- 慶元難城變五
- 義士銘々傳五
- 石山軍記五
- 校合雜記一〇
- 伊達大政錄五
- 眞田三代實錄五
- 番訓清正實記五
- 朝鮮征伐記五
- 勢力強膽傳一〇
- 慶長中外傳一〇
- 佐賀の夜櫻五
- 奥州征伐記五

- 黒田大雄志五
- 寛永南島變五
- 後藤強勇傳五
- 英雄美談五
- 川中島軍記五
- 國定忠次傳五
- 元正聞記五
- 敵討雲水錄五
- 月龜夜話五
- 若松敵討五
- 怪談大和話五
- 早川武勇傳五
- 福井敵討五
- 貞女敵討五
- 宇津谷雜談五
- 貞烈女敵討五
- 松山實記五
- 大岡昇進錄五
- 佐倉義勇傳五
- 太平樂記五
- 岩見武勇傳五
- 鈴木榮枯錄五
- 武道白石英五
- 朝貌奇談五
- 鷲宮利生記五
- 宇都宮公綱傳五
- 氷雪澤志錄五
- 佐人間孝子傳五
- 浪花美談五
- 信陽白浪談五
- 近代化明談五
- 谷室延名錄五
- 桃園實錄五
- 秋田杉森記五

- 綱富美明談言
- 佐州太平記言
- 良繁興運記言
- 備前久良毛言
- 大和新錄言
- 三都勇劍記言
- 四海太平記言
- 鷹操異本言
- 關ヶ原軍記言
- 赤穂内侍所言
- 大久保武藏鑑言
- 柳巷美談言
- 西國太平記言
- 武德武篇談言
- 天滿水滸傳言
- 豐臣鎮西軍記言
- 但馬細見錄言
- 都流の毛衣言
- 小栗一代記言
- 一刀又六傳言
- 河淡明安錄言
- 東國太平記言
- 高橋義勇傳言
- 鷹操諺記言
- 聚樂眞字白浪言
- 大岡美談言
- 難波戰記言
- 關東府幕全書言
- 菊池忠勇傳言
- 大河内英雄全書言
- 小野小町一代記言
- 石井明道士言
- 明石剛勇記言
- 義經蝦夷軍記言
- 敵討慶披錄言
- 思出艸紙言
- 越後新潟敵討言
- 小倉色紙言
- 曾我物語言
- 中興奇賤選言
- 神保女敵討言
- 女太平記言
- 北野實記言
- 箕輪宿六物語言
- 重櫛名士傳言
- 天下茶屋敵討言
- 西豐孝子傳言
- 坂東忠義傳言
- 慶安太平記言
- 齋藤盛行傳言
- 信州仙人床言
- 祐天上人一代記言
- 北長家亂騷記言
- 越後記大全言
- 三國太平記言
- 敵討烈孝傳言
- 敵討武幸實錄言
- 明智軍記言
- 義公仁德錄言
- 敵討東錦繪言
- 長兵衛一代記言
- 武陽田條志言
- 安明夢物語言
- 松井兄弟敵討言
- 近代見聞錄言
- 天竺德兵衛言
- 耳
- 三都統記事言

- 怪談扶桑記言
- 怪談百物語言
- 本郷怪談實錄言
- 神武權衡錄言
- 小堀名家撰言
- 名殘廣記言
- 金龍小柄智袋言
- 敵討貞鏡錄言
- 三道論言
- 繼橋孝悌傳言
- 麻野實記言
- 青海浪言
- 刈萱道心行狀記言
- 唐崎傳記言
- 爲朝一代記言
- 前原實記言
- 本朝三國誌言
- 慶天開記言
- 女盜賊雷勇記言
- 文覺上人一代記言
- 自來也物語言
- 敵討孝女傳言
- 小夜中山敵討言
- 頼光一代記言
- 岩城實錄言
- 明君德光錄言
- 陸奥太郎言
- 鴻巢生肝言
- 妙術ふん言
- 文政秘鑑言
- 金勢靈夢傳言
- 皿屋舖言
- 敵討釜川錄言
- 太平記秘鑿言
- 珍說太閤記言
- 慶元圖戰記言
- 薩球軍精記言
- 東國戰記言
- 豪傑功名記言
- 川中島五戰記言
- 濃關雄雄言
- 關八州古戰錄言
- 續々史記言
- 異本朝鮮征伐言
- 楠廷尉秘鑿言
- 三河文庫言
- 前九年記言
- 織出蝦夷錦言
- 板倉政談言
- 武藏夜話言
- 河田傳記言
- 重修太閤記
- 石田軍記言
- 南島變記言
- 清正實記言
- 和田軍記言
- 厭蝕太平樂記言
- 御先祖記言
- 武家盛衰記言
- 本多忠勝勇猛傳言
- 諸家上書言
- 武者物語言
- 武家閑談言
- 後三年記言
- 小堀政談言
- 金花天草言
- 岩井實記言
- 千代田問答記言

- 武林隱見錄二
- 德本勝佛行狀記一
- 義士傳五
- 宮本佐々木英雄配六
- 敵討實花日記五
- 松井兄弟報警記五
- 義士無双記六
- 浮世事實記五
- 四谷雜談實錄三
- 敵討伊佐實記二
- 明君享保錄二
- 寬永太平記五
- 護國女太平記三
- 敵討小女怪力五
- 佐倉義民傳三
- 妖魔犬勇錄二
- 明和風土記二
- 德本御說法記一
- 袖錦岸柳島二
- 柳荒美談吾
- 勇婦兩國仇討三
- 天保水滸傳三
- 四家忠臣鑿三
- 三都勇健傳三
- 空政談六
- 女勇傳五
- 芭蕉脚袋五
- 寬永箱崎文庫吾
- 崇禎寺敵討二
- 護國女太平記異本五
- 伊達騷動記三
- 佐倉義民傳異本二
- 名木不朽傳五
- 盤船仇討二
- 上州沼田仇討二
- 肥後地倉記二
- 臨時客應接三
- 祐天記六
- 東西太平論三
- 小夜中山雪鏡五
- 攝津茨木仇討二
- 荒川武勇傳三
- 信州更科日記三
- 賊禁秘談異本二
- 皿屋舖嚴秘錄五
- 敵討貞享筆記二
- 孝威冥祥錄二
- 田宮物語異本二
- 榎園院長兵衛一代記三
- 義公黃門記三
- 敵討青木實記二
- 武道小倉袴五
- 珍說應平稻田二
- 青海波黃金湖五
- 水滸傳三
- 異本慶安太平記三
- 湖田開運記二
- 宇都宮金清水二
- 仙石實記三
- 賊禁秘談七
- 三孝皿屋舖三
- 太平箱文庫五
- 淺山源秘錄二
- 田宮物語三
- 白井權八一代記五
- 松前屋勇力傳二
- 正說國貞實記三
- 鏡山實錄五

- 積沼實記三
- 敵討合邦ヶ辻二
- 慶安前秘錄三
- 釋迦御一代記四
- 小幡小平次大和新話三
- 敵討柳の落葉二
- 森鏡邪正錄二
- 柳坡舌料錄五
- 泉洲信田白狐傳八
- 天一坊一代記三
- 享保仁政錄五
- 村井長庵三
- 嘉川政談三
- 尾畑山吹猫物語五
- 慶應太平記八
- 生人形武田操四
- 神明角力五
- 敵討嫁厨谷二
- 火車乘行記二
- 鍋島猫變化五
- 梅花後榮記五
- 敵討霞の濱萩二
- 豫松義曲錄二
- 敵討白川根笹雪二
- 觀延命談六
- 難波一夜夢八
- 大岡仁政錄四
- 越後傳吉三
- 金比羅靈驗記三
- 敵討名淺黃記三
- 新宿新怪實記三
- 上野下野阜月曙五
- 不動尊角力の仇討三
- 見聞藏鼠錄六
- 畔倉政談五
- 大岡忠相政要實記三
- 大岡名譽政談後編五
- 鈴木主水四
- 大阪東海道筋二
- 敵討信夫文字摺五
- 元治夢物語八
- 老婆茶話三
- 殺法輪轉三
- 近代烈女傳五
- 安明開記一
- 博多細傳實錄二
- 閑談雜章錄二
- 武籍咄五
- 小栗實記吾
- 村越傳記六
- 安淡明錄五
- 報怨奇談二
- 大岡名譽政談三
- 大成嚴集錄六
- 京都巡見記四
- 大岡皇紅毛傳二
- 安明元記五
- 小田原女敵討二
- 敵討廣島記五
- 稻生怪談三
- 近代公寬前秘錄三
- 小松物語二
- 細倉實記一
- 祐天記後編五
- 三國誌五
- 英雄全書三
- 高島日記五
- 孝子仇討五

- 金澤文庫五
- 名古屋元結三
- 天明大政録五
- 山川太平記五
- 加州仇討五
- 仇討美前録五
- 貞夫仇討五
- 仇討神代杉二
- 近代嚴秘録二
- 岩淵夜話二
- 目佐間志夜話二
- 富士隨劍録二
- 松前夜話三
- 九六長榮記六
- 大橋後藤昇進録三
- 和州郡山見聞録五
- 安部仲九入唐記六
- 武藏夜話三
- 北條名士政談三
- 敵討黃鳥塚五
- 神寶實記五
- 山中實記五
- 彦根仇討五
- 粟田口仇討五
- 越後高田仇討二
- 近代深秘録二
- 官論秘鑿二
- 見語大噲撰五
- 親子塚五
- 天貞實記三
- 龍野寶玉傳五
- 依田評定記二
- 川越伊藤盛衰記三
- 仇討透順香二
- 藤戸平井兩家仇討一
- 牛込神樂坂仇討二
- 高田馬場仇討二
- 千島玉川二
- 宇市敵討二葉孝記二
- 中興木録山三
- 紀文實傳三
- 笹野權三物語五
- 但石實記三
- 新編餅酒太平記三
- 越後安永鑿二
- 常盤松仇討三
- 陽柳文庫三
- 九州武勇敵討二
- 成平塚念力石二
- 賭士實傳武林叢話三
- 淺田三代記
- 笠森實記二
- 燕臺奇言六
- 明君德光線七

○滑稽本

- 寶曆年間
- 當世下手談義五 靜觀坊好阿 寶曆二年
- 教訓雜長持五 伊藤單朴 同
- 風姿紀文三 竹徑蜷局 同 三年
- 當風辻談義五 嫌阿 同
- 教訓不辯舌五 一應亭染子 同 四年
- 無而七癖三 同
- 八景開取法問五 梅 同
- 里俗談 錢湯新話五 伊藤單朴 同
- 當世花街談義五 止藏坊 同
- 不埒物語七 南啓堂梅翁 同 五年
- 花菖蒲待乳問答五 柳堤居皆阿 同
- 禁現大福帳五 墮落助 同
- 風俗八色談五 卜々齋 同 六年
- 續百化鳥三 古面堂 同
- 名水染分綾一 寶曆六年
- 人間善惡道中兩案内一 同
- 新板 給入迷途邪正案内五 無々道人 同
- 繪本深名帳三 同 七年
- 雜篇田舎莊子六 伏齋榜山 同 九年
- 滑稽雌黃四 桂井蒼八 同
- 養生醫者談義五 糞得齋 同
- 評判龍美野子三 泉山坊 同 十年
- 風流准仙人三 鶴步道人 同
- 古文鐵炮前後集一 桂井蒼八 同 十一年
- 銀杏榮常盤八景四 滑牛道人 同 十二年
- 教訓差出口五 伊藤單朴 同
- 俗談唐詩選五 風物 同 十三年
- 根なし草五 風來山人 同

俳優八重桐瀧死の事々、戯作せるものにして、題目は志道軒の元なし草よりとれり、此書大に行はれ三千部賣れたりといふ

- 風流志道軒傳五 風來山人 寶曆三年
- 當世兩面鏡五 靜觀坊好阿 同
- 明和年間
- 新撰小夜時雨五 若 夢 坊 明和二年
- 風初咲梅のこよみ一 好 譚 相 傳 街 講 同 同 三年
- 當世坐持話五 西村吾叟 同
- 根なし草後編五 風來山人 同
- 楚 古 良 探 五 單 朴 遺 稿 同 五年
- 一子 極 秘 卷 五 牛 田 山 人 政 齋 同 同 六年
- 和傳 文化十四年笑戯自知録と改題二冊に合本再摺せり
- 當世穴さがし五 同
- 龍都朧夜話五 大道寺宜布 朝講 同 同 七年
- 蕩子筌枉解一 峯釜散人 同
- 赤本智恵鑑五 齋 能 樂 同
- 興言浮世袋五 齋 能 樂 同
- 當世會古左賀志五 醉 石 翁 同
- 和傳 當世滑稽談義 五 伽 監 堂 同 同 八年
- 八尾地藏通夜物語五 一 樂 子 明和八年
- 當世穴さがし後編五 鄰 松 齋 同
- 虛實馬鹿物語五 同
- 當世穴 嘶 四 同
- 教訓乗合船五 無頼散人 同
- 訓世間萬病回春五 世北山人 同
- 何でも十九論一 同
- 安永年間
- 新板 給入 當世囁吐談五 其 井 口 帶 雨 蝶 齋 其月庵鳥川 安永元年
- 今様滑稽衣五 同
- 片假名世醉記一 銅脈先生 同
- 伊勢 志那戸の風五 池田遊鶴 同
- 土產 反古佐羅部四 愚 鈍 齋 同 二年
- 當世氣轉車一 金々先生 同
- 當世作の種一 兵 百 同
- 放 庇 繪一 風來山人 同 三年
- 針の供養五 銅脈先生 同

志道軒傳の異國廻りの趣向にならひたるもの、馬琴の夢想兵衛胡蝶物語はこれによりて作れるものなり

- 風流陣談義五 安永三年
- 相生玉手箱五 池田遊鶴 同
- 評判茶臼藝一 寐惚先生 同 四年
- 夢物語 秘密玉 遊翁都行脚 五 同
- 天狗齋儀鑿定縁起一 風來山人 同 五年
- 風俗つれく草四 池田遊鶴 同
- 無論里問答三 一尺亭竿頭 同
- 同 後編三 同
- 當世こゝかしこ一 同
- 當世杜撰商一 幸 慶 子 同 六年
- 放屁論後編一 風來山人 同
- 中車 生死 草 白 露 一 同
- 偏 鐵 挺 論 五 柳 橋 先 生 同
- 心 の 鬼 五 鈍 通 子 同 七年
- 飛だ噺の評一 風來山人 同
- 獸 太 平 記 五 木 容 堂 同
- 異國 和 莊 兵 衛 八 游 谷 子 同 八年
- 八尾地藏通夜物語五 一 樂 子 明和八年
- 當世穴さがし後編五 鄰 松 齋 同
- 虛實馬鹿物語五 同
- 當世穴 嘶 四 同
- 教訓乗合船五 無頼散人 同
- 訓世間萬病回春五 世北山人 同
- 何でも十九論一 同
- 安永年間
- 新板 給入 當世囁吐談五 其 井 口 帶 雨 蝶 齋 其月庵鳥川 安永元年
- 今様滑稽衣五 同
- 片假名世醉記一 銅脈先生 同
- 伊勢 志那戸の風五 池田遊鶴 同
- 土產 反古佐羅部四 愚 鈍 齋 同 二年
- 當世氣轉車一 金々先生 同
- 當世作の種一 兵 百 同
- 放 庇 繪一 風來山人 同 三年
- 針の供養五 銅脈先生 同
- 時勢世話談義五 梅 廊 安永八年
- 風流金石さゝれ石一 虚呂利山人 同
- 大通人好記一 持 麻 呂 同 九年
- 當世阿多福面一 粥腹得心 同
- 大通 これは平秩東作匿名の作なり
- 客 一 騎 直 行 五 志 水 燕 十 同
- 金のなる木一 風來山人 同
- 寒山拾得二幅對四 同
- 風 姿 戲 言 五 和 氣 茂 内 同
- 吳服 時代三國史三 同
- 天明年間
- 無 陀 物 語 一 雲 樂 山 人 天明元年
- 笑 註 烈 子 五 笑 止 亭 同 二年
- 風來紅葉金唐草一 同
- 當世導通記一 天竺 浪 人 萬 象 亭 同

- 通 點 興一 春花 町街 天明二年
- 陰陽玉 虚空談五 關山正之 同
- 天唐衣 大通紀山寺一 南免羅法師 同三年
- 東唐細見 晰四 同
- 給本見立假譬盡三 竹杖爲輕 同
- つれく 陣が川五 陣川子 同
- 水心 一ツ 鐵炮三 廿 誕齋 同四年
- 開帳 現 金論一百 馬 同五年
- 漢服 野島通夜物語一 美足齋象水 同
- 成仙玉一口玄海五 江文坡 同
- 陣が川 後編まゝの川四 陣川子 同
- 指 面 草一 山東京傳 ぶ 政のふは京傳の諸名なり 同六年
- 人遠茶懸物一 一 拂齋 同
- 好言 草五 蘆橋庵 同
- 百人 和歌始衣抄一 山東京傳 同七年
- 當世粹の水上五 前川來太 同

- 無駄 砂子一 天明八年
- 寛政年間
- つれく 雀三 十九才 寛政元年
- 萬更大師異圖本一 信 普 同二年
- 破 紙 衣四 同
- 書本纂怪興二 森羅萬象 政 美 同三年
- 鈍通禪學咄五 太鼓堂泥築 同四年
- 狂言作者津打治兵衛の假號なり
- 三國 松魚智恵袋一 京傳 書作 同五年
- 一本 燈瓜花巻一 振 鷲亭 同
- 三國 花實都夜話五 狼狽散人 同
- 教訓繪兄弟一 山東京傳 同六年
- 養裸 百 貫五 陣川 素絢 南 房 齋 同八年
- 戲言浮世瓢箪五 吳句堂主人 同九年
- 草木芝居化物退治一 三 蝶 同
- 書本不盡泉三 石田玉山 同

これは酒客の癖をいろくおかしく記したるもの三馬の七癖上

戸部耐氣實等の先驅をなせるものなり

- 後世 乾坤三國誌七 沖の 白帆 信 寛政九年
- 下界 百化帖準擬本草二 京傳書作 同十年
- 怪談 愚草一 内新好 同
- 戲男伊勢物語五 頭少々禿鷹 同十一年
- 三十 見てきた語五 峨眉山 丸 世 若 非 時 成 同
- 野暮の枝折四 耳 鳥 齋 成 同
- 見てき 咄濡手て粟五 蛾眉丸齋 同
- 五色の糸屑五 蛾眉山山人 同
- 身體山吹色五 都翁舎千代見 同
- 戲子名所圖會三 曲 馬 國 琴 歌 川 豊 國 齋 同十二年
- 享和年間
- 杜撰 泥 帶四 約 泰 享和元年
- 田舎芝居四 万象亭 同
- 東海 藤栗毛初篇一 十返舎一 水口 齋 同二年

原版中の外題には浮世道中藤栗毛とあり、初篇より八篇迄文化六年完結す、其中發端一卷は文化十一年出版せり

- 同 後編二 同 作 自書 享和三年
- 送麻疹神表一式 亭三馬 同
- 麻疹與海鹿之辨一同 作 同
- 戲場訓蒙圖彙三 同 作 同
- 滑稽素人芝居一 慈 悲 成 同
- 奇妙圖彙一 京傳書作 同
- 文化年間
- 東海 藤栗毛三編二 十返舎一 齋 文化元年
- 道中 藤栗毛の評判一 馬 齋 合 作 同
- 繪本酌縁起一 同 同
- 風流田舎草紙六 十返舎一 齋 同
- 樂屋方言四 鐵砲堂主人 同
- 狂言綺語一式 亭三馬 同
- 假名 穿鑿抄一 瀬川 権 齋 考 同

○東海 藤栗毛四編二 十返舎一九 享和二年
 ○古鳥圖賀比三 松屋耳鳥齋 同
 ○浮世物 眞似舊觀帖九 威和亭鬼武 同
 文化六年に至り完結す

○浮世風呂前編二 式亭三馬 同 三年
 前編男湯、二編女湯、三編同上、四編男湯再編文化九年完結す

○酩 丁 氣 質 二 同 作 同
 ○戲場粹言幕の外 二 同 作 同
 ○癡漢三人傳 一 威和亭鬼武 同
 ○東海 藤栗毛五編二 十返舎一九 同
 ○同 追加 一 同 書作 同
 ○道外 小野憲誠字盛 一 式亭三馬 同
 ○見通鄙戲場 一 柳陽舍蘭雞 同
 ○民間 口 八 丁 二 自 畫 自 刻 州 同 四年
 ○癡漢三人傳後篇 一 威和亭鬼武 同
 ○夷國滑稽羽栗毛 一 嬉 宇多樂庵 丸 同
 ○播州 藤栗毛八 監 彦 川玉 同

一名 旅枕裏青海、文政七年再摺

○東海 藤栗毛六編二 十返舎一九 文化四年
 ○見通鄙戲場後編 一 柳陽舍蘭雞 同
 ○田舎 樂屋雜談 二 鬼 笑 同 五年
 ○紙子頭巾嘉久助唯 一 百瀬又兵衛 同
 ○櫻樹腰掛咄 一 竹 有 軒 同
 ○諸國無茶修行 一 等 赤 林 同
 ○勘善田舎相撲 一 米花散人 同
 ○孤花 初 物 語 一 卷 亭 三 馬 同
 ○東海 藤栗毛七編二 十返舎一九 同
 ○同 八編三 同 書作 同 六年
 ○浮世風呂二篇二 式亭三馬 同
 ○早替胸機關 一 同 作 同
 ○滑稽の島土産 一 十返舎一九 同
 白初編至三編五册、文化七年完結

○身延 華 鹿 毛 三 河 同 亭 主 人 校 同
 ○客者評判記三 式亭三馬 同

一名 新水島記

○七癖 上戸三 式亭三馬 文化六年

○春宵 煙草二抄 一 山 東 京 山 同 七年
 ○伊 吾 物 語 一 梅 暮 里 谷 同
 ○下忍 鄙 通 辭 二 棹 歌 亭 眞 楫 同
 ○綴藤栗毛初編(金比羅) 二 十返舎一九 同
 初編より十二編に至る二十五册文政五年完結す

○滑稽の島土産二編二 十返舎一九 同
 ○同 三編二 同 作 同
 ○滑稽の島土産 二 山 東 京 山 同
 ○滑稽 大師めぐり上編 三 十返舎一九 同 八年
 ○滑稽 二日酔 二 同 作 同
 ○忠臣藏偏癡氣論 二 式亭三馬 同
 ○中戲 六阿彌陀詣前編 二 十返舎一九 同
 ○三 己が聲色 一 春 青 同
 ○成田 黄金駒 一 赤頂賀米 同
 ○道中 浮世風呂三編二 式亭三馬 同

柳髮 新話

初編より三編に至る文政六年完結す

○柳髮 浮世床初編三 式亭三馬 文化八年

○四十八 癖八 同 作 同
 ○狂言田舎操四 一 樂 亭 馬 丸 同
 ○山舎 驛路の鈴 一 東 里 山 同
 ○通言 綴藤栗毛二編(宮島) 二 十返舎一九 同
 ○綴藤栗毛二編(参詣) 二 北 十返舎一九 同
 ○對面 此の中賞詞論前編 三 同 作 同 九年
 ○滑稽六阿彌陀詣後編 二 同 作 同
 ○客者評判記殘篇 三 式亭三馬 同
 ○臺 所 譚 一 山 東 京 山 同
 ○妙伍天連都 一 十返舎一九 同
 ○王子 土産 一 長 二樓乳足 同
 ○浮世風呂四編三 式亭三馬 同
 ○浮世床二編二 同 作 同
 ○古今百馬鹿 一 同 作 同
 ○素人狂言紋切形 三 同 作 同
 ○四季日待 内 廿三夜待 三 岡 山 鳥 同

夏、庚申待三、秋甲子待三、冬己巳待三、と豫告にあれと出版せしや否や不明なり

- 榎原栗毛三編(木曾) 二 十返舎一 九 文化九年
 - 昔模様梅若松 二 國 漢州樓馬 同
 - 人間萬事虚誕計 一 式亭三馬 同 十年
 - 中戲 六阿彌陀佛三編 一 十返舎一 九 同
 - 假名 藏 意抄 一 三 葉山 馬補綴 同
 - 路 一 盃綺言 一 豐 式亭三馬 同
 - 榎原栗毛四編(木曾) 二 十返舎一 九 同
 - 同 五編(同) 二 月 慶、式 慶 同 十一年
 - 東海 膝栗毛發端 一 同 作 同
- この發端は彌次、喜太の出處分明ならずと讀者よりの注文によりあつたり書加へたるものなり
- 新話 旅芝居田舎正木 一 萬 壽亭正二 同
 - 滑稽 身振姿八景 三 美 笑亭可樂 同
 - 芝翫 眞壽加賀美東傳 二 南 笠亭房丸 同 十二年
 - 榎原栗毛六編(木曾) 二 十返舎一 九 同
 - 同 七編(木曾) 二 二十返舎一 九 同 十三年

- 同八編(從水會路) 二 二十返舎一 九 文化十三年
 - 滑稽 堀の内詣 三 同 作 同
 - 大千世界樂屋探 三 式亭三馬 同
 - 大山 栗毛後駿馬初編 二 國 漢州樓馬 同 十四年
 - 忠臣藏縁起式 二 同
- 初編より三編に至る文政四年完結
- 文政年間
- 六節 膝栗毛後駿馬二編 二 國 漢州樓馬 同 文政元年
 - 榎原栗毛九編(善光寺) 二 二十返舎一 九 同 二年
 - 水中 魚論 丘釣話 二 國 漢州樓馬 同
 - 芝翫 滑稽道中雲助断 三 白 曉 鐘 同 三年
 - 花曆 八笑人士 三 英 漢 亭 同
- 初編二冊、二編二冊、三編三冊、同道加二冊、四編二冊、同道加二冊天保五年完結
- 雜談 紙屑籠 六 自 十返舎一 九 同
 - 榎原栗毛十編(上州) 二 同 同 同 四年
 - 同十一編(同上) 二 同 同 同 四年

- 大山 栗毛後駿馬三編 二 瀧 亭 鯉 丈 文政四年
 - 別の内 雜司ヶ谷紀行 三 十返舎一 九 同
 - 茶番 早合點 二 式 亭 三 直 同
 - 榎原栗毛三編(上州) 三 自 十返舎一 九 同 五年
- 享和二年東海道の初編發行してより廿一年よりにて満尾の祝とし彌次喜太の土産と稱し國貞畫の景色美人の繪を添呈せり
- 討は致さ ぬ金が敵 世の中貧窮は敵 三 十返舎一 九 同 五年
 - 粹邯鄲榮花の現 四 魚 麻 呂 同
 - 浮世床三編 三 瀧 亭 鯉 丈 同 六年
 - 太平樂卷物 一 鳥 亭 馬 同
 - 楊弓一面大當利 三 英 國 山 泉 同 七年
 - 滑稽 牛島土産 三 英 漢 亭 泉 同
 - 白 癡 物 語 二 石 川 雅 望 同 八年
 - 滑稽 煙器蛇話 二 愚 癡 探 齋 同 九年
 - 雞が啼東都曉 三 豐 田 小 秀 同
 - 滑稽 有馬紀行 三 大 根 土 成 同 十年
 - 滑稽 其儘草紙 二 國 惠 陽 陳 安 同

- 樂 屋 芝 翫 栗 毛 二 濱 松 歌 國 文 政 十 年
 - 滑稽 三 笑 三 英 文 東 川 政 信 同
 - 浮世名所圖會 二 奧 山 四 娟 同 十二年
 - 道 役 者 三 外 栗 毛 二 重 濱 村 春 同
 - 妙々奇談辨正 二 周 滑 平 同
 - 妙々奇談 四 周 滑 平 同
 - 甲 子 待 五 國 立 川 為 直 同
 - 滑稽 寶色安木丹前編 三 十返舎一 九 同
- 天保年間
- 國恩 湊のさかえ 二 曉 鐘 成 天保二年
 - 辛卯 蝠 蝠 考 一 自 登 亭 仙 同
 - 溫泉 箱根草初二編 六 瀧 亭 鯉 丈 同 三年
 - 三編より為永春水(二世)作弘化二年完結す
 - 人間萬事虚誕計後篇 一 同 作 同 四年
 - 後者必讀 妙々痴談 二 三 芝 居 士 (花菱文京) 同
 - 同 後の正夢 二 同 作 同
 - 後者必讀 返註録 一 鳥 亭 馬 同
 - 妙々痴談 返註録 一 鳥 亭 馬 同

- 虚なるべし二 木 屑 庵 天保五年
- 神佛 妙々奇談三 夢 泉 月 中 庵 同 六年
- 浮世酒屋喜言上戸三 鼻 山 人 同 七年
- 微 瘡 軍 談五 船 越 晋 同 九年
- 湖 來 婦 志六 三 馬 遺 稿 同 十一年
- 滑稽和合人十 瀧 亭 鯉 丈 同 十二年
- 初編三、二編二、同追加二、三編三、四編より爲永春水作
- 弘化年間
- 漫 稽 繪 姿 合 一 柳 下 亭 種 貞 弘 化 元 年
- 滑稽和合人四編三 爲 永 春 水 同
- 魂膽夢輔譚初編三 一 筆 庵 主 人 同 二 年
- 初編より五編に至る十五冊弘化三年完結、八文字屋木の豆右衛門の趣向を模せしものなり
- 温泉 箱根草三、四編六 爲 永 春 水 同
- 勤 惡 稽 古 三 味 線 三 一 筆 庵 主 人 同
- 魂膽夢輔譚(五編) 三 同 作 同 三 年
- 下戸 勸善飯初編二 貞 十 返 舍 一 秀 齋 同

- 一名上戸下戸講釋園會といふ、二編より竹葉舎作安政四年完結
この二世一九は糸井風助の事に非ず、三亭春馬が風助歿後更に
二世一九の號を譲受しものにして實は三世一九なり奥羽藤栗毛
もこの春馬の作なり
- 寶 安 本 丹 後 篇 三 歌 爲 永 春 水 弘 化 三 年
- 嘉永年間
- 奥羽 道中膝栗毛 五 國 芳 一 信 齋 嘉 永 元 年
- 初編弘化二年稿成嘉永元年版、二編同年版、三編嘉永二年版、
四編嘉永二年版、五編嘉永三年版
- 忠臣藏皮肉論二 一 筆 庵 英 泉 同
- 人間 善惡道中記 三 貞 同 同
- 同四編迷所一覽一 同 書 作 同
- 同五編善惡二筋話一 樂 亭 西 馬 同 二 年
- 同六編善惡浮世奇看一 同 作 同
- 無他三才圖繪六 曉 鐘 成 同 三 年
- 滑稽 宮島土産六 貞 十 方 舍 一 齋 同 四 年
- 安政年間
- 松竹 五 偏 人 五 齋 亭 金 齋 安 政 四 年

- 下戸 勸善飯二、三編四 竹 葉 舎 金 瓶 安 政 四 年
- 氣貫 萬 延 年 間
- 滑稽 富士詣十四 假 名 真 魯 文 萬 延 元 年
- 質 屋 雀 四 雀 窓 貞 雄 同
- 文久年間
- 人間 一生善惡 善惡迷蹟志一 景 齋 英 壽 文 久 二 年
- 慶應年間
- 樂屋 鳴々者評判記一 惡 文 舍 他 笑 慶 應 元 年
- 新編 膝栗毛 廿 狗 々 山 人 同 二 年
- 出版年代不詳部
- くせ 物 語 二 上 田 秋 成
- 京傳工夫小紋帳一 山 東 京 傳
- 御坐敷藝忠臣藏一 貞 同 國 齋 作
- 吹替 伊儀家最負氣貫一 式 亭 三 馬
- 人心 視 機 關 一 同 作
- 滑稽 水掛論三十返舍一九
- 滑稽 躰栗毛五 同 作

- 談合 膝栗毛三 十 方 舍 一 齋 丸
- 菩提樹の辨一 風 來 山 人 作
- 力 婦 傳 一 同 作
- 里 鶴 風 話 一 同 作
- 痿陰 隱 逸 傳 一 同 作
- 南合羽大佛略縁起一 司 馬 全 交 作
- 北里 十二時二 石 川 雅 望 同
- 増口 八 丁 二 英 龍 亭 齋 同
- 一名 浮世長屋、蓬州作の口八丁をつぎたるもの
- 春笑能樂奇談三 清 川 山 住 作
- 浪花 街 の 噂 四 畑 銀 雞 作
- 御蔭手本抽神藏二 珍 々 亭 齋 丸 同
- 東海 栗毛ノ彌次馬二 芳 春 齋 同
- 道中 芝 旛 膝 栗 毛 二 藤 山 人 同
- 奇 白 痴 聞 集 一 威 和 亭 鬼 武 作
- 新版 誠七百物語四 高 古 堂 作
- 茶 番 樂 屋 二 櫻 川 慈 悲 成 作

- 叶福助略縁記一 振鷺亭
- 穿當珍話一
- 近郷道中膝栗毛九 狂訓亭主人 英五返舎半 泉九
- 心學穴さがし二 芳五返舎半 藤九
- 源女物語一 内新好序 翠川子
- 源中脚栗毛六 翠川子
- 鴛雀死出の旅立三 一夜庵 貞作
- 女膝栗毛三 保川春 貞作
- 松山道中膝栗毛六
- 千社參八 梅亭 金齋
- 滑稽田舎言葉三 勸善 益身鏡二
- 滑稽三寶荒神六
- 戯貧福太平記三
- 滑稽水滸傳三
- 怪化百物語二
- 滑稽勝の綱六

- 滑稽出放題三
- 雜司ヶ谷 紀行後編 王子紀行三 梅亭金鷺
- 遊里 教一 紫菊子
- 新形紺名紋帳一 木屑坊
- 秘事傳授巻一 寐言夢輔 振鷺亭の蠻瓜莞囊其まゝを改題再刻せしものなり
- 忠臣藏道化縁起四 貞林 至止 秀齋
- 貧窮合戦一
- 魚貝英記餅酒合戦一 芳房書
- 笑談貧福軍記七一 荷堂半水
- 雜具魚 讀切大合戦一
- これは世帯平記雜具咄三丁物、世帯平記略縁記三丁物の二種を合巻せしものなり
- 遊子娛言二 鷲蛙樓
- 滑稽五穀合戦記二 戯作舍鬼笑
- 至昔今 惡滑稽 酒取物語二 平亭銀鷄

○洒落本 一名こんにやく本

○寶曆年間

- 北異素六帖二 無々道人 寶曆七年 この書上下二冊に別れたれど其體裁總て後の洒落本に異ならず、下巻は繪畫を主とせるものなれども、上巻は不完全ながらも會話體にふるせり實に江戸洒落本の祖といふべし、作者無々道人は書家として有名な澤田源麟の假號なり、
- 聖遊廊一 同 一名 霞月花といひ、大阪版にして道頓堀の遊里を寫せるものなり

- 聖遊廊列仙傳一 同十三年
- 明和年間

- 遊子方言一 田舎老人 多田翁 明和

この書洒落本の備をつくれりとの事は古來の諸書に散見する所なれど今際ほるものは再刊本にして出版の年月なし、予数年捜索せしも遂に徒勞に歸しぬ、今は諸説明和の刊行といふに一致すればこゝに載す、幸野若談には此作者を丹波屋利兵衛なりといへど如何にや、因云此書以前既に異素六帖等あれど此書出て大に世に行はれ

○惚己先生夜話一

其趣味を發揮せしものなれば備をつくれりといひしものなるべし 明和五年

洒落本に會話體と會話なきものとあり、此書會話なきもの、藍解といふべし、因云此以前に會話なき洒落本めけるもの婦婦人傳、感路醉裡等あれど皆半紙形にして八文字屋の流を汲めるものなればこゝに載せず

- 廊中奇譚一 珉岡先生 同 六年 天明に至り再摺
- 辰巳の園一夢中山人同 七年 安永二年再版

○遊ふ多壽寄三 放蕩山人 同 八年 この書頗る後田京傳作息子部屋の趣に似たり、故に半紙形なれどもこゝに擧ぐ

○安永年間

- 南閨雜話二 夢中散人 安永二年
- 婦美車紫野一 蓬萊山人 同 三年 右二書天明に再版せり
- 里の亭環評一 風來山人 同

- 寸南破良意一 南錄堂一片 安永四年
- 青樓樂種一 同
- 甲驛新話一 春風鈴山人 同
- 風流裸人形一 同 五年
- 聖遊部は大阪酒落本の濫觴なるべしといへども、何處となく風俗、會話に江戸式の所あり、此書に至りては會話其他純粹の上方言業にして上方趣味の冊中にあるばかりなり
- 瓢金窟一 烏有先生 同
- 當世左様茶一 同
- 風俗問答一 隨羅山人 同
- 契國策 同
- 廓中掃除一 福輪道人 同 六年
- 大通傳一 高慢齋 同
- 中洲雀一 道樂山人 同
- 娼妃地理記一 道他樓麻阿 同
- 明誠堂喜三二の假號なり
- 妓者呼子鳥一 田螺金魚 同
- 天明七年再刻版改題して妓者虎の巻といふ

- 極穴 知鳥一 松壽軒東朝 安永六年
- 當世虎の巻一 田螺金魚 同 七年
- この書普通の酒落本と趣を異にし頗る後の人情本に類せり、よみて思ふに後の人情本作家はこの書を標準とし、模倣せしものか、因云此書は當時金貸鳥山檢校が瀬川を金にあかして無理根引にせし風説を綴りしものとて非常に行はれたりといふ
- 十八大通百千枕一 田水金魚 同
- 一名 契情真指南所といふ、此作者田水とあれど、田螺の一時かく名乗りしものなるべし
- 一事千金一 田螺金魚 同
- 妓女皮肉論一 同 作 同
- 廣街一寸間遊一 戲笑 同
- 大通秘密論一 夢中散人 同
- 伊賀越合羽籠一 蓬萊山人 同 八年
- 長命四季物語一 同 作 同
- 龍虎問答一 同 作 同
- 花姿花名寄一 柿本臍丸 同
- 雜文穿袋一 朱樂管江 同
- 火低御覽一 同 作 同

○天明年間

- 百安楚飛一時 雨庵 安永八年
- 品川八景一 同
- 女鬼産一 同
- 深川新話一 山手馬鹿人 同
- 無頼通説法一 杜選和尚 同
- 慈川春町の假號にして給も同筆なり
- 客者評判記一 談洲樓焉馬 同 九年
- 風俗砂拂傳一 隨松子 同
- 擲錢青樓占一 金びら山人 同
- 初咄一 魚京 同
- 芳深交話一 穴好 同
- この書はめづらしくも芳町の野良の世界を寫せるものなり
- 色事指南所一 吉田錦江 同
- 美地の蠣殻一 蓬萊山人 同
- 玉菊燈籠辨一 南陀伽紫蘭 同
- 粹のたもと一 同

- 舌講油通汚一 南陀伽紫蘭 天明元年
- 惡世物語一 止動堂馬吞 同
- 通仁枕言葉一 蓬萊山人 同
- にやんの事だ一 止動堂馬吞 同
- 眞女意題一 森羅萬象 同
- 通ふ神の講釋一 通野意氣 同
- 起原情語一 行過 同
- 世界の幕なし一 本膳亭坪平 同
- 通人の寢言一 桃栗山人 同
- 焉馬の假號なり
- 世紙歌舞妓の華一 容陽 同
- 富賀川拜見一 蓬萊山人 同
- こんたん手引草一 同
- 愚人居積借金一 蓬萊山人 同 三年
- 傾城智恵鏡一 雲樂山人 同
- 卯地臭意一 鐘木庵 同

- 濟都酒美撰一 志水燕十 天明三年
- 棠帆本紀一 島田金谷同
- 通神三教色一 唐來三 磨和同
- 遊婦里會談一 蓬萊山人 同
- 殘坐訓一 鈍九齋章丸 同
- 和唐珍解一 唐來三和同 五年
- 客衆氷面鏡一 山東京傳
- 息子部屋一 山東京傳 同
- 客衆肝照子一 同 書作同 六年
- 福神粹語錄一 萬象亭 同
- 內所圖會一 小金あつ丸 同
- 通言總離一 山東京傳 同 七年

三和の傑作にして其初作なり、此書いたく行はれて再摺、三摺あり、又書名は空海の三教指歸をもどりたるものにして、當時の流行と見え、竊軌本紀の史記本紀よりとれる、和唐珍解の和詞珍聞、古契三姐の虎溪三笑等其類多し

息子部屋巻末の廣告に先日出來とあり、又肝照子の序に先に氷面鏡を著しとあれば京傳作酒落本の初作と思はるれど傳本稀にして捜索せしも遂に得ずよりて暫くこゝに載す

- 古契三姐一 山東京傳 天明七年
- 田舎芝居一 萬象亭 同
- 吉原楊枝一 山東京傳 同 八年
- 一目土堤一 自内新 同
- 浮世假宅夕口舌一 赤とんぼ 同
- 北國五ッ雁金一 梅月堂棍人 同
- 一向不通替善通一 甘露庵蜂滿 同
- 傾城 觸二 自山東京傳 同
- 白川夜船一 自山東京傳 同 寛政元年
- 新造圖彙一 同 書作同
- 中洲の華美一 内田新好 同
- 狂言 廓の大帳一 自山東京傳 同
- 通義粹語傳一 同 書作同
- 南極驛路雀一 逸 同

○寛政年間

寛政二年風教に害ありとて酒落本を禁せられしに、萬十のす、めにより以上三書を教訓讀本と稱し賣出せしに忽發覺し作者は手銀五十日板元行司等も夫々罰せられ三書は中に及ばず從來版行の酒落本悉く絶板を命せらる

- 假里擇一 齋鳥堂 寛政元年
- 雙床滿久羅一 山手山人 同
- 自惚鏡一 振鷲亭 同
- 田舎談義一 竹塚東子 同 二年
- 繁千話一 自山東京傳 同
- 傾城買四十八手一 同 書作同
- 京傳豫誌一 同 作同
- 格子戲語一 振鷲亭 同
- 大磯風俗通一 松風亭如琴 同
- 新話 五ッ雁 染枝五所敷一 梅月堂棍人 同
- 大通契語一 笹葉鈴成 同
- 文選臥座一 狂糸、湖洲 同
- 學通三客一 新秋收冬好藏 同
- 傾城眞の心一 同 同
- 娼妓絹篩一 山東京傳 同 三年
- 青樓錦の裏一 同 書作同
- 仕懸文庫一 同 書作同

- 南品傀儡一 青海舍 寛政三年
- 倡賣往來一 十返舎一九 同 五年
- 北華通帖一 花 九 同 六年
- 遊里不調法記一 礎音成 同
- 一度うかれ草紙一 莊 鹿 同 九年
- 來芝一代記三 同
- 廓通遊子一 青松亭籃江 同
- 十界和尚話五 酒屋橋子 同
- 辰巳婦言一 式亭三馬 同 十年
- 傾城買二筋道一 梅暮里谷峨 同
- 買談客物語一 式亭三馬 同 十一年

從來酒落本は一冊ものなりしに、此書より後篇、續篇等を綴りたるもの出づ

○手引廊節用一 樂亭馬笑 寛政二年
 ○仲街艶談一 三多樓 同
 ○品川楊枝一 芝晋交 同
 ○筋道二編廊の癖一 梅暮里谷峨 同
 ○同三編宵の程一 同 作 同
 ○通俗子一 昌平庵渡橋 同十二年
 ○松の登妓話一 豊年齋 同
 ○白狐通一 梅暮里谷峨 同
 ○艶數可佳妓一 成三樓 同
 ○惠比良之梅一 十返舎一九 享和元年
 ○假廊比翼紫一 宇田樂庵 同
 ○野郎玉子一 自十返舎一 同
 ○夜話色講釋一 同 作 同
 ○甲子夜話一 梅暮里谷峨 同
 ○廊の櫻一 同 作 同
 ○契情買中夢の汗一 同 作 同

○鶴岡花撰帳一 梅暮里谷峨 享和元年
 ○句五大力一 鹽屋艶二 同
 ○狂言狐竇入一 自十返舎一九 同
 ○奇談内神一 同 書作 同
 ○吉原談話一 同 作 同
 ○青樓松の裡一 同 作 同
 ○侶客其話傳授の巻席の意氣地一 同 書作 同
 ○起承轉合一 同 作 同
 ○同後編遊治郎一 同 作 同
 ○吉原談誰也行燈一 同 作 同
 ○娼客寮學問一 同 作 同
 ○素見數の子一 同 作 同
 ○狐竇入青樓日照雨一 同 作 同
 ○後編句巻一 鹽屋艶二 同
 ○婦足懸一 子成三樓 同
 ○青樓日記一 白陽東漁 同

○夢の汗妓情返夢解一 梅暮里谷峨 享和二年
 ○甲子夜話三編意妃一 同 作 同
 ○獨稽古一 富人亭 同
 ○魂膽胡蝶枕一 著々樂山人 同
 ○青樓俣言解一 蘭奢亭薰 同
 ○祇園會焼燈藏一 同 作 同
 ○和談玉子四角一 眞櫻庵 同三年

○難の花廊の鶯一 白鼻山 水碓人 文政元年
 ○情のちまた一 道々亭馬鏡 同三年
 ○青樓玉語言一 花山亭笑馬 同五年
 ○出版年代不詳部
 ○太平樂卷物一 天竺浪人 作
 ○蛇脱青大通一 同 作
 ○柳巷訛言一 明誠堂喜三二 蘭
 ○浮世四時一 紫 同
 ○月花餘情一 戲 同
 ○月花餘陽臺遺編一 同 作
 ○粹町甲圃一 山手馬鹿 同
 ○南樓九一 銅樂散人 同
 ○華里通商考一 遊里軒 同
 ○大通店於呂志一 閑言樂山人 同
 ○世新語茶一 馬鹿人 同
 ○驛者三友一 紀南子 同
 ○馬糞夜話一 同 作

○文化年間
 ○教訓角力取草一 自十返舎一九 文化元年
 ○傾城買花角力一 白菊黄金雲 同
 ○花街一文塊一金太樓 同四年
 ○世廓中掃持一 玉水館 同
 ○寒紅梅丑の日待二振 驚亭 同十三年
 ○如妓離の花一 北鼻山 同十四年
 以上二書外形こそ洒落本なれ、内容は既に人情本の性質を帯び一轉して文政に至り人情本となりたるものなり

○文化年間
 ○教訓角力取草一 自十返舎一九 文化元年
 ○傾城買花角力一 白菊黄金雲 同
 ○花街一文塊一金太樓 同四年
 ○世廓中掃持一 玉水館 同
 ○寒紅梅丑の日待二振 驚亭 同十三年
 ○如妓離の花一 北鼻山 同十四年
 以上二書外形こそ洒落本なれ、内容は既に人情本の性質を帯び一轉して文政に至り人情本となりたるものなり

一名 大門難形

○猶射羅子正徳馬鹿輔

この香山亭馬琴門人くわいらしの序あり、くわいらしは馬琴の假號なるを以て此書を馬琴の作といふものあれど如何にや

○山嵐一柳亭種彦

○錦雞帳一正月堂

○俗談諺種一塵塚夢成

○奇假根草一紅月樓

○新話角雛卵一月亭可笑

○通言東至船一富樂亭

○夕志語言一

○雜野路の多和言一樂山子

○浮華川容氣一

○面美知之煙一南朝山人

○富が遠佳一豊里舟

○相合傘一桃猿舎犬雉

○吉原夜郎行燈一

○其アンカ一

○良夜静搔一藍川橋

○面美多通身一廓通

○玄々々經一鎮西翁

○名寄短歌一臍西翁

○四ッの谷一會滿人丸

○異見規矩一吳綾軒

○名所かゞみ一名隣

○多荷論一茶にし

○根津見衣一伍面

○音羽漣一

○山下新談一アマイタアン

○公大無多言一

○東西突當富魂短一西奴

○富岡八幡鐘一柿發齋

○契情實の卷一楚登美津

○同後編一滅法海

○百花評林一探花

○士橋嘉和美多理一擔柴樵夫

○曾我糖袋一山東唐屋

○青棲真廓誌一松葉亭

○甲驛夜の錦一宇治茶筌

○婦多津婦とん一酔醒水吉

○新客驛路花一

○賣花新驛一玉川常水

○吉原朝子一煙花浪子

○部屋三味線一

○奇廻深淵情一

○讚極史一

○喜夜來大根一

○遊仙窟烟の花一薄悖先生

○銚子戯語一大飯喰

○見番大平記一ナカキチ

再版本は中形二冊なり

○中洲花火一鳶鳥堂

○深川手習草紙一十方茂内

○品川呼子鳥一鷲馬

○鯉池全盛嘶一雲樂山人

○契情徳嘶一魚京

○南江驛話一比左古

○通人講釋一強異軒

○金錦三調傳一五猿

○新土地來毛布一辰狂

○多佳余宇辭一不埒

○當世貉の子一

○傾城極秘卷一無茶

○契情晝の世界一放蕩

○樂女好子一山蝶

○胡蝶夢一犬莊子

○廊中契語一朱樂管江

○飛美佳女顔一豊里舟

- 深彌滿於呂志一可鳴
- 傾城初嘶一百馬
- 柳巷三關笑一金箱
- 奇書繁禿筆一狂喋亭文丸
- 於見なめし一
- 酒の徒雅一ゑいじ
- つゝれの錦一華山
- 論語丁一虛來先生
- 陽臺三略一錦華子
- 起原情語一蓬蕩
- 一目千軒一
- 雲井雙紙一
- 當世氣轉車一
- 南園新話三
- 傾城三部集三
- 京傳の繁千話、角鴉卵等を集めたるものなり
- なまけもの一花月坊

- 雨夜の嘶一鐘下亭一狐
- 奴通一堂駱
- 野夫鑑一東湖山人
- 通俗雲談一春鷹
- にた山きどり一姨捨山人
- もみぢがり一南廓山人
- 花街風流解一大木眼が丸補作
- 夜慶話一嬉丸
- 魂膽情深川一
- 異夢卒爾屋一
- 新藤子酒戲一
- 北川蜆殼二二斗庵幸雄
- 秘事眞告一普穿山人
- 以上の三種は大坂の洒落木なり

○人情本

○文政年間

- 清談峯初花六十返舎一九文政二年
- 人世松操物語六一一筆庵主人同三年
- 玉散袖六鼻山人同四年
- 明鳥發端三二世楚滿人同
- 明鳥後正夢初編三柳川亭直丈同
- 春駒驛談初編三柳川亭直丈同五年
- 伊太八契情意味張月六鼻山人同六年
- 明鳥後正夢自二編三鼻山人同七年
- 小糸蘭蝶記二鼻山人同
- 錦帶屋軒並娘八丈三二世楚滿人同
- 雪白木豆同
- 契情七小町初三瀬川一如鼻同
- 俊翁菊廼井草紙三楚泉安盛同
- 文政十二年完結初編より四編に至る
- 於保呂月至三編九十返舎一九同

- 於保呂月四編三楚滿人 文政七年
- 早衣藤枝戀情一冊九楚滿人、駒人同
- 喜之助同
- 拾妻雪古手屋初三楚滿人、泉齋同
- 秋夕霧離物語三楚滿人、泉齋同
- 春宵三日月と仙六楚滿人、泉齋同八年
- 美談時雨袖九瀬川路考同
- 風俗粹好傳六鼻山人同
- 契情肝粒志三鼻山人、信齋同
- 酒落木の肝粒志を人情本になし其後を續けしもの
- 蘆假寝物語九楚滿人、泉齋同
- 一名 新撰花衣
- 當世虎之卷三金魚作 同九年
- 後編六水校正 同
- 同 爲水春水同
- 酒落木の虎の巻を中木となし其後を續けしものなり
- 三人戀情穿語六楚滿人同
- 姉妹同
- 永明廓雜談九鼻山人同
- 問記同

○梅曆 英對暖語 五 爲永春水 天保八年
 ○拾遺 辰巳の月三 山東京傳作春水補 一箇
 ○新秋 實昭 三 三文舍自樂 同
 ○娘太平記操早引初編 三 同
 ○同 二編 三 同 遺稿 同
 ○春宵多佳年花 五 松 亨 金 貞 水 同
 ○後編 春色離梅 五 國 爲 永 春 貞 水 同
 ○春色戀志良波 三 爲 永 春 水 同
 ○離の梅 春色園梅 五 同 作 同
 ○外傳 春色園梅 五 同 作 同
 ○春色 雪梅 二 貞 爲 永 春 秀 雅 同
 ○一刻 梅 春 三 國 爲 永 春 直 水 同
 ○千金 梅 春 三 國 爲 永 春 直 水 同
 ○祝井風呂時雨傘 九 英 同 泉 齋 同
 ○春色物旭迺出 三 英 永 春 一 齋 同
 ○娛色の糸 五 國 松 亨 金 直 水 同
 ○末摘花 五 國 松 亨 金 直 水 同
 ○笠がよう似 縁結月下菊 六 柳 亨 種 貞 彦 同
 ○た加賀笠が 縁結月下菊 六 國 松 亨 種 貞 彦 同
 ○娘太平記操早引三編 六 直 松 亨 種 貞 彦 同
 ○娘太平記操早引四編 六 直 松 亨 種 貞 彦 同

○敦外 娘消息 二編 六 三 文 舍 自 樂 柳 川 重 信 齋
 此册子原本年月を記さず
 ○同 三四編 六 英 爲 永 春 一 水 天 保 十 年
 ○同房 系 柳 三 國 爲 永 春 貞 水 同
 ○清談 松之調 三 同 作 同
 ○春色初若那 二編 六 英 狂 文 亨 春 一 齋 同
 ○同 三篇 三 爲 永 春 笑 同
 ○同 四五篇 六 梅 亨 金 齋 同
 右二書刊本の年代不明なりよりてこゝに附記す
 ○春色鶯日記 三 英 爲 永 春 一 齋 同 十 二 年
 ○錦の魚 九 貞 松 亨 金 直 水 同
 天保十二年完結、一名風月花情錦魚傳貞秀齋
 ○花 筐 五 國 松 亨 金 直 水 同 十 二 年
 ○餘情 由佳里、梅初編 三 爲 永 春 水 同
 ○同 二三編 六 鼻 山 人 同
 ○梅曆再開 春色花見舟 五 爲 永 春 水 同
 ○暖語拾遺 春色花見舟 五 爲 永 春 水 同
 ○弘化年間

○貞操婦女八賢傳 五編 三 爲 永 春 水 弘 化 二 年
 ○臘月花 菜 九 自 一 筆 庵 主 人 齋
 ○嘉永年間
 ○春花いろは藏 五 芳 松 亨 金 晴 齋 嘉 永 六 年
 ○安政年間
 ○怪談 五十路譚 五 松 國 梅 彦 安 政 元 年
 ○妻下り 春住 吉 九 芳 松 亨 金 晴 齋 同 三 年
 ○天下 春住 吉 九 芳 松 亨 金 晴 齋 同 三 年
 ○茶屋 會我昔語 三 松 亨 金 水 同 四 年
 ○假字 文章 多滿智留袖 三 英 東 里 山 泉 齋 同
 ○生死 流轉 女教訓 艶色 俱良倍 九 梅 國 梅 彦 同
 ○同 四五編 六 芳 梅 暮 里 谷 晴 齋 同 五 年
 ○自糸 安矢女 艸 三 芳 鶴 亨 秀 晴 齋 同
 ○主水 青樓心得草 一 蓬 萊 山 人 同
 ○京傳作息子部屋其まゝの中本に改題せしのみ
 ○所縁 藤波 六 英 二 世 一 泉 齋 同 六 年
 ○慶應年間
 ○吉三 ふうじ文 三 芳 月 亭 主 人 慶 應 二 年
 ○芳 虎 芳 幾 齋

○出版年代不詳部
 ○晋妻 婦女八景 三 爲 永 春 蝶 靜 齋 英 一
 ○風流 小田 春 三 爲 永 春 水 歌 川 國 直
 天保六年版出世紙を改題増補せしもの
 ○春色袖の梅 五 同 作 溪 齋 英 泉
 ○春色田家 花 五 同 作 歌 川 貞 重
 ○春色初可須美 五 同 作 歌 川 國 直
 ○珍説 千代礎 三 同 作 歌 川 芳 藤
 ○春色淡の花 三 同 作 歌 川 國 直
 ○花離 港の月 九 松 亨 金 水 同 書
 ○拾遺 花離 港の月 九 松 亨 金 水 同 書
 ○婦女 花離 港の月 九 松 亨 金 水 同 書
 ○庭訓 花離 港の月 九 松 亨 金 水 同 書
 ○春色戀 浮身 九 同 作 歌 川 芳 虎
 ○黄鳥探 千代、初聲 二 六 同 作 歌 川 芳 虎
 三四編は山々亭有又作明治二年刊定結
 ○秋色 綾朝顔 大 同 作 歌 川 芳 藤
 ○春色 小金、花 三 爲 永 春 水
 此册子三編迄は曲山人の娘節川を其まゝ翻刻し三編より其概き
 を加へたるものなり、安政四年に完結す

○田家 春雨日記三 爲永春水 溪齋英泉
 ○光澤 玉うさぎ三 同 作 歌川國直
 ○春色 霞、紫三 同 作 同 書
 ○芳藻 丁子風呂三 同 作 同 書
 ○玉川 日記五 同 作 同 書
 ○拾遺 玉川六 同 作 同 書
 ○真情 都、秋雨六 同 作 同 書
 ○逆理花兒比翼三 同 作 同 書
 ○拾遺別傳 今様 姿六 同 作 同 書
 ○風月 難波、俄雨六 同 作 同 書
 ○但百 田家、時雨六 同 作 同 書
 ○江戸鹿子湯島額衣六 同 作 同 書
 ○看官好ち六柳六 同 作 同 書
 ○松間 春の月六 同 作 同 書
 ○花情 辰巳、雪六 同 作 同 書
 ○深情 辰巳、雪六 同 作 同 書
 ○玉都 葉喜三 狂訓亭主人 歌川國直
 ○八幡鐘 春色辰巳、梅九 爲永春水 歌川貞重

○梅雪 春、若草三 狂訓亭主人 歌川國直
 ○遊山 錦の里五 同 作 同 書
 ○戀の榊 藤枝若葉、添竹六 爲永春水 歌川國直
 ○高尾 紅葉、伊達染六 二世楚滿人 溪齋英泉
 ○戀情 夜半、雪六 同 作 同 書
 ○園の雪 三勝艸紙六 同 作 同 書
 ○松竹梅 三重盃六 同 作 同 書
 ○同 拾遺六 爲永春水
 ○花鳥風月 至二編六 狂訓亭主人 國窩
 ○同 三四編六 梅亭金鷲
 ○かりの 婦美 爲永春水
 ○春色 梅、辻占九 爲永春水 龍齋鷲谷
 ○女實 語教六 爲永春水
 ○秋雨 夜話九 丸屋かく子
 ○春色 吾嬬春雨六 金龍山人 歌川國直
 爲永春水巳の著述を多く覽らんが爲に婦女の名を用ひしといふ

○貞操 松の花五 松亭金水
 ○春色 淀、曙五 同 作 歌川芳盛
 ○露 嗟峨、假寐三 同 作 歌川芳藤
 ○伊賀古述 豪傑譚三 同 作 同 書
 ○廓 かゝみ六 鼻山人
 ○孝婦 實、花九 同 作 同 書
 ○春色 廓、鶯六 同 作 歌川國種
 洒落木の廓鶯を中木となし其後を續けたるもの

○廓 意氣地二 同 作
 ○恐 可誌六 東里山人 歌川國貞
 ○おそめ 松艶の油屋六 東里山人 歌川國貞
 ○清談 若絲三 曲山人
 ○歌手 三人娘五 驛亭駒人
 ○露月 妹背鳥六 爲永春雅 歌川芳綱
 ○春色 月の梅初三 爲永春鶯 英一
 ○同 二編三 爲永春笑 貞重
 ○同 三編六 爲永春水 同 書

○春色 月の梅五編六 爲永春水 英一
 ○風流 色新粉三 爲永春笑 歌川國直
 ○傾城 腹の巻六 東里山人 菱川政信
 ○松竹梅 たけくらべ卅三 亭春馬 歌川國貞
 ○春秋 二季種編三 同 作 歌川芳春
 ○同 至五編三 松園梅彦 同 書
 ○閑談 春の鶯九 墨川亭雪麿
 ○夜三 柳の横櫛五 梅亭金鷲
 ○春色 野咲の花六 同 作 齋
 ○春宵 風見車九 同 作 歌川芳幾
 ○歌舞 妓織糸の調九 葉亭行成
 ○春色 連理の梅五 梅暮里谷峨 歌川貞秀
 ○小栗 綱手車九 鶴亭秀賀 歌川芳春
 ○増 春色 江戸紫九 山々亭有人綴 歌川芳虎
 ○春情 濡小袖 談壽樓白園 歌川國景
 ○貞操 津多加津羅 醉亭佳雪 花山亭笑馬
 ○ふたもの 松三 越路浦人

- 雅情雪、夜鳥六青狂 剛 亭校 歌川國直
- 蕙蔓戀、花菱三平亭銀雞
- 仇競今様櫛九二世一九
- 春色濡乙鳥三旭亭鯉升英 一
- 沖洋白浪三鶴屋南北歌川國貞
- 假名手本擔、梅九
- 永代かゝみ六
- 尾花草紙六
- 春色桐一葉六
- 戀のなれ衣六
- 吾妻しぼり九
- 春色翁草六
- 春色美操車九
- 春色まゆみの花九
- 春色千代、初戀三
- 春色梅、隠家九
- 春色千代、石摺三

- 春色松の月六
- 戀の浮草七
- 春雨夜話六
- 娘かゝみ六
- 吾妻物語語六
- 當世假名衣九
- 同更沙染九
- 露、尾花三
- 花の江戸櫛五
- 江戸紫十
- 神田雜談九
- かしく八重霞三
- 霞の紫十
- 人情松の魚十

○草雙紙

○行成表紙本

- 初庚申樂遊一 延寶七年
- 鼠年中行事一 同九年
- たからねずみ一 天和二年
- 桃太郎物語一
- 猿蟹物語一

○赤小本

- 初春のいわひ 師 宜書 延寶六年
- 本手むぢなの敵討一
- 兎の手柄一
- たゝとる山のほいぎす
- 新龜 萬 歲
- 京ひがばけきつれ
- 大福長者富貴物語
- 古今名物寶づくし

○四季の鬼 遊

- 由來の鬼 遊
- 日本名人そろへ一
- 開山
- 枯木に
- 花さくめいよの翁三
- 福大ふるまい
- 三寶 船 始
- 唐人のみかり
- 仙人づくし
- 日本馬ぞろへ

○赤本

- 桃 太郎 一 藤田秀素書
- 金平武者修行一
- 猿 蟹 合 戦 一 西村重長書
- 花さき翁おいらの榮華二 奥村政信書
- 聖 德 太子 一 近藤清春書
- 化 物 合 戦 二 羽川珍重稿
- 目附 猿蟹合戦一
- 舌 切 雀 一

大福長者富貴物語
工本富貴長者九
古本

- 花 見 鼠一
- 豆 まき 男一 奥村政信書
- 鼠 嫁 入二
- 鼠のゑんぐみ二 西村重信書
- 夕霧阿波鳴門一
- 鹽賣文太物語三
- 花さかせ爺一
- 黒木
- やすなものがたり一 鳥居清信書
- 蟹は金猿は榮一 鳥居清倍書
- 煙草戀中立二 同 書
- 狸々 酒屋三 同 書
- 新男 色 鑑二 同 書
- あつたはが大鳥毛庭雀二 觀水堂丈阿作
- 大 峰 櫻三 同 作
- 妖物十番斬三 同 作
- 伊達染重袂二 鳥居清經書作

- 卯花重奥州合戦三 柳川桂子作
- 大昔新田義貞芝居十 鳥居清滿書
- 王子 長者三 清山鼎我作
- 助六二代政宗三 文調書
- 鬼 熊 退 治二 山本義信作
- 諸頭連 理 斬二 鳥居清信書
- 鷹 塚 村二 同 書
- つものまる名劍二 同 書
- つわもの屋舗二 同 書
- 風流龍宮會我物語二 同 書
- 富 貴 草三 同 書
- 蓬 萊 山二 同 書
- もりつく松二 同 書
- 若蕙比須吉例之釣初二 同 書
- 二面からどき草刈鎌二 同 書
- い き 不動三 同 書
- 坂田金平三 同 書

- 金の長者三 富川房信書
- 臼井貞光二 同 書
- かすみの松三 同 書
- 堅田の龜二 同 書
- 鎌倉三代記二 同 書
- 鎌田又八二 同 書
- 鬼 女 物 語三 同 書
- 熊坂こせきの松二 同 書
- 長蛇源平はるかつき姫三 同 書
- 三 本 刀二 同 書
- 天 目 山一 富川吟雪書
- 吟雪は房信の改名なり
- 軍法伊澤祝二 同 書
- 菅浦前戀濃弓張月二 鳥居清經書
- 眞盛前兵 物 語二 同 書
- 二ツ鷹の葉三 同 書
- 桃 と 酒二 同 書

- 新紫式 部二
- 山入桃太郎二
- ゆりわが軍紀二
- 義興矢口の社三
- 吉 野 内 裏三
- しゝろ谷物語二
- 鳥原傾城枕軍談三
- しわんぼう道無二
- 新仁心蟹物語二
- 雪中の竹の子二
- 曾我の矢の根二
- 大辨才天そそ二
- 武田信玄初軍二
- 中將姫物語二
- 妻戀稻荷物語二
- 七色保命丸二
- 化物三ツ目大ほうい二

- 風流采女物語三
- 渡邊綱物語二
- 朝比奈勇力鑑二
- 伊勢三郎物見松二
- あだ敵打山の小娘二
- 雨請小町名歌榮二
- 一 對 男二
- うはらの淵二
- 英 勇 物 語三
- 繪本太平記十
- 大磯地藏咄二
- 大 野 長 者二
- 増甲 陽 軍三
- 景清一代記三
- 敵打美女窟二
- 五たゝいそ二
- 鯉の鳴神た海川水魚交二
このたまへ

- 小夜の中山二
- さよ姫望夫石二
- 猿 戌 出 入二
- 執着胸緋櫻二
- 青本
- 作奴化物退治三 奥村利信書
- 盛景両面鏡三 奥村政房書
- 忠臣節分儼二 観水堂丈阿作
- 都 鳥 物 語五 同 作
- 嵯 峨 物 語二 同 作
- 獅 子 大 王二 甚 四作
- 京橋戀の紅染二 和 居 清 満書
- 楠末葉軍談三 同 作
- 四天王昔扇二 桂 子書作
- 浦島七世孫三 鳥居清重書
- 振袖對面の琵琶三 鳥居清満書
- 湯尾崎孫約子 男色太平記三 同 書

- 秀さと龍宮巡二 鳥居清満書
- 天女娜二代鉢木五 同 書
- 市原臥夜黒牡丹三 同 書
- 陰陽十二支記晰二 同 書
- 遠霞平安城三 同 書
- 朝比奈草摺實記二 富川房信書
- 妖怪雪の段二 同 書
- 鶴の丸元服朝比奈二 同 書
- 化物とんだ茶釜二 同 書
- 蜷川新左衛門三 同 書
- 壇浦二人教經三 同 書
- 大磯虎車塚物語二 同 書
- 風流鬼に瘤二 同 書
- 化物見越入道始二 同 書
- 桃栗三平柿八兵衛二 同 書
- 猿廻春花婿三 同 書
- 化物一家髭女二 同 書

- 風流相生の盃二 富川房信書
- 化物車ひき二 富川吟雪書
- さのく金比羅ぶし二 同 書
- 伊勢物語榮花枕二 同 書
- 振 袖 辨 慶二 同 書
- くつかけ峠三 同 書
- 角磨威徳物語二 同 書
- 東邊木捺刀作三 同 房信書
- 妖物山人剛屋敷二 同 吟雪書
- 房信、吟雪は同人なり
- 亥殺遠目鏡夜右衛門三 鳥居清經書
- 雪女瀬川結綿二 同 書
- 鉢かつら嬬振袖三 同 書
- 本草春霞清玄風三 同 書
- 浮世宿替女將門三 同 書
- 大塔宮物語二 同 書
- 名將智勇の鋒二 鳥居清満書

- 音妖物道成寺二
- 今やうばなし三
- 義經新高館二
- 今昔浦島噺三
- 阿部晴明一代記五
- 五百八十七曲二
- 香ヒ袋二
- 京ミ水ヅ染ヅ櫻ヅ五
- 源五平源五平嫁納諏訪湖三
- 於願婆おなつ契約石寶殿三
- 清十郎清十郎近江國犬神物語三
- 野間野間古跡長田貝三
- 内海内海讎討女筆雲龍三
- 眞妻夫那都羅詮三
- 酒田金平ヒトシ儻シ二
- 奥州奥州潮籠川原院三
- 背背爺爺婆婆雀雀辰辰二

- 白髮白髮鬢鬢華華婿婿二
- 見物左衛門二
- 殺生石水物語二
- 金胎金胎仁王門礎三
- 風流女山岡三
- くさの枕二
- 源家源家友切九三
- 三千三百三
- 大内眞鳥二
- 四季土用干三
- 模紋自異怪談三
- 義經千本櫻二
- 太平春駒二
- 義經一代記十
- 源頼朝源頼朝古殿揚鐘懸松二
- 源義經源義經君君臣臣鑑鑑一
- 辨慶の誕生二

- 倭語會稽山五
- 鼠嫁入雛形二富川吟雪書
- 惡魔除鐘馗勢三同書
- 上總木綿二同書
- 周防内侍二鳥居清滿書

○黄表紙

○安永四年出版

- 艶道富士袴二柳川桂子鳥居清經
- 若綠色會我二同作同書
- 風流瀬川咄二同作同書
- 金々先生榮華夢二戀川春町自書

從來の青本は主として妖怪、實錄、合戦の趣を綴りしが、此書
いて、郡郷の趣向、當世様當世様の滑稽的描寫描寫いたく世に行はれ、
爾來趣向一變して滑稽を盡す事行はれたり、三馬の臆脱年代記
に此書を名作二十三部の巻頭に置けり、世に黄表紙の祖といふ
も溢美の言にあらず

- 春遊機嫌話二同作自書
- 一休和尙和尙悟乳柑子三鳥居清滿
- 光明千矢前二同書
- 備祭望燈腹鼓二同書
- 源氏重代劍宮居二同書
- 足柄山子持山姥鳥居清經

○佐藤鈴木天晴梅武士二 對兄弟	鳥居清經	○晴宗有明琵琶二	富川吟雪
○三人頑者直敵討三	同	○風流はなし龜二	同
○新兒女智恵の海二	同	○風流はなし鳥二	同
○大福富突始三	同	○源家小鳥丸三 再榮	同
○武進萬代矢口渡二 長之	同	○鉦金紙屑二 男金	同
○初戀松竹梅二	同	○本朝世帶道具二 但	同
○六水車智恵篁三	同	○四十忠臣鼠の穴蔵二 七正	同
○義貞智仁勇二	同	○名月吉原饅頭二 全盛	同
○養老唐文章三笠の月三 瀧	同	○外善知鳥物語二 遊	同
○名君矢口社二	同	○富士淺間物語五	同
○朝比奈島渡三	富川房信	○風流物者附二	同
○高名太平記二	富川吟雪	○安永五年出版	
○軍法伊澤硯二	同	○福笑惣領甚六二 柳川桂子	鳥居清經
○多武峯爪黒笛三	同	○今様女景清三	同
○木竹並きた交軍談二	同	○豐歲錢塚山來二	同
		○高慢齋行脚日記三	同
			戀川春町 自

當時古版を再摺し、新版として發布する事行はる、この書も然
本を直せしものなり

三馬所撰名作二十三部の一なり

○うとん怪物大江山二	戀川春町	○御伽百物語三	鳥居清經
○唐倭畫傳鑑三	同	○書集津盛話二	同
○古今其返報怪談二	同	○佐夜中山我身鐘二	同
○新奥州古戰場物語三	同	○菅原傳授手習鑑五	同
○浮世風俠女敵討三	同	○初笑福德ばなし二	同
○後三年松島八景三	同	○風流桃太郎手柄咄二	同
○風流友世車二	同	○萬福長者玉二	同
○小兒石部金吉二	同	○名玉西海浪二	同
○木曾海道从義仲三	同	○夜明茶吞噺二	同
○京土産五色唐織二	同	○駿河伊達紙子笈捨松三 海重	同
○後家氣質二	同	○笹塚忠臣矢口渡三	同
○風上下の番附二	同	○石川五右衛門物語二	同
○船軍源氏勝四三	同	○孝心女子鑑二	同
○本朝盆踊濫觴三	同	○風四角四面兵衛三	同
○往古桃と酒雀道成寺二 新今	同	○新田系圖梅二	同
○江戸白慢からくり屏風二	同	○風流化物鳴神二	同
○於としばなし二	同	○天狗初庚申二	同

○酒花鳥確蓮坊二
目録には春町作とあり

○今吉原たんか二

○安永六年出版

○太平樂出世鉢木三 柳川桂子 鳥居清經
○蹄花十八公の英三 同 作 同 書
○借皮其後自髮公時三 同 作 同 書
○往古昔猿の仇討 同 作 同 書
○後日菅原鑑三 同 作 同 書
○三升増鱗祖三 戀川春町 自 書
名作二十三部の内

○親敵討腹鼓二 同 作 戀川春町 書
○鼻峯高慢男二 同 作 同 書

○觀音三寶利生初竹三 米山鼎我 鳥居清經
○新板桃太郎一 袋入 明誠堂喜三三

藍摺表紙五丁物業糸綴にて黄表紙袋入の初なるべし

○妖怪仕内評判記二 戀川春町
此書目録には喜三三作春町書とあれど原本には二者の名なし、されど春町の筆意なるが故に假に春町書として載す

○女嫌變豆男二 同 作 同 書
○花見歸嗚呼怪哉二 深川錦鱗 同 書
○下總國月屋千葉功三 鈴木吉洛 同 書
○妙見寺 同 遊 自 書
○江戸最良八百八丁二 迷來山人 同 書
○於竹大日利生記 同 作 同 書

喜左三門人婦人龜遊作とあれど實は喜三三の匿名なり

○懷胎 春袋三 明誠堂喜三三 鳥居清經
○南陀羅法師柿種二 同 作 戀川春町 書
○珍珠立會我二 同 作 同 書
○桃太郎後日斬二 同 作 同 書
名作二十三部の内なり

○伊藤館優美源氏鑑難形三 鳥居清滿
○北條館優美源氏鑑難形三 鳥居清經
○童子金父母三 同 書

○祝昆布君を松前二 鳥居清經
○持遊太平記二 同 書
○八百屋七戀櫻操芝居 同 書
○四天王勇力傳二 同 書
○雛討芭蕉花三 同 書
○龍源氏 同 書
○後口卷頼朝七騎落三 同 書
○宮浦前戀濃弓張月三 同 書
眞然前 黒木直し

○甲子待座舖狂言三 同 書
○敵討嗚呼孝哉二 同 書
○農人 敵討垣衣摺二 同 書
鳴呼孝哉と同じ物なり再摺改題せしものなるべし

○よたつと二人の糸櫻木町百二 同 書
○中世に於て 同 書
○朝日山木會棧二 同 書
○花粧對兄弟三 同 書
○姉は二十一江戸口變装の商人二 同 書
○妹は二十一江戸口變装の商人二 同 書
○桃太郎かんの鳥三 富川吟雪 書

○大銀御存知荒事三 富川吟雪
○手鞠色模様三人娘 鳥居清長
○靜末扇源氏二 同 書
○金平娘 同 書
○川待御此頃背話三 同 書
○三保狸の膏藥二 同 書
○猿利考浮世咄 鳥居清經
○出世名古屋 同 書
○新雨夜友二 同 書
○狐の馬乗出世書三 同 書
○絹川堤請田の鏡三 同 書
○三總源家長久三 同 書
○子寶勇士のみはへ三 同 書
○魚精里家夜位太平樂三 同 書
○相洲白旗社三 同 書
○風流なぞつくし一 同 書
○紅血使血往古嘶二 同 書

○四天王石熊退治二
○新買言葉二

當時落語非常に流行せしかば、黄表紙も其影響を受けて、それ等の趣向多く出たり

○安永七年出版

○戀歌於萬紅二 柳川桂子 鳥居清經
○筆累絹川堤 同 作同 書
○三幅對紫會我三 戀川春町 自 書

名作廿三部の内

○辭園戰新根二 同 作自 書
○芋太郎屁日記咄二 同 作自 書
○間違曲輪遊三 同 作自 書
○蛭子大黒壯年過二 明誠堂喜三二 戀川春町 書
○安永七郎犬福帳二 物忌齋於蓮 蘭德齋春童 書
○其數々酒の湊三 芳川友幸 自 書
○大豆の助松非寶親方二 薪 葉湖龍齋 書

○黄金山福藏實記三 林 生 鳥居清經
○七つの人似小此似 金 中 齋 勝川春章
○日照雨狐の嫁入二 市場通笑 鳥居清長 書
○通鳥寐子の美女二 窪田俊満 自 書
○木田夢中の御利益三 吳 増 左 鳥居清經
○善光寺中の御利益三 吳 増 左 鳥居清經
○青樓吉原はなし二 黒 蝶 亭
○鈴鹿山鬼丸物語三 幾 久 鳥居清經
○手鞠歌三人長兵衛三 金 中 齋 勝川春章
○吉原大黒扇二 金 花 鳥居清經
○お花開帳利益札遊合二 半七 北尾政演 書

山東京傳十八歳の初作なれども未だ京傳の名を用ゐず

○吉原藝者會我 勝川春章
○藤澤熊坂傳記三 鳥居清經
○雷 臍 喰 金 二 同 書
○酒呑寶易占三 同 書
○猿人醉吐染黄八丈 同 書
○堀出天保皮三 同 書

○玉屋新夢中海原三 鳥居清經
○大内柳夫婦倫二 同 書
○忠臣四十七文字三 同 書
○名代千菓子山殿三 鳥居清長
○化物箱根先二 同 書
○神田與吉一代噺三 同 書
○敵討昔今川 同 書
○通人為真似二 同 書
○金銀先生夢中印咄二 勝川春章
○皆進先生 湖 龍 齋
○市川追善記二 谷 久 和
○大い目出度春二 同
○薄化粧七人美女 同
○親世音織助風初 同
○御利生 同
○敵討目貫獅子 同
○於半桂川雄嘶二 同
○長右門桂川雄嘶二 同
○清盛歡樂の日記三 同
○入道 同
○善光寺傳來記二 同

○豆男榮花春 鳥居清長
○新版梅一惠顔二 同
○名玉里人談 同
○鹿御靈清和源氏三 同
○怪談夜行三 鳥居清長
○安永八年出版
○嗚呼男四人與市三 柳川桂子 鳥居清經
○卯花重奥洲合戰三 同 書
○昔扇金平骨二 同 書
○右三部古版直し
○壽渡海物語 同 作同 書
○皿屋舖三 同 作同 書
○楠無益委記袋入戀川春町 自 書
○名作廿三部の内、未來記の趣向大に當り、長生見度記、夫徒以來記等此作を摸せしものも出たり
○金々先生再寐夢三 同 作自 書
○案内手本通人藏二 明誠堂喜三二 戀川春町 書
○忠臣藏の趣向大に行はれ、後忠臣藏の異作は皆之に倣ふ

- 櫻津原新吉原起那須野傳三 明誠堂喜三二 戀川春町
- 彈的ヒキヒツ東風俗三 文溪堂鼎我 鳥居清經
白拍子お豊の傳にして當時世に喧傳せしにや洒落木、黄表紙に四五種あり、文溪堂は米山鼎我の號なり
- 怪談豆人形二 同 作 同 書
- 毬唄マツリ雄の御山三 同 作 同 書
- とんだとんだ金平異國巡三 吳 増 左 同 書
- 御物好薄雪染三 同 作 同 書
- 初夢富士高根二 同 作 同 書
- 傾城傾城常陸 浮世客列官三 同 作 同 書
- 藝者お照 蟻通本地三 文 溪 堂 同 書
- 應護 親父否早學問二 物愚齋於遠 勝川春童 書
- 敵討鞍馬天狗二 同 作 同 書
- 曲輪雀大通先生三 金 中 齋 同 書
- 虛言彌次郎傾城誠三 市場通笑 鳥居清長 作
- 桃太郎元服姿二 同 作 同 書
- 懸直なし正直噺三 同 作 同 書

- かこめく籠籠中鳥三 市場通笑
- 大通人穴ツツ扒三 同 作 鳥居清長
- 其數々酒癖二 同 作 同 書
- 今ハ昔曾我今ハ昔曾我面影三 伊庭可笑 戀川春町
- 姉ハ廿一妹姉ハ廿一妹戀婿二 同 作 鳥居清長
- 東都見物左衛門二 松 壺 舍 北 川
- 大強化羅敷 白 馬 北尾政演
- 心の 鬼二 とと化
- 廓青本花扇青本觀世水 袋入 明誠堂喜三二 北尾政演
天明元年遊開扇花と改題して青本三冊として發兌す、當時袋入の冊子にして當りし者は翌年改題青本として再新版とす
- 東姫アノカミ天童若神子三 鳥居清經
- 四姫アノカミ明顔姫物語三 同 書
- 宮右三部古版直し隅田川梅若物語三 同 書
- 教訓 譬幸二 同 書
- 七人藝浮世將門二 同 書

- 三歳線珠數暫袋入一 湖 龍 齋
- ころは短歌一 袋入 鳥居清長
- 心能春雨噺二 鳥居清經
- はかりはかり止而道致はかり虚録三 鳥居清長
- 櫻櫻いさよんく 北尾政演
- 歸咲後日花 同 書
- 日東國三曲鼎二 同 書
- 名取菊名取黄白長者三 同 書
- 安房右四部作者なし、恐らく改題諸作なるべし洲里見合戰三
- 仇競夢の浮橋二 新内節を草双紙にせし初めならんといふ
- 大中大中黒名香大中勝凱二
- 御伽太平記十
- 廓田螺金魚の契情買成の巻大に當りしかば、夫を摸倣して草双紙になせしものなり晰晦日月三
- 七福神親方三

- 腹京師食物合戰二
- 甚三紅絹山來三 畫工の名はしるさざれど確に春町の筆なり、
- 安永九年版
- 鎌倉山紅葉浮名三 文溪堂鼎我 鳥居清長
- 十二支桃太郎二 同 作 北尾三二郎
- 鐘入七人化粧 一 袋入 明誠堂喜三二 北尾重政
名作廿三部の内、大當にて翌年渡邊柳屋と改題青本三冊として出せり
- 龍龍都四國龍噺三 明誠堂喜三二
- 大通問違會我三 同 作 北尾重政
- 野黄の穴扒二 市場通美 鳥居清長
- 親父布子浦島鳶握三 同 作 同 書
- 浦島浦島二度目浦島龍宮二 同 作 同 書
- 憎口返答返し二 同 作 同 書
- 傾城買三略卷三 同 作 同 書
- 三世左右大雜書 同 作 同 書
- 諸事米飯三 同 作 鳥居清長

○大通人好記大市場通笑
 ○近頃鳥巡り三同 作鳥居清長
 ○珍説女天狗二同 作同
 ○津以會無弟^{ツイソノイ}甚六三同 作同
 ○儲化^{タリ}狐通人二伊庭可笑同 作同
 ○祐天和尙絹川物語三同 作同
 ○念佛功力^{ネンブツリキ}金々金平二一竹達竹自 書
 ○はかり^{ハカリ}おせわ^{オセワ}金々金平二松泉堂北川豊章 書
 ○藝者呼子鳥二松泉堂北尾政演
 ○娘敵討古郷錦三北尾政演
 ○伊豆^{イ豆}温泉縁起三鳥居清經
 ○笑話^{ワカシ}も^{カシ}臍茶三^{カシ}臍下逸人北尾政演
臍下逸人は政演(後に京傳)の匿名なりといふ
 ○虚言八百萬八傳二四方屋本太郎鳥居清經
名作二十三部ノ内
 ○時花^{ヘナリヤス}吟^イ鵬茶會我三芝全交北尾重政
 ○酒^{サケ}腹中能同志二少嬾堂鳥居清長
 ○大通其面影二常盤松同 書

○通略三國誌三四國子鳥居清長
 ○飛間^{トビマ}遠矢口噓二伊庭可笑同 書
 ○銀世界豊年鉢木二物恐齋於蓮間牛齋秋童
 ○餘多^{ヨリタ}空音本調子三窪田俊滿北尾政美
 ○夜野中狐物二王子風車北尾政演
 ○浦山^{ウラヤマ}太龍宮卷三窪田春滿北尾三三郎
 ○那兵衛^{ナベエ}孝記二^{桃栗山人}柿發齋自 書
 ○山能主我獨二木鷄北尾政美
 ○通者云此事三北尾政演
 ○遊人三幅對二同 書
 ○菓物見立御世話二同 書
 ○團五兵衛^{ウチゴベエ}焼餅咄二同 書
扇屋かなめ米飯頭之始二
 ○運附孫左衛門咄三同 書
 ○顏而知勸善懲惡三勝川春章
 ○桃太郎寶噺三北尾三三郎
 ○頓作時雨月三鳥居清長

○東育^{トヨク}ち江戸花三鳥居清長
 ○千秋樂鼠嫁入二同 書
 ○今様喜還城二同 書
 ○新狂言梅姿三勝川春章
 ○大通一寸廓茶番三同 書
 ○咄茶^{ウチヤ}呑友達三北尾三三郎
 ○艶模^{ウツクシ}樣會我雛形三北尾政演
 ○通人三極志三勝川春旭自 書
 ○青樓^{アヲ}三ッ蒲團五勝川春好
 ○世の噂花師匠二勝川春旭
 ○威氣^{イキ}千代牟物語二
 ○伊達^{イダツ}見立蓬萊二
 ○一生德兵衛三傳三
 ○いろは歌
 ○振袖近江八景三
 ○口合はなし目貫三
 ○夏祭其翌年三

○古今吉原噺袋入
 ○山谷通伏猪之床三
 ○洒落模樣飛羽衣三
 ○白井^{シロイ}比翼塚一
 ○山入鼠桃太郎
天明元年出版
 ○四通^{シツトウ}燈^{トウ}運開扇の花三明誠堂喜三三北尾政演
安永八年の廓花觀世水の改題新版なり
 ○息子^{イコ}一粒萬金丹二同 作同 書
安永九年版鐘入七人化粧の改題新版なり
 ○瀧返青柳黒髮三同 作北尾重政
 ○異國封印の洗濯袋入市場通笑
 ○運附太郎左衛門咄三同 作北尾政美
 ○郎^{ロウ}郎^{ロウ}夢濃枕三同 作鳥居清長
 ○かみ^{カミ}内^{ウチ}に^ニか^カ蟹^{カニ}牛^{ウシ}房^フ狭^ヒ多^タ三同 作同 書
 ○鳥行水諺種三同 作同 書

○おきな 敵討魚名録三 市場通笑 北尾政演
 ○兄弟 敵討魚名録三 市場通笑 北尾政演
 ○知珍不 御代之御寶袋入 同 作 鳥居清長
 ○狸諺もち は餅屋三 同 作 北尾政美
 ○女郎買 糠味噌汁三 同 作 同 書
 ○大通 狎の嫁入二 同 作 鳥居清長
 ○鶴龜見 向雨 同 作 同
 ○常々々 草三 同 作 同
 ○突渡 最早惠來榮三 同 作 鳥居清長
 ○化物 鼻挫二 同 作 同 書
 ○間違 月夜鍋二 同 作 同 書
 ○朝北 奈唐子遊三 伊庭可笑 同 書
 ○田鼠 鴉白拍子二 同 作 北尾政演
 ○東都 大津名物二 同 作 同 書
 ○紙屑 身上嘶三 同 作 鳥居清長
 ○敵討 駿河花三 同 作 北尾政演
 ○茶釜 毛生太郎月三 同 作 鳥居清長
 ○古寶家 七加減三 同 作 同 書

○おめて 古呂利山椒味噌三 伊庭可笑 鳥居清長
 ○外には 極通人由來二 同 作 同 書
 ○七福人 大通天 同 作 北尾政演
 ○化物箱 入娘二 同 作 鳥居清長
 ○初夢 寶山吹色三 同 作 北尾政美
 ○紅皿 缺皿奥洲嘶三 同 作 鳥居清長
 ○福夢想 大黒銀三 同 作 北尾政演
 ○物世 繼鉢木五 同 作 鳥居清長
 ○交雜 講釋五 同 作 北尾重政
 ○南洲 遊客故附太平記三 南陀伽紫蘭 北尾政演
 ○異出 見世吉原三 同 作 北尾政美
 ○針程 事棒程目鏡二 同 作 自 書
 ○年 始御禮帳二 四方屋本太郎 千代女
 ○本性 有難通二字 是和齋 北尾政演
 ○大違 寶船三 芝全 交 北尾重政
 是和齋は北齋の假號なりといふ
 南陀伽紫蘭は宿田俊満の戲號なり

○富士屋 櫻鏡蔭蔭三 芝全 交 北尾政美
 ○淺間屋 櫻鏡蔭蔭三 芝全 交 北尾政美
 ○當世 大通佛開帳三 同 作 北尾重政
 ○通一 一聲女暫三 同 作 同 書
 名作二十三部の内
 ○交古 世むかし嘶二 同 作 鳥居清長
 ○通人 いろは短歌袋入 同 作 北尾政演
 ○雀敵 冷水灰毛猫二 同 作 鳥居清長
 ○變人 吉原傳授仕習盤三 同 作 北尾重政
 ○一代記 ヒョウナ 王子風車 北尾政演
 ○其後 瓢様物二 當世 作 同
 ○大通 故事附會我 當世 作 同
 ○白拍子 富民靜鼓二 南 子 北尾政演
 ○保邊 登短歌三 道 笑 北尾政美
 ○化物 二世物語二 志水燕十 作 同
 ○身貌 大通神界縁起袋入 同 作 喜多川歌麿
 ○嗚呼 世之助はなし三 龜遊 女 鳥居清長
 ○不儘 世之助はなし三 龜遊 女 鳥居清長
 ○縁組 連理鯨三 北尾政美
 ○鬼の子 方から三 鳥居清長

○敵討 壬生寺望月三
 ○落菊 壽盃二 北尾政美
 ○桃太郎 一代記五 同 書
 ○山本 喜内天狗噺二 同 書
 ○通増 安宅關二 鳥居清長
 ○振袖 江戸紫三 勝川春常
 ○目出たし 粉尾鼠
 ○今様 走背淺草書馬二 鳥居清經
 ○縁起 走背淺草書馬二 北尾政演
 ○久知 免登里二 北尾政演
 ○家内 手本町人藏袋入 在原艶美 北尾政演
 ○七笑 顔當世姿三 同 書
 ○天明 二年版
 ○何處 難形意氣真顔三 戀川春町 自 書
 ○戀戀 我頼人正直三 同 作 自 書
 ○染直 飛色會我三 明誠堂喜三 戀川春町
 ○春狂言 恒例問違會我三 同 作 北尾重政
 ○御仕着 恒例問違會我三 同 作 同 書

- 家傳壽命藥袋入市場通笑北尾重政
- 教訓蚊の兇三同 作北尾政演
- ない金時會我袋入同 作鳥居清長
- 御代參牛の時詣三同 作同
- 舌切雀三の切二同 作同
- 花の上手談義四同 作同
- 當世菊壽の語同 作同
- 長生虎之卷三同 作同
- 御忍に付 猫嫁入二同 作同
- 豆男江戸見物三同 作同
- 阿部見通占三同 作同
- 昔々岡崎女郎衆三同 作同
- はんじ物や 蟲盡殺所二同 作北尾政美
- ら地口やち 蟲盡殺所二同 作北尾政美
- 談世 菰譽詞三同 作北尾政演
- 十二支大通話袋入金 中 齋勝川春章
- 寫昔 通風伊勢物語三 窪田俊滿 鳥居清長
- 藝者五人娘二 伊庭可笑同 書
- 唐土魂石千屋繁昌三 伊庭可笑 鳥居清長
- 日本住 多敷寄砂三 同 作同
- 樂和宮 沙汰金次第二 同 作同
- 地獄 珍說雷婚禮二 同 作同
- 昔晰虛言桃太郎三 同 作同
- 昔晰虛言桃太郎三 同 作同
- 敵討染分手綱三 同 作北尾重政
- 祝増福壽相三 同 作北尾政美
- 七福神大通傳二 同 作同
- 落 晰袋入四方山人 作同
- 櫻がたり 五郎兵衛商賣三 南陀伽紫蘭 北尾政演
- 花が見 吉野由來三 同 作同
- 手前御存知商賣物三 山東京傳自 書
- 此冊子の外題に初めて京傳作と署名す、卷末は北尾政演借作とあり、四方山人の岡目八目(草雙紙評判記)に巻頭に擧げられこれより名を發す
- 四天王大通仕立二 是和 齋勝川春朗
- 鎌倉通臣傳二 魚 佛同 書

是和齊、魚佛共に借工北齋の假號なりといふ、春朗は北齋の前名なり

- 金涌物壬歳三 芝 全 交北尾重政
- 風雷神天狗落種二 同 作北尾政美
- 菅原神祇再評判 在原艶美 北尾政演
- 尼上梅幸 宇三 太北尾重政
- 市川三升圓三 櫻川杜芳 北尾政演
- 故事附千本花王 同 作同
- 擲打鼻上野三 同 作勝川國信
- 敵討梅と櫻三 豐里 舟鳥居清長
- 遊樂 早出來三 同 作同
- 世界 早出來三 同 作同
- 通神たからふね三 無量軒 北尾政美
- 都加茂川 佐夢想醒所 瓢 露
- 東利根川 佐夢想醒所 瓢 露
- 天竺 花珍奴茶屋三 辛井山椒 勝川春章
- 石川五右衛門 花珍奴茶屋三 辛井山椒 勝川春章
- 息子 株毛 鹿帽三 風 物 鳥居清長
- 飯嫌女者同斷何二 古 風 北尾政美
- 岩井杜若 大阪土産 萬象亭 勝川春英
- 落福笑玉手箱袋入 北尾重政
- 下戸上戸いろは短歌同 北尾政美
- 助六利生はなま三 同 書
- 隅田川土手の青柳三 同 書
- 名響鐘龍頭二 同 書
- 化物通言の寐言二 同 書
- 通人辯物語 鳥居清長
- 蜀魂三津啼 勝川春章
- 化物會我物語
- 天明三年出版
- 悪稜正直會我三 戀川春町 自 書
- 金山寺大黒傳記三 同 作自 書
- 廓篋費字盡三 同 作自 書
- 節季夜行三 同 作自 書
- 通言神代卷三 同 作自 書
- 吉原大通會三 同 作自 書

○大通天王 誤歎火和切 三 明誠堂喜三二 北尾重政
 ○野暮親王 三太郎天上廻二 同 作同 書
 ○當時通人 三太郎天上廻二 同 作同 書
 ○長生見度記 三 同 作戀川春町
名作二十三部の内、春町作の補無益委記を模せしものなり
 ○野暮大臣南廓遊 二 文 溪 堂 勝川春潮
 ○龜屋萬年浦鳥ノ榮 二 深川錦鱗 戀川春町
 ○戀名用文章 二 同 作同 書
外題には春町作とせり、原本見れば知らず
 ○寶船福之正夢 二 戀川春町 自 書
 ○仇名草伊達を下谷 三 南陀伽紫蘭 北尾政美
 ○本所二十四孝 三 市場通笑 同 書
 ○富貴 牡丹餅棚有三 同 作北尾政美
 ○有天 牡丹餅棚有三 同 作北尾政美
 ○新 今年 咄 三 同 作同 書
 ○願ほどき小豆餅 二 同 作同 書
 ○大食壽命爲 三 同 作同 書
 ○七夕姫戀玉章 同 作同 書
 ○文月さしけ烟 同 作同 書
 ○間違狐の女郎買 二 市場通笑 鳥居清長
 ○ないぞ 金持會我 袋入 同 作同 書
 ○縦筒放唐ノ嘶 三 同 作同 書
 ○教訓不仕候 同 作
通笑の作多く教訓的なるより教訓の通笑と譯名せしといふ、此作はそれを洒落たるなり
 ○現金猿が餅 二 同 作北尾重政
 ○能息子内ノ榮 三 同 作同 書
 ○富士 二人孝行 三 同 作同 書
 ○筑波 最々古和以嘶 二 同 作北尾政美
 ○諸事此様物 三 同 作
 ○千里走虎の子欲 二 同 作鳥居清長
 ○化物仲間別 二 伊庭可笑 北尾重政
 ○御先辯下手横好 三 同 作北尾政美
 ○早速具三右衛門 三 同 作同 書
 ○通人 寶 盡 三 同 作
料理 献立 頭天々口有 三四方山人 勝川春潮

○種風小 譽 角力 二 四方山人 勝川春潮
 ○野之助 返々目出度春參 三 同 作同 書
 ○壽鹽商婚禮 二 同 作北尾政美
 ○源平總勘定 三 同 作北川歌麿
右通 體而 啞多雁取帳 三 奈蒔野馬鹿人 同 書
名作二十三部の内
 ○混雜武者くしゃ咄 三 芝 全 交 北尾政美
 ○珍茶羅毛通人 三 同 作鳥居清長
 ○鐘は上野哉 山東京傳 自 書
 ○客人 女郎 同 作自 書
難波の通人 江戸の野暮 二 芝 全 交 北尾政美
 ○草双紙年代記 二 櫻川杜芳 同 書
三馬作の神史歴代記は、これを模倣せしものなり
 ○通春歳 且開 三 同 作同 書
 ○新例矢口之渡 三 同 作同 書
 ○仲の町晝見草 三 同 作北尾政美
 ○放遊 日本多左衛門 三 同 作北尾政美
 ○年中故事附録 三 櫻川杜芳
 ○三升圓 能き、升 二 同 作北尾政美
 ○市川三升圓後編 二 同 作北尾政美
岸田杜芳とあるも櫻川と同人なり
 ○飛田高慢はなし 三 豐 里 舟 鳥居清長
 ○舞謠草紙の曙 三 同 作同 書
 ○かんなんの夢枕 二 同 作同 書
 ○讀と歌通の一字 二 業 平 艶 美 北尾政美
在平艶美と同人なり
 ○千歳 御舟の吉例 二 與の東雲齋 同 書
 ○萬歳 華都末廣扇 無中點 作 勝川春道
 ○下手ナ辨永物語 二 井久治茂内
 ○遊君 是男度比女 鎌 好
 ○敵討三味線由來 三 南仙笑楚滿人 北尾政美
 ○新錢戲樂通寶 二 同 作同 書
 ○櫻草野邊錦 三 六樹園飯盛 勝川春林
 ○客坊客寝取 二 隣 生 戀川春町

- 立歸猿人真似三 蝸牛坊屯卜
- 金平に仕合奈孝行三 春 卯
- 紅葉雛形 雀千聲 杜
- 能魂膽氣三 新四方山人門人 杜 勝川春林
- 吾妻花妓女鑑
- 天の川
- 八卯夜の夢
- 落嘶玉の春二 北尾政美
- 化物山加羅佐登二
- 咸陽宮通約束二 勝川春朝
- 兄弟大通榮二 北尾政美
- 御無文字片沓嘶二 同 書
- 作意妖恐懼感心三
- 下總國八幡不知三
- 姿見淺茅原二
- 通人講釋

- 今開花の御帳三
- 天明四年出版
- 吉備能日本智恵三 戀川春町 自 書
- 其昔龍神嘶二 同 作 自 書
- 萬歲集狂歌來歴二 同 作 自 書
- 太平記萬八講釋三 明誠堂喜三二 北尾重政
- 飲中八人前三 市場通笑 鳥居清長
- 骨髓芝居好二 同 作 勝川春英
- 忠臣藏十二段目二 同 作 同 書
- 諸事世話無會我二 同 作 北尾政美
- 正說河童咒三 同 作 北尾重政
- 怪物晝夜軒二 同 作 鳥居清長
- 龜遊書草紙二 同 作 北尾重政
- 天慶和句文二 山東京傳 自 書
- 不案配即席料理三 同 作 自 書
- 惡癖莫言穴三 市場通笑

- 料理献立頂邊春有二 四方山人 勝川春潮
- 再見二度の賭三 同 作 喜多川歌麿
- 源平總勘定の改題
- 此奴和日本二 同 作 北尾政美
- 新親動性桃太郎三 芝 全 交 鳥居清長
- 閻羅三茶替三 同 作 北尾重政
- 跡目論嘘實記三 櫻川杜芳 北尾政演
- 狂言好野暮大名三 同 作 北尾政美
- 夫從以來記三 竹杖爲輕 喜多川歌麿
- 萬象亭戲作濫觴三 同 作 北尾政美
- 嘘無誠一卷二 同 作 北尾政演
- 全盛大通記三 櫻川杜芳 同 書
- 化物家、髭松明二 南仙笑楚滿人 北尾重政
- 天光地潜地探 同 作 自 書

- 混雜不通太傳記三 幾治茂内 勝川春旭
- 化物七段目二 同 作 鳥居清長
- 髪手本通人藏三 里 山 北尾政美
- 鞍馬天狗三略卷三 邦 杏 李 勝川春道
- 當世諺問答 同 作 同
- 末世誰不通太傳記二 同 作 勝川春朝
- 八橋調能流三 南仙笑楚滿人 北尾政美
- 三通金持容氣三 二本坊鶴志藝 同 書
- 馬鹿那水犬傳二 同 作 同 書
- 新米提薩業 同 作 同
- 花春出世十二支 同 作 同
- 通世界二代浦島二 同 作 同 書
- 他不知思染井二 黑 爲式部 喜多川歌麿

京傳の妹なり、戯作者撰集には此作の外三國一大通本地をも式部の作となせど誤にして此作一部なり

- 大千世界牆の外二 唐來三和 北尾重政
- 新田通戰記二紀 定丸 喜多川歌麿
- 展且惠方道 藤原仲貫序 北尾政美
- こさい夜ガ蜚星の世界二 忍岡常丸 鎌好
- 大江山大通山入 袋入鍋 町春 童
- 一の富見得夢三 北尾政演
- 出雲皿屋舖 勝川春朗
- 運開扇花香二 北尾政美
- 江戸花名書巻 北尾政美
- 復讐二本松四
- 假名手本忠臣藏 新作 笑 上戸 蘭德齋春童
- 新建也龜藏三 小田館竹 勝川春道
- の地藏 出世太平記五 同
- 徳本養老瀧三 同

○大黒工富來福神三 本朝蔵入始と改題

- 本朝蔵入始三 同
- 桃太郎二度掛 鎌倉 燒飯の由來 親王 同
- 卯會我實同姉妹 同
- 金平一の富 鳥居清長
- 嘘八百温故新知二 千代女
- 金平子供遊二 北尾政美
- 孤令 嗟鳴御開帳二 同
- 今萬 歳ノ島臺三 黄山自惚 同
- 天明五年出版
- 大通箱入之疳癩 袋入 戀川春町 自
- 爺山草刈 曳繩大通話三 明誠喜三二 喜多川行麿
- 婆川洗滌 氣散次夢物語 袋入 同
- 鮎入道佃沖 同 作 喜多川歌麿
- 新建立 天道大福帳三 同 作 北尾政美

蘭德齋春童

○向島佐々木久助 袋入 明誠堂喜三二 喜多川行麿

- 水と 通和者交三 市場通笑 作 勝川春英
- 手毬歌古事來歴三 同 作 北尾政美
- 通_レ鴛奢半勘三 同 作 同
- 無物喰狐罽入三 同 作 同
- 二度生堀出物三 同 作 勝川春英
- 千秋樂下司_レ囃二 同 作 同
- 全盛 俠中俠惡言鯨骨 袋入 山東京傳 自
- 全盛 廓中丁子二 同 作 自
- 全盛 江戸生艶氣蒲燒三 同 作 自
- 酒落木的の趣向大に當り、世人半可通を呼ぶに卷中の主人公體次耶の名を以てせり、又主人公の鼻を低く齧けるより京傳鼻の稱起り爾來京傳の作には自像の鼻を低く齧けり、酒落木の通言總體はこの續篇ともいふべきなり
- 天地人三階圖繪 袋入 同 作 自
- 三國 無句線香三 同 作 自
- 八被般若角文字 袋入 同 作 自
- 意同 御富興行會我三 けいこ 北尾重政

京傳の假名なり

- 御手料理 大悲千餘本 一 芝 全 交 北尾政演
- 御知而已 名作二十三部の内、此書大に行はれ板本を摺つぷしたりといふ、原本稀にして維新際關宿の某一部を秘藏しけるを下谷の藏書家之を開き譲受けんとて同所に至り懇望せしも金銭にては譲り難しといふまゝ、緒メの珊瑚珠をはづし漸く承諾を得しといふ、後待買堂借寫して再板せしも多く摺らざりしかは今はこれ稀なり、附記再板本は殆ど瓦板の如き粗悪なるものなれば一目瞭然たるべし
- 傾城異談 馬鹿文育圖彙三 同 作 北尾重政
- 飛多怪物 流行七福參三 四方山人 勝川春潮
- 千崎 早野 殺鐵炮桃灯具羅 一 竹杖爲輕 北尾政演
- 早野 間似合嘘言會我三 蓬萊山人 鳥居清長
- 全體 呼子鳥名彭祖三 與の東雲 北尾政美
- 平氣 賴光邪魔入 一 唐來三和 同
- 積から和(手)を八(香)を芥(川)を二(しつ)引(世)二(入)カ(チ)ナ(ル)キ 切莫根自金生木三 同 作 千代女
- 切莫根自金生木 名作二十三部の内、廻文の外題大に當る
- 雙紙五膝夢 一同 作

- 親讓鼻高名三雀 千聲 群馬 亭
- 金持 容氣 二本坊鶴志藝 北尾政美
- 之利安賣鋸商内二懸川好町千代女
好町は狂歌堂眞顔の戯談にして、これは其初作なり
- 四牒半飛分茶人 一同 作
- 寶山金銀敵討 一同 作自 畫
- この子長者飯食三 一同 作 喜多川歌麿
- 梅花ありは乞目一 一同 作
- 金太郎昔々断問屋三 一同 作
- 延操當字清書一 一同 作 北尾政美
- 嘘皮初音鼓袋入櫻川杜芳
- 於津那事 二水山人柳 郊
- 山女相撲濫觴三 吉田魯芳 北尾政美
- 鬼通意嘘島物語三 録山人信紺 旭 光
- 星月夜坊主道行二 一同 作 畫
- 如歌人眞似道成寺三 鳴瀧山人 北尾政美
- 大通成茲止二 二水山人 式上亭柳郊
- 馬鹿道笑双六三 全交門人 芝 甘 交 鳥居清長
- 寶買乎親々胸性能三 ウツリカウマリヤチヤトウセウ 北尾政美
- 怨念宇治燈火二 勝川春朗
- 新義經細見蝦夷一
- 其由来光德寺門二
- 爲朝飛島巡二 勝川春旭
- 七轉八起小町
- 百鬼夜講化物語
- 讀見三十一文字二
- 故事附杜撰徒物語三 夢中夢助 勝 花
- 天明六年出版
- 上洲七小町一 明誠堂喜三二 北尾政美
- 御物茶茶白藝三 市場通笑 勝川春英
- 大昔野暮人時分三 一同 作 北尾政美
- 教訓持病痒袋入 一同 作 勝川春英
- 心鞭走生孫三 一同 作 北尾重政
- 御承知猫杓子二 一同 作 畫

- 中しわみの紐三 市場通笑 北尾政美
- 可然苦者樂種二 一同 作 北尾重政
- 善惡正札所三 一同 作 畫
- 通人外仙人通三 一同 作 畫
- 鹿相千萬豕輕業三 一同 作 勝川春英
- 人面疔膝共談合二 一同 作 北尾政美
- 一ツ星大福長者三 一同 作 畫
- 後太郎天上見物と改題
- 無據五人道行三 一同 作 畫
- 契情誠世々晦日月三 一同 作 鳥居清長
- 卯四角世々々々三 一同 作 勝川春朗
- 二一天作二進二十三 一同 作 畫
- 惡七變目景清三 山東京傳 自 畫
- 江戸春一夜千兩三 一同 作 畫
- 御兩國信田染二 けいこ 北尾政演
- 東都銅訛天神記 伊庭可笑
- 手練偽なし袋入 四方山人 北尾政美
- 阿房者寢待同竹杖爲輕
- 大笑止老毛の鐘入二 竹杖爲輕 北尾政美
此册子繪甚古し古版を再摺せしもの歟
- 景清塔の眠二 一同 作 北尾政演
- 七福神伊達船遊三 萬象 亭 北尾政美
- 四天王荆棘鬼嘶一 一同 作
- 無束話親玉一 一同 作 歌川豊國
嘶錦繪長崎強飯と外題改
- 白木屋もいんざい一 一同 作
- 假名本混會我一 一同 作 北尾政美
- 壁と見た細見之御太刀三 蓬萊山人 北尾重政
- 大江山二期榮三 飛田琴太 古川三蝶
後見越丹波城跡と改題す
- 高砂屋尾上傘二 市場通笑 北尾重政
- 首尾の松平假名盛通記二 櫻川杜芳 古川三蝶
- 當字指南所三 一同 作 北尾政演
- 片言紺屋話化語三 古川三蝶 自 畫
- 古文紺屋話化語三 古川三蝶 自 畫
- 總角繪二印籠二 一同 作 畫

○西 化草摸紋化話 古川三蝶自 畫
 ○腹中掃除五臟夢二 同 作自 畫
○葉山事 昔々相生松三
 ○鳩八幡豆兼德利二 戀川好町自 畫
 ○持來糠長目一 同 作北尾政美 畫
○天狗一人 夢自慢童龍神錄
 ○幾千代二十四五三 半 同 作北尾重政 畫
○弓削 愈高鼻皇都 邦 杏 李 蘭 德 齋
 ○落 咄 笑 男 伊 之 助 北 尾 政 美
 ○敵討浮木の龜山五 薛 羅 館 北 尾 政 美
○さん 婦げんき一 石 山 人
○夢物語 去程二 借其後三 唐 來 三 和 北 尾 政 美
 ○前々太平記五 自惚黃山人 勝川春朗
 ○大々太平記五 芝 全 交 北 尾 重 政
 ○通言武者揃三 雀 千 聲 蘭 德 齋
 ○積孝雪振袖三 唐 來 三 和 北 尾 政 演
○東産 通町御江戸鼻筋三

又繰返麗示物語と改題
 ○太印天上見物三 半 片 勝川春英
一ツ星大福長者の改題なり
 ○蛇腹紋原の仲町二 白 雪 紅 群 馬 亭
四方山人門
 ○四人諧律義八片三 榎 雨 露 住 北 尾 政 美
 ○我家樂之鎌倉山二 群 馬 亭 自 畫
 ○大 佛 左 捻 袋 入 白 山 人
袋入の表紙藍摺なりしが此頃より茶表紙に一變す
 ○嘘實説故郷錦
巻中の繪甚古し再摺物歟
 ○奥若女意真雅話
 ○化物一代記五 烏 居 清 長
○天明七年出版
 ○三筋緯容植氣田三 山 東 京 傳 自 畫
ミナトセニナルトイラハバ
 ○三千歳成云刺蛇二 同 作 自 畫
○百文カ 骨 牌 三 同 作 自 畫
○見たき 化物樂屋異蝶二 雞 告 北 尾 政 美

○葉手嫌忌子ノ好々二 雞 告 北 尾 政 美
 ○龜山人家妖三 明誠堂喜三二 北 尾 重 政
此冊子に喜三二の肖像あり眞にせまるといふ、當時作者自家の事を草紙につゝる事行はる萬象亭の戲作遊鷹は此種の始なるべし
 ○芝全交が智恵ノ程二 芝 全 交 北 尾 政 演
 ○艶男其處此處三 萬 象 亭 烏 居 清 長
○嘶錦給從長崎強飯一 森羅亭萬象 歌川豊國
月池門人とあり二世萬象歟
 ○是語 御 喰 争 三 櫻 川 杜 芳 北 尾 政 美
 ○色男十人三文三 同 作 同 畫
○親分 御目川太平樂二 同 作 同 畫
○子分
 ○敵討南枝花二 同 作 同 畫
○假名手木不通人藏二 同 作 北 尾 政 演
○出世蜜茶太平記二 同 作 同 畫
○面而 御 年 玉 二 萬 象 亭 式 上 亭 柳 郊
○不背
 ○今昔萬歳の島臺三 與の東雲齋 北 尾 政 美
 ○現金青本通三 芝 甘 交 同 畫

○宇治 古渡日記帳三 南 仙 笑 楚 滿 人 北 尾 政 美
 ○茶かぶき茶ノ目余二 芝 全 交 北 尾 政 演
 ○日本一阿房の鑑 戀 川 好 町
 ○陰徳兩方吉事計袋入 七 珍 萬 寶 歌 川 豊 國
 ○おとし 咄 同 三 陀 羅 法 師
 ○今度唐織會我三 戀 川 行 町 北 尾 政 美
○戀種 是ハ氣儘ノ作種二 物 蒙 堂 禮 北 尾 政 演
石山人
 ○世の中諸事天文三 同 作 同 畫
 ○島臺眼ノ正月三 社 樂 齋 萬 理 同 畫
○自笑聯合 正札附息貫三 唐 來 三 和 北 尾 政 美
○本八文字
○夫楠木 太平記一 鶴 一 齋 雀 千 聲 勝 川 春 道
○是朽木
○津津宇那門成三 稻 坊
○増習 酒 佐 字 袋 入 萬 象 亭 龜 歌 川 豊 國
○新作 德 治 傳 二 泉 昌 有 自 畫
○落咄
 ○古道具穴掃除三 虛 空 山 人 龍 向 齋
 ○昔咄稚種軍談四 井 久 治 茂 内
 ○天明八年出版

○孔子縞于時藍染三 山東京傳自 書
 ○其旬 眞實情文櫻三 同 作自 書
 ○早道節用守三 同 作自 書
早道守傳來ともあり
 ○花ノ東頼朝公御入二 同 作自 書
 ○三河島御不動記二 同 作自 書
 ○三國 面光不背釜三 同 告北尾重政 書
 ○傳來 交見世八人一坐三 同 作同 書
 ○利生 交見世八人一坐三 同 作同 書
 ○三升艾 江戸花俳優最良三 同 作同 書
 ○路考艾 江戸花俳優最良三 同 作同 書
 ○蛤鳴呼辛氣樓二 一喜橋三二序蘭德齋
二世喜三三の假號なり、三橋に住する故三橋喜三ともいふ
 ○大千世界變人藏二 三橋喜三二春 泉
地獄二日月助略縁起二
 ○平治 太平記三 市場通笑 齋
 ○冠言葉七目廷記三 唐來三和 喜多川歌麿
 ○天下一面鏡梅鉢三 同 作長 喜

名作二十三部の内、これも大に當り文武二道といふに三月頃迄市中を賣あるきしといふ
 ○カクノ山 芝 全 交北尾政美
下細説 拜壽仁王參二 同 作同 書
名作二十三部の内、碑文谷開朝の戯作、京傳、琴好にも作あれど當りなとりしは、この仁王參なり
 ○親之敵現歎夢也三 同 作式上亭柳郊
 ○福來留笑顔門松二 市場通笑 戀川春町
 ○十千萬兩貨殖金三 深川錦鱗 蘭德齋
高学 芋 世 中 二 内 新 好 佐 脇 英 之
 ○嘘無箱根先二 七珍萬寶 歌川豊國
 ○大笑止浮氣鍾入三 同 作同 書
 ○御最負他三升二 櫻川慈悲成 同 書
 ○持來併者併屋二 同 作同 書
 ○此文谷はなし袋入 心部琴好長 喜
世直大明神 金塚の由來 黒白水鏡二 同 作北尾政演
此冊子は佐野田沼の事を綴りしものなれば忽絶板となり作者は手紙の上江戸拂となり、畫工其他過料申付らる
 ○武者執行押強者三 櫻川杜芳 歌川豊國

○咄御躰之煮花二 莞津喜笑顔
 ○大平權現鎮坐ノ初三 伐木丁々 蘭德齋
本のめはる用よと 世もねは御なくさか茶平長三
 ○臭氣麻旅倉榮三 戀川行町 北尾政美
無垢 結黄金肌着八丈三 柿 發 齋 北尾政美
世界 新米牽頭持三 清 遊 軒 同 書
新米 酒間 上手二 千代女
 ○流行謠混雜唱歌二 美足齋象睡 勝川春朗
 ○眞似手本小人藏三 同 作 毛
 ○妙智力繁花鉢木二 傳樂山人 勝川春章
 ○世中承知重忠二 和歌林泉 歌川豊國
 ○咄爐開嘶口切二 浮世伊之助 喜多川歌麿
 ○繪本武者揃二 同 作 喜多川歌麿
かち かる かつたいはなま二
 ○敵討御花短冊二 同 作 喜多川歌麿
 ○源平英筆記三 同 作 喜多川歌麿
 ○百福茶大年嘶三 同 作 喜多川歌麿

○桃太郎昔日記三 北尾政美
 ○六歌仙虚實ノ添削三 勝川春朗
 ○新建哉龜藏二 蘭德齋春童
 ○大黒來福神三 勝川春英
寛政二年出版
 ○即席耳學問三 市場通笑 北屋重政
 ○忠孝遊仕事三 同 作 喜多川歌麿
地極 一面照子淨頗梨三 山東京傳自 書
京傳浮世の醉醒三 同 作 龜 毛
孔子傳 監返行義段三 同 作同 書
太平記 吾妻鏡 玉磨青砥鏡二 同 作 喜多川歌麿
怪談 花ハ芳野犬班二 同 作自 書
 ○冷哉汲立清水記三 同 作自 書
 ○福種笑門松二 同 作 喜多川歌麿
奇々雑金雞の改題再摺なり
 ○山鴉鳩蹴轉破瓜三 同 作 北尾政美
 ○大極上 心學早染草三 同 作同 書

曲亭馬琴の初作なり

- 天路宮 敵討道々巡三 夜道久良記
- 純友勢入船二 蘭 德 齋 自 書
- 有職鎌倉山三 同 作 自 書
- 右衛門 眞頼親老仇浪二 芝 深 交 歌川豊國
- 開 十二支春之友二 喜 玉
- 餅好酒香何之鶴目附二 北尾政美
- 龍宮洗 宇蟬之由來二 勝川春朗
- 道 北條五代記三 春 童
- 將門冠初雪三
- 宮柱七福對二
- 落笑 書 拔二
- 金銀太平記二 荒金土生 櫻 文 橋
- 財々 比來降涌金三 秋 新 好 冬 藏 序
- 寛政四年出版
- 御前生 女將門七人化粧二 山 東 京 傳 北尾政美
- 霞之隅春朝日奈二 同 作 北尾重政
- 實語教幼稚講釋三 山 東 京 傳 北尾政美
- 天剛垂楊柳三 同 作 同 書
- 昔 桃太郎發端話説三 同 作 同 書
- 梁山一步談三 同 作 北尾重政
- 怪物徒々草二 同 作 同 書
- 唯 鬼 打 豆三 同 作 蘭 德 齋
- 浮世操九面十面三 芝 全 交 歌川豊國
- 形容化 鼻下長物語三 同 作 北尾重政
- 景摩助 鼻下長物語三 同 作 北尾重政
- 名作二十三部の内
- 優長源氏物語晰三 唐 來 三 和 同 書
- 果報 物草太郎月二 同 作 同 書
- 於昔今南樓通臣三 櫻川杜芳 鳥居清長
- 戀女房染分茶番三 櫻川慈悲成 歌川豊國
- 御存知化物二 同 作 同 書
- 夏祭團七稿三 同 作 同 書
- 源平軍物語三 南仙笑楚滿人 北尾政美
- 秘頼政名歌芝三 同 作 同 書

百五十

○新春花作者の再喚二 森羅亭萬寶 勝川春英

其返報豊年賞袋入一冊の改題新板なり

- 軍略深雪武田菱三 樹下石上
- 花春 虱道行 馬 琴
- 女莊子胡蝶夢魂一 黒 木
- 爲恐肝心堪忍袋三 見 得 坊
- 孝 蒲公英小徑三 武光散人
- 天神七代記前三 同 作
- 眞素民農鏡後三 信夫彦彦
- 名木二代鑑三 井上勝町 自 書
- 享和三年に色見草浮世頭木と改題
- 一心土手紅葉三 勝川春常
- 假名手本忠臣藏五 勝川春英
- 士怪 談 話三 菊 舟
- 山入桃太郎昔話三
- 阿部晴明一代記五
- 神傳路考油二 氣象天業 歌川豊國

○天神川 鶴千兩萬萬兩三

○寛政五年出版

- 心 櫻川慈悲成 善玉三 山 東 京 傳 北尾重政
- 小人 國 殿 櫻二 同 作 同 書
- 阜下旬蟲干曾我三 同 作 同 書
- 安土の御前 新巻巻道中助六三 同 作 鳥居清長
- 油島 龍宮頼鉢木三 同 作 北尾重政
- 太郎 龍宮頼鉢木三 同 作 同 書
- 花笑七福參詣二 同 作 同 書
- 九段四段 四人詰南品傀儡三 同 作 同 書
- 福徳果報兵衛傳三 同 作 同 書
- おのの木の先開梅之赤木三 同 作 同 書
- 正木伊地 宿昔語筆操二 同 作 北尾政美
- 胡麻入 宿昔語筆操二 同 作 北尾政美
- 胡麻入 宿昔語筆操二 同 作 北尾政美
- 十四傾城腹之内三 同 作 北尾重政
- 名作二十三部の内
- 今日 尻探御用心二 同 作 同 書
- 廿八日 尻探御用心二 同 作 歌川豊國

北尾政美

○染相性男女占於三芝 全 交 歌川豊國
 ○年寄冷水會我三 同 南仙笑楚滿人 勝川春英
 ○刈萱染衣日記三 同 作 同 書
 ○二代大中黒二 同 作 同 書
 ○文覺一代記五 同 作 歌川豊國
 ○忠臣蔵人唯一心命三 唐來三和 傲勝春英 根津優婆塞
 ○再會親子錢獨樂三 同 作 北尾重政
 ○猿の尻金平午房二 櫻川慈悲成 歌川豊國
 ○敵役 朝比奈茶番會我三 同 作 同 書
 ○酒の左の字は 七人上戸二 同 作 同 書
 ○變化物春遊二 同 作 同 書
 ○絲瓜皮歌袋二 同 作 同 書
 ○大仕掛三界會我三 鹿杖山人 同 書
 ○狂歌堂真願の戯説なり
 ○咄青樓育咄雀二 桃栗山人 作 歌川豊國
 ○親玉天狗磯原江戸子三 同 作 同 書
 ○將英指揮太平記三 新羅亭萬寶 同 書

○茶成捧茶番狂言二 新羅亭萬寶 歌川豊國
 ○夫者七小町馬鹿功二 同 作 勝川春英
 ○是者鹿子町 同 作 同 書
 ○日永話御伽古狀三 同 作 同 書
 ○昔話銚子濱三 同 作 歌川豊國
 ○頼朝 六通半畧卷三 同 作 勝川春英
 ○市土産於多福神二 樹下石上 自 書
 ○萬福長者傳三 同 作 同 書
 ○鼠子婚禮塵劫記三 曲亭馬琴 序 歌川豊國
 ○荒山水天狗鼻祖三 同 作 同 書
 ○浮世 御茶漬十二因縁三 同 作 勝川春英
 ○街道 登坂寶山道三 無馬琴 序 北尾重政
 ○増補 登坂寶山道三 無馬琴 序 北尾重政
 ○作者無名子とあれど馬琴の匿名なり、楊柳一腰の後編なり
 ○花より団子食氣物語三 曲亭馬琴 序 同 書
 ○徳次どうげ百人一首三 戀川好町 歌川豊國
 ○紺丹手織縞三 畑 芋 助 同 書
 ○十二神樂稚業三 發田芋助 北尾重政
 ○發田、畑とも同人なり

○大佛餅東大佛機名所 白山人可候 自 書
 ○畫工北齋の戯説なり

○智恵次第箱根詰二 渡道 船草 樹序 勝川春朗
 ○奈瓦大佛江戸見物袋入 虛 呂 利 同 書
 ○身爲着寶洪福二 萬陽 陽明 琴 鶴 成 序 北尾政美
 ○銘正夢揚柳一腰三 無馬琴 序 北尾政美
 ○こは寶山道の前編なり
 ○歌ノ化物一寺再興二 勝川春英
 ○音聞七種嘶三 同 同 書
 ○お目さし出世角松二 同 同 書
 ○酒田遊氣酒夢二 同 同 書
 ○寛政六年出版
 ○忠臣蔵世界幕無三 山東京傳 北尾重政
 ○忠臣蔵即席料理三 同 作 同 書
 ○榮花夢 先生道花夢三 同 作 同 書
 ○後日談 金々先生道花夢三 同 作 同 書
 ○三樹太夫七人娘 同 作 同 書
 ○根無草筆 萩三 同 作 同 書

○大福長者藏三 同 作 同 書
 ○旨趣向棚牡丹餅二 樹下石上 北尾政美
 ○第一人首戲講釋三 京傳 交 遺 作 同 書
 ○鉢冠物がたり三 同 作 同 書
 ○第一御徳用物語三 同 作 同 書
 ○敵討伊吾廿卷二 同 作 同 書
 ○鎌倉頼多意氣二 同 作 同 書
 ○繪本阿房袋二 櫻川慈悲成 歌川豊國
 ○場戲嘉話古手返三 古川三蝶 自 書
 ○竹齋老實山吹色三 築地善交 北尾重政
 ○竹林爲輕、築地善交は萬象亭の戯説なり
 ○全交法師常々草三 芝全交遺稿 同 書
 ○忠兵衛 大道具備無三 唐來三和 歌川豊國
 ○御馴染花咲祖父三 市場通笑 同 書
 ○馬鹿 親々道成寺二 竹杖爲輕 北尾政美
 ○竹齋老實山吹色三 築地善交 北尾重政
 ○大佛餅東大佛機名所 白山人可候 自 書
 ○畫工北齋の戯説なり

- 百福壽老人二 樹下石上 北尾政美
- 揚屋町伊達豆腐屋三 戀川好町 歌川豊國
- 工面壁觀師大通三 森羅亭 北尾政美
- 風流芝全交腹内一 芝山人 虛呂利
- 仙傳趣向氣工二 千差萬別 同 書
- 秘法黃金なる木心の繼礎三 虛呂利 長喜
- 福壽海無量品玉三 曲亭馬琴 勝川春朗
- 天道浮世出星操三 式亭三馬 歌川豊國
- 三馬初作なり
- 人間一心視替操二 同 作 同 書
- 視見噓節穴二 本膳亭坪平 勝川春朗
- 氣木二 同 書
- 源平布引瀧三 勝川春英
- 源平布引 旭立幼源氏二 同 書
- 小人七々里富貴二 勝川春朗
- 春遊相場將門二 同 書
- 寛政七年出版
- 貧福兩道中之記三 山東京傳 勝川春朗
- 善惡邪正大勘定三 唐來三和 北尾重政
- 内辨慶勘忍帳三 櫻川慈悲成 歌川豊國
- 増山椒太夫物語二 同 作 同 書
- 武世界手前清赤穂醜二 同 作 勝川春朗
- 忠臣蔵
- 古手妻品玉手箱二 同 作 歌川豊國
- 増八世昔料理理吹物二 同 作 同 書
- 桃太郎大江山入三 同 作 同 書
- 嫁入相長持二 同 作 同 書
- 大昔化物草紙二 同 作 同 書
- 桃食三人子寶噺二 市場通笑 長喜
- 敵討義女英三 南仙笑楚滿人 歌川豊國
- 前に敵討三味線由来を著せしよままでの好評なかりしが、此作
出て、大に行はれ年々敵討物多く出て遂に文化に至り敵討物の
外なき様になれり、楚滿人を世に敵討の中興の祖といふもこれ
が爲なり
- 昔怪談心學睡莊子三 曲亭馬琴 北尾重政

- 外郎相洲小田原相談三 築地善交 北尾重政
- 早言浮草雙紙洗小町三 戀川春町 長喜
- 兼讀草紙在々身成金言三 同 作 北尾重政
- 草双紙
- 心學時計草三 十返舎一九 自 書
- 一九初作、六樹園の求により作りしといふ
- 新鑄小判噺三 同 作 自 書
- 奇妙頂禮胎錫杖三 同 作 自 書
- 四季山人 歌川豊國
- 四季山人は三馬の別號なり、後編寛政八年出版す、又云この書
天保年中再版して五冊となし國貞齋にて新版發せり
- 才布の紐まわみうせ樂三 本膳亭坪平 勝川春朗
- 根無草會我和物三 笑丸 長喜
- 怪物つれく雜談二 黃龜 細田榮之
- 花笑顔相指南枝三 森羅亭萬寶 北尾政美
- 萬歲諷諸神柱立三 同 作 二世春町
- 落咄百轉袋入
- かるかや一
- 壽鼠嫁入二 長喜
- 弘法大師御本地一 同 書
- 子敦盛一 同 書
- 德若水縁起金性三 同 書
- 咄和賀笑美壽
- 寛政八年出版
- 諺下司話説三 山東京傳 北尾重政
- 人心鏡寫繪三 同 作 同 書
- 酒神鬼殺心角樽三 同 作 同 書
- 朝比奈御毘の座二 櫻川慈悲成 勝川春朗
- 増補執柄太郎三 南仙笑楚滿人 歌川豊國
- 堪忍五兩金言語三 曲亭馬琴 同 書
- 報響癩狂尾三 同 作 北尾重政
- 曲亭増補萬八傳二 同 作 同 書
- 四遍摺心學双紙三 同 作 北尾政美
- 小雷雨見越松株三 同 作 北尾重政
- 黒田川柳禿筆二 同 作 同 書

○常盤國風土記二 築地善交 北尾重政
○中華手本唐人藏三 同 作同 書
○多來福萬兩分限二 樹下石上 歌川豐國
○怪家内奇狐狸二 春道草樹 同 書
○笑鬪戰梅魁二 笑丸 同 書
○泉岳寺開帳詣笑南枝一 鳴呂利 同 書
○歌等功雀功名二 寶倉 主同 書
○怪談筆始二十返舍一九自 書
○御詠向鼠嫁入二 同 作自 書
○垣覗本草盲目三 同 作自 書
○替錢通用壽語錄二 同 作自 書
○落風の神二 同 作自 書
○御膳淺草法二 同 作自 書
○再興 文化九年再版
○櫻會入雲鳥二 同 作自 書
○初登山手習方帖三 同 作自 書
○擲打變術卷三 同 作自 書
○信有奇怪會二十返舍一九自 書
○鴛油浚搆三 同 作自 書
○物年中行狀記二 同 作自 書
○化物小遣帳二 同 作自 書
○初日影七福郎生二 同 作自 書
○早野勘平若氣誤二 同 作自 書
○蟲看鑑野邊若草三 同 作自 書
○油斷敵藥功能書二 同 作自 書
○浮世袋錢箱一 同 作自 書
○御子持方怪席料理獻立三 望月窓輔 北尾政美
○樂山人馬笑 歌川豐國
○昔語狐娶入三 桃々道景則 北尾重政
○嗚呼可笑糞分類 同 北尾政美
○淺草寺廻一家裏二 同 北尾政美
○胡慮々々笑春山 同 北尾政美
○白石話後編 同 歌川豐國
○兵夫酒醜榮二 同 歌川豐國

○星兜八聲凱二 同 作自 書
○青海波龍宮三十返舍一九自 書
○千里一勿勇天邊三 同 作自 書
○寛政九年出版
○虛生實草紙三 山東京傳 北尾重政
○三歲圖繪雅講釋三 同 作同 書
○正月故事談三 同 作自 書
○和莊兵衛後日話三 同 作自 書
○敵討姥捨山三 南仙笑楚滿人 歌川豐國
○今度者鬼息子二 同 作同 書
○三世相郎滿八算三 同 作同 書
○化物大閉口二 同 作同 書
○富士色板絞會我三 同 作同 書
○押強者何茂八文二 櫻川慈悲成 同 書
○三才智惠二 同 作同 書
○鹽賣文太郎物語三 同 作同 書
○福德壽五色目鏡二 同 作同 書
○安倍清兵衛一代八卦三 曲亭馬琴 北尾重政
○押繪烏痴漢高名二 同 作同 書
○無箆節用似字盡三 同 作同 書
○加古川本藏綱目二 同 作同 書
○楠正成軍慮智輪二 同 作同 書
○大黒糴黃金柱礎二 同 作同 書
○龍宮苦界玉手箱三 同 作同 書
○庭莊子珍物茶話二 同 作同 書
○北國巡禮唄方便三 同 作同 書
○武者合天狗俳諧二 同 評同 書
○彦山權現誓助劍五 傀 子 同 書
○擲師直開帳三十返舍一九自 書
○閑思獸世界二 同 作自 書
○家内安全鼠山入三 同 作自 書
○金生水拔幹二 同 作自 書
○けむ猪ふし三 同 作自 書

○諺東埔塞掌 <small>コトワザカサキ</small> 二十返舍 <small>ニ</small> 一 <small>九</small> 自 <small>一</small> 書 <small>一</small>	○壽金太郎月二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○太平記無禮講中三同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○千早振紙屑籠二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○釣戎水揚帳二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○忠臣店請狀二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○貨物見越松二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○花筐勇者命二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○花籠今昔狐夜咄 <small>三</small> 同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○時花壘拔井二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○玄猪節三同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○貧福水掛論三同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○風光花桂男三同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○落菰鱧藥二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○夜眼遠目笠の内三同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○嘘八百萬神一座二同 <small>二</small> 樂山人馬笑歌川豐國
○芝全交夢寓言三式亭三馬歌川豐國	○唯頼大悲智恵話三同 <small>三</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○親々唐本の寐言三同 <small>三</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○身體開帳略縁起三 <small>三</small> 唐九北尾重政	○猿茂延命龜萬歲一	○兒嘶舌切雀二	○和藤内三升若衆三	○和莊兵衛一代物語三	○一刻價萬兩回春三山東京傳北尾重政	○兒訓影繪喻三同 <small>三</small> 作 <small>鳥居清長</small> 書 <small>一</small>	○山崎道子傳凸凹話三同 <small>三</small> 作 <small>北尾重政</small> 書 <small>一</small>	○百化帖準擬本草三同 <small>三</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○化物和本草二同 <small>二</small> 作 <small>可</small> 書 <small>一</small>	○筆津蟲音禽二同 <small>二</small> 作 <small>北尾重政</small> 書 <small>一</small>	○素後壯雪信一全交遺作 <small>一</small> 北尾重政	○家内手本用心藏三唐來三和子與

○寛政十年出版

○會我物語嘘實錄三唐來三和北尾重政	○敵討柳下貞婦三南仙笑楚滿人歌川豐國	○一狂言狐書入二同 <small>二</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○百合若大臣多武眠二同 <small>二</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○坐蒲須臾之間方二戀川春町遺作北尾重政	○仙術須臾之間方二櫻川慈悲成歌川豐國	○黒手八丈理金生水二同 <small>二</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○長安二文字鬼角文字二同 <small>二</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○遠磨大通花見毛泥三同 <small>三</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○鑿實生木榮花鉢植三樹下石上同 <small>三</small> 書 <small>一</small>	○大雜書拔菱線組三曲亭馬琴北尾重政	○御慰忠臣藏之戎二同 <small>二</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○後字鹿相案文當字揃三同 <small>三</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○鼻下長生藥三同 <small>三</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○足利染拾遺雛形二同 <small>二</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○時代世話足利染三同 <small>三</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○憎補猿蟹合戰二同 <small>二</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○富井茶屋女道敷計三式亭三馬歌川豐國
○江戸其跡藤婆道成寺三式亭三馬歌川豐國	○腹鼓臍嘯物三同 <small>三</small> 作 <small>同</small> 書 <small>一</small>	○人面一生神伊知心照千三同 <small>三</small> 作 <small>北尾重政</small> 書 <small>一</small>	○一陽來伏帳二十返舍一 <small>九</small> 自 <small>一</small> 書 <small>一</small>	○價千金榮花夢相 <small>一</small> 同 <small>一</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○御徳用黄金草鞋二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○假名文章女忠臣二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○河童尻子玉三同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○河童尻子玉三同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○義光夜功珠五同 <small>五</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○雲上道中記三同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○前度往昔軍二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○前度往昔軍二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○十返舍戲作種本二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○尻擗御要慎三同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○忠臣星月夜二同 <small>二</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	○風宮出儘略縁起三同 <small>三</small> 作 <small>自</small> 書 <small>一</small>	

- 穿幹吹出笑三 橘香保留
- 指角力手管業物三 律 秋 堂 北尾美丸
- 金春徳和家隱居三 樹下石上 歌川豊國
- 敵打巖之松五 蘭 徳 齋
- 寛政十二年出版
- 口中の甘哉名利研三 山 東 京 傳 北尾重政
- 不盡鏡
- 平假名鏡神問答三 同 作 歌川豊國
- 夫は京 昔男意氣成平 二 窪 俊 滿
- 是は東 昔男意氣成平 二 窪 俊 滿
- 古版再摺
- 食言の大木三 櫻川慈悲成 歌川豊國
- 娘敵討扇銀面三 南仙笑楚滿人 同 書
- 二重緞子三徳平三 櫻川慈悲成 同 書
- 孝行白息子金持三 樹下石上 同 書
- 運次第出世縁組三 十返舎一九 自 書
- 白井權八 男達東錦繪 二 同 作 自 書
- 金松權八 男達東錦繪 二 同 作 自 書
- 大江山幾野紀行 二 同 作 自 書
- 同後 大江山物語三十返舎一九 自 書
- 白雨や田 開帳噺二 同 作 自 書
- 木下 薩狭間合戦前篇三 同 作 自 書
- 此縁唐有乎三 同 作 自 書
- 去御方の 権衆忠臣蔵三 同 作 自 書
- 御好に付
- 心學芋蛸汁三 同 作 自 書
- 出世鯉四方鯉水二 同 作 自 書
- 狭間合戦後編三 同 作 自 書
- 化物見世開二 同 作 自 書
- 貧福蜻蛉返二 同 作 自 書
- 昔話味縁熟三 同 作 自 書
- 文化十一年に金龜別山分限と改題再版
- 明眼千人盲仙術二 同 作 自 書
- 謀得世人情二 同 作 自 書
- 外題に道笑作と記せり、原本搜索せしも得ず、今は背本年表に從ふ
- 通過言 金世界捕獲二 虛呂利館美明 子 與
- 過志作
- 錢鑒貨寫書三 山 亭 馬 琴 北尾重政

- 警諭義理與禪禪三 曲 亭 馬 琴 北尾重政
- 胸人形肢體機關三 同 作 同 書
- 人間萬事賽翁馬三 同 作 同 書
- 花見話風盛衰記三 同 作 歌川豊國
- 備前摺盆一代記三 同 作 北尾重政
- 視藥霞報條三 同 作 同 書
- 繪本尊氏勳功記五 北尾重政 自 書
- 同後編補二代軍記五 同 作 自 書
- 新板御手遊遊磨心學三 鈍々亭和樽子 與
- 福神金大帳二 同 作 同 書
- 臍煎茶呑咄二 永 壽 堂 十返舎一九
- 怪談富士諸一 同 作 同 書
- 盜將軍勘略卷三 時太郎可候 自 書
- 男一鏡髮拔鏡二 紫 色 主 歌川豊國
- 夫京都 見物左衛門二 同 作 同 書
- 是東都
- 子産黄金七夜祝二 蘭 亭 亭 薰 同 書
- 五體不具毒解藥三 同 作 同 書
- 春長閑千金玉物二 香 保 留 道序
- 間合俗物醫問答三 一 片 舎 南 龍 子 與
- 塵劫記二足陸月二 群 馬 亭 葛 飾 北 齋
- 半奈手本萬歳藏一
- 享和元年出版
- 假名手桐忠臣鞍三 山 東 京 傳 北尾重政
- 昔男 道奇の見勢物語三 同 作 同 書
- 生得
- 繪本東土産罕 同 編
- 初編より四編に至る、古來黄表紙八十種を再摺し合冊の上かく名づけたり、京傳の序あり、享和四年完結す
- 敵討梅ノ 接三 南仙笑楚滿人 歌川豊國
- 敵討布施利生記三 同 作 同 書
- 櫻川話帳絨二 櫻川慈悲成 同 書
- 競腰業平形三 同 作 同 書
- 買紙紙野弄話二 曲 亭 馬 琴 北尾重政
- 足手書草紙書賦二 同 作 同 書
- 敵討蚤取眼三 同 作 同 書

一名五大力三ツノ齋訓讀

○壽本歷世傑五 曲亭馬琴序 勝川春亭

後改題鉅草筆一本三冊とす

○的中地本問屋三十返舎一九自 書

○美男理金箔三 同 作自 書

○屈伸一九著三 同 作自 書

○嗚呼恐舖話三 同 作自 書

○警敵夜居鷹三 同 作喜久 書

○聞風耳學問三 同 作歌 書

○播州車川九討實記三 同 作自 書

○二代目通人寐言二 同 作菊 書

○玄徳武勇傳三 同 作 書

○昔語由良港二 同 作 書

○日先生 綿温石奇効雜條三 式亭三馬 歌川豊廣

○神史應説年代記三 同 作自 書

杜芳の草壁紙年代記に依りたるものにして當時の小説史ともいふべきものなり、其筋は鉢冠姫の物語なれども其文章其繪畫は黒木時代青木時代の作者畫工の口吻畫風に擬し讀者を樂しませ

つゝ其變遷を目的のあたりに知らしむる趣向なり、是に加へ巻頭と巻末には畫工の名、問屋の印、名作及地口の變遷をしるせり

○御覽親孝經三 式亭三馬 歌川豊國

寛政九年の親々孝經の改題なり

○稀異療癢癩種三 威和亭鬼武 十返舎一九 書

○金降豊年貢三 白銀臺一磨 長 喜

○金龜山寶案内子三 樹下石上 櫻 春 橋

○新板塵切記 時太郎可候 自 書

○松亭竹馬長 喜 書

○同後編後坐卷三 傀 備 子 歌川豊國 書

○增益山莊太輔三 十返舎一九 書

○旅恥辱書拾一通三 同 作自 書

○忠臣陶物藏三 同 作自 書

○夏粉男達綺前三 同 作自 書

○夏木立戀鱈後二 同 作自 書

○怪談武家物奇談三 馬鹿山人 道 歌川豊國

○武茶盡混雜講釋三 樂山人馬笑 春 喬

○桃燈庫開夜七粉三 椒芽田樂 同 書

○享和三年出版

○人相 程家算見通座敷三 山東京傳 北尾重政

○怪談摸々夢字彙三 同 作同 書

○人間悟道迷所獨案内三 同 作同 書

○人間萬事吹矢的三 同 作同 書

○分解道胸中双六三 同 作同 書

○仇敵礎打手三 南仙笑楚滿人 歌川豊廣

○田形 警討柳葉山三 同 作同 書

○田形 巖窟出世談三 同 作同 書

○敵討安積車三 同 作同 書

○敵討裏觀錦三 同 作同 書

○敵討巖間風尾草五 同 作同 書

○五人揃目出度娘三 同 作同 書

○花路の水 勝四遊記三 同 作北川秀磨

○信濃主人 侯侍開帳咄三 同 作歌川豊廣

○開帳地口提灯三 同 作北尾重政

○鼠 嫁 入 二 同 作北尾重政

○文盲先生珍學文三 櫻川慈悲成 歌川豊國

○はしか草紙一 竹塚東子

○鎌倉街道女敵討三 樹下石上 歌川豊廣

○一陽來福鼠嫁入二 十返舎一九 長 喜

○敵討合邦辻三 同 作歌川豊國

○木魁杜野狐仇討三 同 作同 書

○善惡角力勝負附三 同 作同 書

○桃太郎 初寶鬼島巻二 同 作自 書

○大道具 怪物寶初巻三 同 作自 書

○龜合 輕口 嘶 一 同 作貞 之

此年厄齋流行し、草双紙を赤にて摺り表紙も赤なるもの多く出たり、これも其一種なり、

- 同後編子寶山一 十返舎一九 英 泉
- 駿阿部川敵討後前二 同 作 一樂亭榮水
- 十念 嗚呼唇氣樓三 威和亭鬼武可 候
- 昔三國和漢雜話二 同 作 同 書
- 慎道迷盡誌三 同 作 勝川春亭 書
- 不厨庖即席料理三 可 候 自 書
- 三十五回山來阿算川噺店即 同 作 自 書
- 色外題空黄表紙三 一九門人 女 光 書
- 見草 浮世頭木二 三 光 書
- 弓引方 大中黒木種三 虛 呂 利 長 喜
- 報讐四萬物語三 楓亭猶錦 歌川豊廣 喜
- 敵討播洲皿屋敷三 德永素秋 同 書
- 八百屋 加羅操狂言三 榮邑亭邑二 長 喜
- 見弟 仇討備前德利二 馬 光 仙 舟 調
- 善惡 仇討備前德利二 馬 光 仙 舟 調
- 美濃近江 果報廢物語三 福亭三 笑 歌川豊廣 調

- 四國 葛土産吾妻錦繪三 楓亭猶錦 歌川豊廣
 - 職流義仕上押繪三 薄川八重成 長 喜
 - 七代目 再板磯臣平生三 恒 醉 夫 北尾重政 書
 - 忠臣蔵 天鼓心平成三 同 作 同 書
 - 通俗三吞志三 萩原荻聲 長 喜
 - 賤富一代早替二 百亭貫斗 喜 久 磨
 - はしか落葉なし 一 穿 山 甲
 - 深山草花物新書二 夢中竹三 勝川春英 書
 - 書解平家物語二 同 書
 - 虚空太郎舎弟九討三 南仙笑楚滿人 歌川豊廣 書
- 享和二の虚空太郎武者修行咄の後編なり

○文化元年出版

- 白雲 江戶野子娘敵討三 山東京傳 北尾重政 書
- 作者胎内十月圖三 同 作 同 書
- 榮花男 七色合點豆三 同 作 同 書
- 二代目 七色合點豆三 同 作 同 書
- 敵討親子塚前三 南仙笑楚滿人 歌川豊廣 喜

- 敵討水潜蜀紅錦三 南仙笑楚滿人 歌川豊廣 書
- 仇敵意寫繪三 同 作 同 書
- 後編 冬雪物語三 同 作 同 書
- 酒餅論咄度榮話三 同 作 同 書
- 仇討孝行車後前六 同 作 歌川豊國 書
- 仇討長太郎柳三 同 作 歌川豊廣 書
- 妻の復仇千足牛三 同 作 同 書
- 叶屋福助話二 同 作 長 喜
- 仇擊錦誰袖三 樹下石上 歌川豊廣 書
- 萬福長者寶藏開三 同 作 同 書
- 小夜中山宵啼碑三 曲亭馬琴 同 書
- 新研十六武藏坊三 同 作 北尾重政 書
- 御伽 五人拍鄙言三 同 作 北尾紅翠齋 書
- 敵討二人長兵衛三 同 作 同 書
- 松株木三階奇談三 同 作 北尾重政 書
- 化もの敵討二十返舎一九 自 書
- 敵討猿番場和餅後前二 同 作 長 喜

- 敵討逆若葉三 十返舎一九 歌川豊廣 書
 - 後編 葉原屋縁の林三 同 作 同 書
 - 小多 戀仇討孤助太刀三 同 作 歌川豊國 書
 - 善光寺 敵討精根原三 同 作 歌川豊廣 書
 - 御利生 敵討精根原三 同 作 歌川豊廣 書
 - 人慾看通下筮三 同 作 自 書
 - 地神五代記五 同 作 勝川春亭 書
 - 繪本化物太閤記二 同 作 自 書
- 當時豊臣氏に關する事草紙錦繪とも出版嚴禁せられ、たゞ太閤記と名を附したるものさへ御咄ありしに、此作を出せしかは忽ち絶板と共に手鎖五十日に處せらる
- 白石 嘶 風流婦仇討二 同 作 永 裡
 - 酒色 風流婦仇討二 同 作 永 裡
 - 兩面出世 恩愛猿仇討三 虛 呂 利 歌川豊國 書
 - 阿娘敵討陸友綱三 樹下石上 歌川豊廣 書
 - 信夫摺錦伊達染三 威和亭鬼武 歌川豊國 書
 - 同編 陸奥昔女仇討二 同 作 同 書
 - 新曲五人切 松亭竹馬 長 喜
 - 新年男笑種 紀尾佐丸 葛飾北齋 喜
 - 和 藤 内 十返舎一九 喜

○渡邊綱一代記七 南仙笑焚滿人 勝川春亭
○敵討三人姥_{後前}三 同 作 歌川豊廣
○朧月猫嫁入二 同 作 鳥居清峯
○_{再板}敵討姥捨山_{後前}六 同 作 歌川豊廣
○復讐岐枝川_{後前}六 同 作 同 書
○復讐鴛酒屋_{後前}六 同 作 同 書
○復讐讚誠褒_{後前}六 同 作 同 書
○復讐袴勝負革_{後前}三 樹下石上 歌川國長
○敵討雜居廢物語_{後前}六 曲亭馬琴
○武者修行木齋傳_{後前}六 同 作 歌川豊廣
○敵討鼎の壯夫_{後前}三 同 作 醉放逸人 書
○大師河原撫子話_{後前}六 同 作 同 書
○復讐阿姑射松_{後前}六 魁 雷子 作 同 書
○_{カマ}絆討他力燒繼_{後前}六 竹塚東子 葛飾北周
○鳳凰染五三桐山五 山 旭 亭 喜多川喜久磨
○_{五三桐}山後編跡着衣裳_{後前}五 十返舎一九 同 書
○_{五三桐}山後編操染心雛形_{後前}一 同 作 同 月磨

○復讐矢指浦_{後前}六 十返舎一九 自 書
○法替輪廻仇討三 同 作 自 書
○嵐山花仇討_{後前}六 同 作 歌川豊廣
○青嵐柳下蔭_{後前}三 同 作 一 雅
○玉櫛笥二人奴_{後前}三 同 作 歌川國長
○_{滑稽}滑稽つゝなし後篇_{後前}三 同 作 自 書
○花智大安賣二 同 作 自 書
○敵討此方世界二 同 作 自 書
○_{オウ}伶俐怪異話三 同 作 自 書
○其身益金持親玉二 同 作 自 書
○後讐兩人孝行五 同 作 歌川豊廣
○七福神屑籠二 同 作 歌川國貞
○敵討粟田口由來五 同 作 喜多川秀磨
○敵討安達太郎山五 式亭三馬 歌川豊廣
○_{利根}利根河津_{後前}二 同 作 歌川豊國

從來の草紙は五枚を一巻とし、前後に別ちたる六巻ものと雖も

各一巻宛一冊とし表紙張外題を添へたりしに、此作は三馬の工夫にて五巻を一冊とし前後二冊となしたれば表紙張外題の數も繁からず製本も便利にして金子もかゝらざるが故に翌年より大體この風に倣へり、之を合巻と稱す、

○_{新板}陸月笑顏短歌_{後前}六 威和亭鬼武 勝川春亭
○_{新板}敵討旭霜解_{後前}三 櫻 鯛 助 歌川國長
○敵討日本一瀧勢 櫻 鯛 助 同 書
○怪談おそろ史記三 百 齋 自 書
○敵討春告鳥_{後前}三 眉 壽 亭 北尾政美
○_{再葉松の改題再摺}虚氣の早替三 關一 九 衣校 葛飾北馬
○額の小三二福亭三笑 勝川春亭
○報讐十八公の菜六百 齋 自 書
○出版年代未詳部
○牡丹餅は七夕二 芝 光 交 歌川豊國
○_{新板}武田三代記二 樹下石上
○御用心未開扇二 南仙笑楚滿人

○繪本三鼎倭孔明五 陸酒亭老人
○撰とり帳二十返舎一九
○武田勝頼一代記三 樹下石上
○_{新板}駿河二丁町金鶴名殘_{後前}二 時 鳥 館 櫻 文 橋
○_{新板}板道中助六三 十返舎一九 自 書
○萬九ひ物語五 黄山自惚 北尾政美
○_{夜稚}夜稚種軍談五 井久治茂内
○_{驥山}驥山比翼塚二 勝川春朗
○曾我一代記五 文 化 蘭 德 齋
○_{新板}新將門一代記五
○_{新板}韓楚軍談五
○敵討信田物語二
○無茶志房辨慶鳥二
○_{新板}新朝比奈一代記五 蘭 德 齋
○_{新板}木曾義仲一代記五 鳥居清經
○_{新板}家勇戦 葱摺前九年五 北尾政美
○太々太平記五 嘘亭主人 北尾重政

繪本大開記の青本なり、直に絶板

- 石橋山合戦三
- 幼な會我二
- 通俗三國誌二
- 風猫書の物語三
- 間取兼通三
- 摸紋自異怪話三
- 山姥物語二
- 和漢太平春駒二
- 渡邊綱一代武勇五
- 實盛一代記三
- 楠三代記三
- さら談義三

○合卷

三馬自筆日記文化三年の條に「翌年よりさうし間屋不殘合巻となりて」云々とあり、されど黄表紙は全く廢絶せしにあらざ、文政の末年迄まゝ出版せり、即ち新版を黄表紙とし、翌年合巻になほし再新版とせしものなり、今是等を區別せんが爲に黄表

- 敵討衛之玉川六 山東京傳 北尾重政
- 於玉二見仇討六 同 作 歌川豊國
- 於六櫛木會仇討七 同 作 同 書
- 敵討岡崎女郎衆六 同 作 醉放逸人
- 安積沼後日仇討六 同 作 歌川豊廣
- 日高川 鴻姫道成寺傳奇六 同 作 歌川豊國
- 敵討稚木花王五 南仙笑楚滿人 歌川豊廣
- 敵討三重忠孝貞九 同 作 歌川豊國
- 敵討島廻幸助舟六 同 作 歌川豊國
- 敵討奥洲千貫橋二 同 作 歌川豊國
- 敵討手打新蕎麥六 同 作 歌川豊廣
- 敵討遠森の渡六 同 作 同 書
- 敵討轆轤首娘六 同 作 同 書
- 敵討蘇生娘六 同 作 歌川豊國

紙には特に●印を附して之を分つ、なほ緒言を參照せらるべし、附記假名草紙より黄表紙に至る迄は皆冊数を記せしも、合巻のみは巻数を記せり、但一卷の丁数は五葉なり

○文化四年出版

- 繪本巴女一代記五 南仙笑楚滿人 歌川豊國
- 敵討吉野龍田六 同 作 歌川豊廣
- 敵討妹背山物語 前三 山東京山 歌川豊國
- 後篇二冊は文化九年出版
- 菊酒屋娘庭訓四 同 作 同 書
- 島村蟹湊之仇討六 曲亭馬琴 歌川豊廣
- 鼓瀧幼稚敵討六 同 作 同 書
- 復仇岬之洞六 同 作 勝川春亭
- 三人六部 敵討鼓瀑布六 同 作 歌川豊廣
- 魁生鬼見 敵討水袋入六 同 作 歌川國貞
- 大老門化粧若水十丁 同 作 歌川國貞
- 紅白粉店萬屋四郎兵衛の春の景物なり
- 文化四年丁卯桶月出版
- 敵討連歌怪談三十返舎一九 自 書
- 敵討大悲誓五 同 作 歌川豊廣
- 敵討兩士孝行の改題なり
- 諏訪湖狐怪談前五 同 作 同 書
- 後篇文化五年出版

- 敵討五郎兵衛 敵討勇男 前 五十返舎一九 歌川豊國
- 新作はなしうなぎ一 同 作 自 書
- 化物娶入三 同 作 勝川春英
- 板元註文色摺新形染十丁 趣向晴合 同 作 勝川春亭
- 給勇壯義經録三 同 作 勝川春英
- 給本大内家軍談三 同 作 同 書
- 繪本武徳木會棧三 同 作 同 書
- 箱根靈驗賽仇討六 式亭三馬 歌川豊廣
- 復讐要號谷六 同 作 歌川豊國
- 敵討浮木龜瀬五 竹塚東子 歌川國長
- 敵討代九郎嘶六 面徳齋夫成 歌川豊國
- 仁王坂英雄二木六 威和亭鬼武 歌川豊廣
- 不敵討神佛應護二 同 作 勝川春亭
- 化粧阪園仇討五 同 作 葛飾北馬
- 敵討再生種六 竹塚東子 勝川春英
- 菊重配、盃六 東里山人 歌川豊國
- 物の山古今復讐大全六 同 作 勝川春英

- 敵討寐物語五 傳 笑 序 歌川國長
- 怪談木の花草紙三 關亭 傳 笑 同 書
- 欲皮千枚張三十返舎一九 喜多川月磨
- 敵討仲間入三 同 作 自 書
- 金蔓堀出分限三 同 作 自 書

敵討仲間入の改題直し

- 心紙子頭巾嘉久助咄 一 信陽齋有軒 歌川豊廣
- 新 形三 東里山人 歌川美丸

○文化五年出版

- 東上巻 敵討白藤源太談 七 山 東京傳 歌川豊國
- 安達ヶ原 糸車九尾狐 九 同 作 同 書
- 那須野山 糸車九尾狐 九 同 作 同 書
- 岩井楠糸野仇討 七 同 作 同 書
- 放駒 俠客双蝶々 九 同 作 同 書
- 放駒 妬湯仇討話 六 同 作 同 書
- 女達三ヶ月お仙傳 六 同 作 同 書
- 小野八重置かしの仇討 六 同 作 同 書
- 萬福長者榮花物語 三 同 作 歌川豊廣

○綾染五郎強勢談 五 山 東京傳 歌川豊國

此書十七丁に辻君十人圓坐して百萬遍をくり居る圖あり、鼻の缺けたるもの、眉なくして膏藥をはりしもの、眇等其醜態笑ふべし當時夜鷹此圖を見て憤り京傳を道に捕へて困却させしといふ、

- 敵討木曾棧六 同 作 同 書
- 敵討天竺徳兵衛六 同 作 同 書
- 熊女越路ノ仇討六 同 作 同 書
- 鏡山櫻仇討五 山 東京山 歌川豊國
- 敵討富士白酒五 同 作 同 書
- 敵討女今川六 同 作 同 書
- 左甚五郎蛇淵仇討六 同 作 同 書
- 錦木塚孝女仇討五 同 作 同 書
- 名香柴 復讐勝山結五 同 作 同 書
- 敵討熊腹帶六 同 作 歌川豊廣

一名 天報正宗一代話説

- 小鍋丸手石入船六 曲亭馬琴 歌川豊國
- 敵討兒手柏木五 同 作 同 書
- 加田建藏 敵討白鳥關六 同 作 歌川豊廣
- 長介海賊 敵討白鳥關六 同 作 葛飾北齋
- 敵討身代名號六 同 作 勝川春亭
- 歌舞妓傳助忠義始 七 同 作 勝川春亭
- 相洲矢倉澤仇討六 十返舎一九 同 書
- 忠信草津姥ヶ餅六 同 作 歌川豊廣
- 勇略女教訓五 同 作 葛飾北齋
- 敵草花の仇討五 同 作 北尾紅翠齋
- 桑名屋徳藏廻船話六 同 作 歌川國貞
- 商人金采配三 同 作 自 書
- 敵 葛 原六 同 作 歌川豊廣
- 嵐山花仇討五 同 作 同 書
- 同 春霞女廻國五 同 作 同 書

此草紙出版の際函館一件に付障る事あり暫く焚賣せらる

- 多羅福注文帳三十返舎一九 歌川豊廣
- 越中山嶽巖村仇討六 同 作 同 書
- 花曇都仇討五 同 作 自 書
- 復忠孝二筋道六 同 作 烏居清峰
- 俗言種狐拳三 同 作 同 書
- 質流人の行末三 同 作 勝川春英
- 實流思外幸の改題新版なり
- 諏訪湖狐怪談後編五 同 作 勝川春亭
- 妖怪一年草三 同 作 歌川國貞
- 三 國 誌三 同 作 同 書
- 雷門 渡返淺草紙二 同 作 自 書
- 御膳淺草法の外題直し歟
- 玄徳武勇傳三十返舎一九 校
- 東浦船中二人禿對仇討三 式亭三馬 歌川國貞
- 同 玉藻前三國傳記三 同 作 勝川春亭
- 同 玉藻前三國傳記三 同 作 同 書

○蟒蛇於長翹草紙七式亭三馬歌川國貞
又平 六津土原名雷助方 八同 作同 畫
加しゆん有田明之儀ノ仇討 六同 作同 畫
○谷汲親音難有孝行娘三同 作歌川豐廣
○利益仇討難有孝行娘三同 作歌川豐廣
○鬼兒鳥譽仇討八同 作歌川豐國
宿六始 未刻太鼓と此書と合綴讀本まがひに大合巻と稱し賣出
せしも當りなとらさりしとふ
○金銅名大敵討宿六始十同 作同 畫
○正宗名刀敵討宿六始十同 作同 畫
○島川御堂詣未刻太鼓六同 作歌川豐廣
○金花鑑復警兩展探六同 作
○化生扇敷復警兩展探六同 作
○力就雅敵討八同 作勝川春亭
○敵討猿田ヶ淵六同 關亭傳笑勝川春扇
○孝行娘妹背仇討六同 作歌川豐廣
○雷幸藏蕪話六同 竹塚東子勝川春亭
●寶入船七福大帳二 威和亭鬼武松爾櫻
●增補執柄太郎三 南仙笑楚滿人歌川豐國
○敵討源五郎鮒六 東西庵南北勝川春扇

○敵討最上紅花染三 三よしの多賀安歌川國長
●七役敵討記平汝六六 樹園醉放逸人
●早替敵討乘合斬六 姥尉介歌川國貞
○金比羅敵討乘合斬六 姥尉介歌川國貞
○御利生敵討乘合斬六 姥尉介歌川國貞
○敵討縁小車五千代春道勝川春亭
●珍説飛敵討三市二三 醉放逸人
○伊賀越時鳥相宿斬五 藤壽亭松竹喜多川月磨
○御堂時鳥相宿斬五 藤壽亭松竹喜多川月磨
○高野山敵討蛇蛇柳六 松下井三和葛飾北齋
○矢木敵敵討蛇蛇柳六 松下井三和葛飾北齋
●福來笑門松五 素速齋百齋久信
○善惡復仇甚三紅相五 川關樓琴川勝川春亭
○邪正復仇甚三紅相五 川關樓琴川勝川春亭
○三入敵敵討女夫柳六同 作同 畫
○三入敵敵討女夫柳六同 作同 畫

○文化六年出版
○八指松上梅竹取物語前九 山東京傳歌川國貞
○七指松上梅竹取物語後六 山東京傳歌川國貞
○荒五郎志道軒書講釋七同 作歌川豐國
○夜兵衛志道軒書講釋七同 作歌川豐國
○七指松上梅竹取物語前九 山東京傳歌川國貞
○七指松上梅竹取物語後六 山東京傳歌川國貞
●岩戸神樂劍威徳六同 作勝川春亭
●岩戸神樂劍威徳六同 作勝川春亭
○梅お由女丹前六同 作勝川春扇
○お由女丹前六同 作勝川春扇
○清十郎風流御三味線十同 作勝川春亭

○累非筒紅葉打鋪八 山東京傳歌川豐國
○勸善辻談義八同 作同 畫
○二日替連理花王前五 山東京傳歌川豐國
三味線其後日三五六
○小春早引説要集十同 作歌川國貞
○紙治早引説要集十同 作歌川國貞
○宮城野正説娘楠木六同 作勝川春亭
○信夫正説娘楠木六同 作勝川春亭
○門田長右衛門草草娘庭訓八同 作歌川豐國
○門田長右衛門草草娘庭訓八同 作歌川豐國
○栗原石は舞臺非語特色 六同 作同 畫
○栗原石は舞臺非語特色 六同 作同 畫
○孝行酒屋譽劍菱七同 作同 畫
○聞道初音仇討三同 作鳥居清峯
○かひね五人女都紅筆六同 作同 畫
○かひね五人女都紅筆六同 作同 畫
○契情の松操鏡双生渡六同 作勝川春扇
○官女の松操鏡双生渡六同 作勝川春扇
○兄貴松平内剛力譚六同 作勝川春亭
○兄貴松平内剛力譚六同 作勝川春亭
○瓜川加九郎千木四郎守六同 作歌川豐廣
○瓜川加九郎千木四郎守六同 作歌川豐廣
○妹は紅都春仇六六同 作同 畫
○妹は紅都春仇六六同 作同 畫
○約羅左衛門形加助太刀六同 作同 畫
○約羅左衛門形加助太刀六同 作同 畫
●句全伽羅之柴舟三同 作歌川國貞

上野山下萬丸油元結開店の衆物
○玉柳笛石堂丸物語三 曲亭馬琴葛飾北齋
○百八八敵討琴八丈六 同 作歌川國貞
○百八八敵討琴八丈六 同 作歌川國貞
天保十一年再版
○小女郎蜘蛛怨草瑣十三 同 作勝川春亭
○小女郎蜘蛛怨草瑣十三 同 作勝川春亭
天保十二年再版國芳齋
○山中鹿之助稚譚十 同 作勝川春亭
○山中鹿之助稚譚十 同 作勝川春亭
一名十三鐘孝子の功蹟
○敵討女用文章六十返舎一九 勝川春扇
○敵討女用文章六十返舎一九 勝川春扇
○三郎大矢敷意恨仇討六 同 作同 畫
○三郎大矢敷意恨仇討六 同 作同 畫
○敵討和布刈海門八 同 作勝川春亭
○敵討和布刈海門八 同 作勝川春亭
○敵討鶯娘由來七 同 作同 畫
○敵討鶯娘由來七 同 作同 畫
○三峯山御狼助太刀七 同 作同 畫
○三峯山御狼助太刀七 同 作同 畫
○白旗五郎敵討西海現六 同 作歌川國貞
○白旗五郎敵討西海現六 同 作歌川國貞
○本町五郎東男連理緒七 同 作同 畫
○本町五郎東男連理緒七 同 作同 畫
○彦山靈驗英娘仇討話六 同 作同 畫
○彦山靈驗英娘仇討話六 同 作同 畫
○敵討女諸禮鑑五 同 作歌川豐廣
○敵討女諸禮鑑五 同 作歌川豐廣

- 遊ヒカヤク長者萬燈 二 關亭傳笑 歌川國長
- 甲洲猿橋山來 五 關東米勝川春亭
- 戀女房仇討双六 六 姥尉介 歌川國長
- 玉藻前雲井楡扇 五 古今亭三鳥 歌川國次
- 繪書習廊文章 五 德亭三孝 同 書
- 毘大盡廓全盛 五 益亭三友 同 書
- 吾妻育露荒事 三 同 作 歌川國九
- 雷神丸劔稻妻 三 春亭三曉 北川よし九
- 春月薄雪櫻 三 麟馬亭三千歳 勝川春亭
- 出世春千兩幟 五 橋本徳胤 歌川國直
- 無間鐘傾城道成寺 三 同 作 歌川國九
- 黒舟染姉川頭巾 五 同 作 菊川英山
- 三津扇双人大和扇 六 同 作 勝川春扇
- 高野蝶三月欠金 三 紫竹堂 歌川國九
- 伊達娘常陸小杉 三 市二 三 歌川國滿
- 姉小谷孝婦傳 六 同 作 歌川國九
- 四國平十疋猿 三 同 作 同 書
- 天地施敵討濫觴 三 市二 三 勝川春扇
- 乘懸合羽雫仇討 二 岡山鳥 歌川國九
- 富士の山はどろろ 美人の首を木に 六 東西庵南北 勝川春扇
- 女合法戀の修行者 五 同 作 同 書
- 女合法戀の修行者 五 同 作 同 書
- 二入新門 母字 小方 五 同 作 同 書
- 三日月の如く 止化 五 同 作 同 書
- 皿屋舗後日ノ焼織 五 同 作 同 書
- 蟲盡世話ノ移氣 三 長亭五 蘭 歌川國九
- 笑門喩福仁 三 同 作 勝川春亭
- 隅田系圖梅若詣 三 綠亭可山 勝川春扇
- 敵討又はじまり 三 同 作 同 書
- 文化十年出版
- 山東京傳 歌川國直
- 結婚禮累笠筒 五 同 作 勝川國直
- 重井筒娘千代能 六 同 作 北川國九

- 敵無間鐘娘縁起 六 山東京傳 歌川國直
- 安達ヶ原氷姿見 六 同 作 同 書
- 春相摸花ノ錦書 六 同 作 歌川國直
- 兒ヶ淵櫻ノ振袖 六 同 作 歌川國直
- 早便梅川物語 五 山東京山柳川重信
- 園の梅トシの枝振 六 同 作 歌川國直
- 薄雲櫻古跡ノ曙 六 同 作 歌川國直
- 霧風流五思氣娘 七 同 作 同 書
- 鏡磨直大内鏡 六 同 作 同 書
- 伊勢音頭戀の手踊 十返舎一九 喜多川月磨
- 敵討餘世波典佳津多 三 同 作 勝川春亭
- 玉柏二人男 三 同 作 喜多川月磨
- 海陸西海往來 三 同 作 歌川美丸
- 菅原流清書草紙 六 同 作 勝川春亭
- 敵討巖流鳥 五 十返舎一九 自 書
- 洪福水揚帳 三 同 作 喜多川月磨
- 合鏡二ツ巴 三 同 作 同 書
- 方言修行金草鞋 白初編 同 作 勝川春亭
- 初編二編六冊江戸見物、三編六冊大阪見物(以上月磨書)、
- 四編六冊四國道中美丸書、五編六冊木曾路の巻月磨書、六
- 編六冊奥州道中美丸書、七編鹿島生柄筑波日光國丸書、八編九編九冊
- 編十編身延山道中記、十一編甲州信州善光寺草
- 津途道中記月磨書、十二編四國道、十三編江戸八十八ヶ所
- 巡遊丸、十四編二十四輩順拜、十五編房州小湊參詣國直書、
- 十八編越中立山紀行國安書、十九編加洲白山參詣重政書、二
- 十編羽州最上羽黒山國安書、二十一編南部路記泉國信書、
- 廿二編伊豆紀行熱海國信書、廿三編江戸島箱根七湯國安書、
- 廿四編讚洲金比羅美丸書、廿五編長崎宮島重政書、
- 日高川清姫物語 五 式亭三馬 歌川國直
- 吾妻花歌妓氣質 六 同 作 歌川國直
- 錦帶准無間 六 柳亭種彦 柳川重信
- 春霞布袋本地 三 同 作 同 書

